

ANNUAL REPORT

2024

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報

目 次

事業報告	展示会	近代美術館	常設展	第1期	日本女性の姿－労働と肖像	2	
					近代美術館の名品	2	
					没後50年 難波田史男 青春の思索	2	
				第2期	旅する新潟	4	
					近代美術館の名品	4	
				第3期	親と子のワクワク美術館 はい、ポーズ！	5	
					没後40年 竹谷富士雄	5	
					近代美術館の名品	5	
				第4期	シークレット・ガーデン	6	
					近代美術館の名品	6	
					亀倉雄策と時代を拓いた作家	6	
				企画展	ジブリパークとジブリ展	7	
					生誕100年 山下清展 百年目の大回想	8	
					日本が見たドニ ドニの見た日本	15	
					皇室の名宝と新潟－皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美	19	
				共催展	第78回新潟県美術展覧会長岡展	22	
					第27回友の会作品展	22	
					第26回長岡市中学校美術部作品展	22	
	第55回新潟県ジュニア美術展覧会長岡展	22					
	万代島美術館	企画展	JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点		23		
			化石ハンター展～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～		24		
			古代エジプト美術館展	25			
			谷川俊太郎 絵本★百貨展	26			
		教育普及	近代美術館	イベント	館外活動・地域との連携	29	
					刊行物・鑑賞資料	30	
	作品解説会				30		
団体の受入れ	31						
学校教育との連携	32						
観覧料免除	33						
博物館実習	34						
万代島美術館	イベント				館外活動・地域との連携	35	
					刊行物・鑑賞資料	36	
					作品解説会	37	
					団体の受入れ	37	
					学校教育との連携	39	
					観覧料免除	40	
					サポートメンバー	40	
					博物館実習	40	
					調査・研究	近代美術館	41
						万代島美術館	43
収集・保存					令和6年度収集作品	45	
		美術品の修復	49				
		美術品の燻蒸	49				
		美術品の貸出	50				
管理・運営	開館及び入館状況	近代美術館	51				
		万代島美術館	52				
	施設の貸出	近代美術館	53				
		アンケート集計結果	近代美術館	54			
		万代島美術館	56				
	組織及び業務		58				
	職員		58				
	施設	近代美術館	59				
		万代島美術館	61				
	審議会等	新潟県立近代美術館協議会	63				
新潟県美術品収集委員会		67					
新潟県立美術館友の会		68					
沿革			69				

展覧会事業：新潟県立近代美術館

常設展（コレクション展）

【趣 旨】

当館ではコレクション展示室が3室あり、各室にテーマを設けて所蔵品を展示している。今年度は4期に分け、企画展に関連した内容や県内作家に焦点を当てた内容など、多彩な切り口から所蔵品を紹介した。あわせて作品解説会や美術鑑賞講座、ワークショップなどのイベントを開催し、来館者が展示作品について理解を深め、より楽しめる工夫を行った。

また、「親子ふれあいデー」を月1回程度設け、中学生以下の子を同伴する保護者の観覧料を無料とし、さらに声の大きさを気にせず鑑賞を楽しんでいただけるように「おしゃべりタイム」を設けるなどして、子ども連れの家族が美術館へ足を運びやすい環境づくりを行った。

【総 括】

「山下清展」(6/29－8/18) から企画展観覧券でコレクション展示も観覧できるようになったことが大きく作用し、観覧者数はR5年度の2倍以上となった。当館のコレクションにより気軽に親しんでいただけるような環境になったと考える。

【観覧料】

一般……………430円(340円)
大学・高校生……………200円(160円)
中学生以下無料
※()内は有料20名以上の団体料金



■第1期 4月12日(金)～6月23日(日)(64日間)

前期：5月19日(日)まで／後期：5月21日(火)から

展示室1：日本女性の姿—労働と肖像

【趣 旨】

明治から平成にかけての日本女性の肖像や労働などの場面が表された作品を展示し、大きな社会変化のあった時代を生きた女性たちの姿の様相をみるとともに、その時代背景を探った。

【関連行事】

・美鑑賞講座「『日本女性の姿—労働と肖像』を見る。」

6月2日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：松矢国憲(当館学芸企画課長)

【関連記事】

●新聞

5月25日(土) 新潟日報「激動の時代に力強く 女性をテーマ 近美で企画展」

担当 松矢国憲

展示室2：近代美術館の名品

【趣 旨】

所蔵品の中から名品を選びすぐて展示した。

担当 宮下東子

展示室3：没後50年 難波田史男 青春の思索

【趣 旨】

みずみずしく、詩情豊かなイメージの世界を水彩とインクで描き出した難波田史男(なんばたふみお/1941～1974)の初期から晩年までの作品を紹介した。

担当 松本奈穂子

【出品リスト】

展示室1 日本女性の姿—労働と肖像				
作家名	作品名	制作年	技法、素材	展示
岩淵 芳華	理科室	1940年	紙本彩色	前
三輪 晃勢	海女	1937年	岩絵具、紙	後
小山 正太郎	婦人	1891年頃	油彩、キャンバス	
田中(協屋) 本吉	題不詳	1888年	水彩、紙	
小泉 成一	小春ノ日和	1888年	油彩、キャンバス	
宮 芳平	カーテンに	1914年	油彩、キャンバス	
太田 三郎	カフェーの女	1914年	木版、冊子	
牧野 虎雄	麦扱く農婦等	1918年	油彩、キャンバス	
三輪 大次郎	米を洗う女	制作年不明	油彩、キャンバス	
鈴木 良治	つれづれ	1928年	油彩、キャンバス	
牧野 虎雄	T婦人像	1928年	油彩、キャンバス	
荒谷 直之介	婦人像	1940年	水彩、紙	前
広川 操一	習志野の朝	1939年	紙本彩色	
高村 真夫	女	1920年代後半	油彩、キャンバス	
峰村 リツ子	桜井浜江像	1930年	油彩、キャンバス	
安井 曾太郎	読書	1942年	油彩、キャンバス	前
佐藤 哲三	農村託児所	1934年	油彩、キャンバス	
佐藤 哲三	農婦	1940年	油彩、キャンバス	
長谷部 権次郎	女子警防団	1943年	紙本彩色	
平沢 熊一	宮内疎開中	1945年頃	油彩、キャンバス	
三芳 悌吉	日立製作所現場スケッチ	1944-45年	色鉛筆、紙	
三芳 悌吉	バラジュート制作工場(東京藤沢無線)	1945年	油彩、キャンバス	
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」半地下壕 1945年8月	1945年	モノクローム・プリント	前
渡辺 義雄	「戦中・戦後の東京」銀座 1946年7月	1946年	モノクローム・プリント	後
國領 経郎	女医さん	1947年	油彩、キャンバス	
荒井 一郎	母と子	1950年	油彩、キャンバス	
濱谷 浩	學藝諸家平林たい子作家	1951年	モノクローム・プリント	前
濱谷 浩	學藝諸家三岸節子画家	1952年	モノクローム・プリント	前
濱谷 浩	裏日本シリーズ佐渡の雨	1955年	モノクローム・プリント	前
濱谷 浩	裏日本シリーズ雪道をいそぐ	1955年	モノクローム・プリント	前

濱谷 浩	裏日本シリーズ耕つくり	1955年	モノクロームプリント	前
濱谷 浩	學藝諸家蔵本真理ヴァイオリン奏者	1951年	モノクロームプリント	後
濱谷 浩	昭和女人集粉雪舞う料亭 行形屋挨拶する仲江さん	1953年	モノクロームプリント	後
濱谷 浩	裏日本シリーズアウラの田植え	1955年	モノクロームプリント	後
濱谷 浩	裏日本シリーズ田植女	1955年	モノクロームプリント	後
濱谷 浩	裏日本シリーズ生活	1955年	モノクロームプリント	後
森 芳雄	バレリーナ	1972年	油彩、キャンバス	
安宅 庸雄	五月の頃	1974年	油彩、キャンバス	
田中 道久	カラコレス	1975年	油彩、キャンバス	
木下 晋	101年の胎動	2001年	鉛筆、紙	

展示室2 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年	技法、素材
世界の美術			
オーギュスト・ロダン	考える人	1880年	ブロンズ
ジョン・エヴァレット・ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859年	油彩、板
ギュスターヴ・クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869年	油彩、キャンバス
クロード・モネ	コロンプの平原、霜	1873年	油彩、キャンバス
ジャン・バティスト・カミーユ・コロー	ビブリー	1874-75年	油彩、キャンバス
ジュリアン・デュプレ	羊飼いの	1883年頃	油彩、キャンバス
モーリス・ドニ	夕映えの中のマルト	1892年	油彩、キャンバス
ジョルジュ・ルオー	晩秋 No.3	1948-52年	油彩、板
日本の美術			
萬 鉄五郎	木の間風景	1918年	油彩、キャンバス
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916年	油彩、キャンバス
中村 彝	洲崎義郎氏の肖像	1919年	油彩、キャンバス
佐伯 祐三	広告塔	1927年	油彩、キャンバス
溝谷 国四郎	裸婦	1923年	油彩、キャンバス
吉原 治良	静物	1929年	油彩、キャンバス
梅原 龍三郎	紫禁城	1942年	油彩、岩絵具、キャンバス
藤田 嗣治	私の夢	1947年	油彩、キャンバス
須田 国太郎	水辺の草(杜若)	1947年	油彩、キャンバス
加山 又造	白菜と小鳥	1961年	紙本彩色
脇田 和	あらそい	1955年	油彩、キャンバス
岡 鹿之助	朝の城	1970年	油彩、キャンバス
新潟の美術			
佐藤 哲三	郵便脚夫宮下君	1931年	油彩、キャンバス
矢部 友衛	習作	1920年	油彩、キャンバス
牧野 虎雄	秋近き濱	1934年	油彩、キャンバス
宮 芳平	海 その1	1959年	油彩、キャンバス
横山 操	朔原	1959年	綿本彩色
富岡 惣一郎	原生林	1971年	油彩、キャンバス
村山 径	雨の潟湖	1980年	紙本彩色
三輪 晃久	曉霞	1984年	紙本彩色
竹谷 富士雄	モンマルトル・屋下り	1978年	油彩、キャンバス
山崎 隆夫	雨	1993年	紙本彩色

展示室3 没後50年 難波田史男 青春の思索

作家名	作品名	制作年	技法、素材	展示
難波田 史男	レジスタンスの日々	1962年	水彩、インク、紙	前
	無題	1962年	水彩、インク、紙	前
	無題	1962年	水彩、インク、紙	前
	デッサン	1963年	インク、紙	前
	デッサン	1963年	インク、紙	前
	デッサン	1963年	インク、紙	前
	デッサン	1963年	インク、紙	前
	デッサン	1963年	インク、紙	前
	デッサン	1964年	インク、紙	前
	ある日の幻想 作品1、2	1963年	ドライポイント、紙	前
	ある日の幻想 作品3	1963年	エッチング、紙	前
	彩色画	1965年	水彩、インク、紙	前
	彩色画	1965年	水彩、インク、紙	前
	彩色画	1965年	水彩、インク、紙	前
	デッサン	1966年	水彩、インク、紙	前
	デッサン	1966年	水彩、インク、紙	前
	デッサン	1967年	水彩、インク、紙	前
	デッサン	1967年	水彩、インク、紙	前
	無題	1967年	水彩、インク、紙	前
	冬の日	1967年	水彩、インク、紙	前
	桜の散る頃	1968年	水彩、インク、紙	前
	無題	1969年	水彩、インク、紙	前
	少年と海の神話	1967年	水彩、インク、紙	前
	無題	1968年	水彩、インク、紙	前
	デッサン	1968年	水彩、インク、紙	前
	哲学者	1967年	インク、紙	前
	デッサン	1970年	インク、紙	前
	デッサン	1970年	インク、紙	前
	デッサン	1971年	インク、紙	前
	無題	1970年	水彩、インク、紙	前
	湖底	1970年	水彩、インク、紙	前
	涙の湖	1971年	水彩、インク、紙	前
	無題	1971年	水彩、インク、紙	前
	無題	1971年	水彩、インク、紙	前
	無題	1971年	水彩、インク、紙	前
	無題	1971年	水彩、インク、紙	前

円と線	1973年	水彩、インク、紙	前
無題	1972年	水彩、インク、紙	前
無題	1972年	水彩、インク、紙	前
無題	1971年	水彩、インク、紙	前
無題	1973年	水彩、インク、紙	前
彩色画	1971年	水彩、インク、紙	前
無題	1973年	水彩、インク、紙	前
無題	1973年	水彩、インク、紙	前
白い月	1973年	水彩、インク、紙	前
ある日の幻想 作品8	1969-70年	ドライポイント、紙	前
ある日の幻想 作品10	1969-70年	エッチング・ドライポイント、紙	前
ある日の幻想 作品12	1971-73年	ドライポイント・マルチカラー、紙	前
ある日の幻想 作品14、16	1973年	エッチング・マルチカラー、紙	前
ある日の幻想 作品18、20、22、24	1971-73年	ドライポイント、紙	前
ある日の幻想 作品26	1973年	エッチング・マルチカラー、紙	前
ある日の幻想 作品28	1973年	エッチング・マルチカラー、紙	前
ある日の幻想 作品30、32	1972-73年	ドライポイント、紙	前
ある日の幻想 作品34	1973年	ドライポイント・マルチカラー、紙	前
鳥	1961年	水彩、インク、紙	後
無題	1961年	水彩、インク、紙	後
無題	1961年	水彩、蠟、紙	後
無題	1962年	水彩、インク、紙	後
彩色画	1963年	水彩、インク、紙	後
無題	1962年	水彩、インク、紙	後
無題	1962年	水彩、インク、紙	後
デッサン	1961年	インク、紙	後
デッサン	1963年	インク、紙	後
デッサン	1963年	水彩、インク、紙	後
デッサン	1963年	インク、紙	後
ある日の幻想 作品4	1963年	エッチング・アカアチント、紙	後
ある日の幻想 作品5	1963年	シュガー・アカアチント、紙	後
ある日の幻想 作品6	1963年	エッチング・アカアチント、紙	後
海底電線	1967年	水彩、インク、紙	後
夏の川とボート	1967年	水彩、インク、紙	後
花の精のおどり	1968年	水彩、インク、紙	後
無題	1967年	水彩、インク、紙	後
無題	1968年	水彩、インク、紙	後
デッサン	1966年	水彩、インク、紙	後
デッサン6	1966年	水彩、インク、紙	後
覚書	1967年	水彩、インク、紙	後
デッサン	1968年	インク、紙	後
デッサン	1968年	インク、紙	後
デッサン	1971年	インク、紙	後
デッサン	1971年	インク、紙	後
無題	1971年	水彩、インク、紙	後
彩色画	1973年	水彩、インク、紙	後
彩色画	1970年	水彩、インク、紙	後
無題	1972年	水彩、インク、紙	後
無題	1971年	水彩、インク、紙	後
無題	1972年	水彩、インク、紙	後
彩色画	1969年	水彩、インク、紙	後
無題	1970年	水彩、インク、紙	後
無題	1971年	水彩、インク、紙	後
白い太陽	1970年	水彩、インク、紙	後
無題	1971年	水彩、インク、紙	後
詩人の空	1971年	水彩、インク、紙	後
海の朝	1973年	水彩、インク、紙	後
山なみ	1973年	水彩、インク、紙	後
無題	1973年	水彩、インク、紙	後
無題	1973年	水彩、インク、紙	後
無題	1974年	水彩、インク、紙	後
無題	1974年	水彩、インク、紙	後
ある日の幻想 作品7	1969-70年	ドライポイント、紙	後
ある日の幻想 作品9	1969年	ドライポイント、紙	後
ある日の幻想 作品11	1969年	エッチング・ドライポイント、紙	後
ある日の幻想 作品13	1971-72年	ドライポイント、紙	後
ある日の幻想 作品15、17	1973年	エッチング・マルチカラー、紙	後
ある日の幻想 作品19、21、23	1971-73年	ドライポイント、紙	後
ある日の幻想 作品25	1973年	ドライポイント・マルチカラー、紙	後
ある日の幻想 作品27	1973年	エッチング、紙	後
ある日の幻想 作品29、31、33	1972-73年	ドライポイント、紙	後
ある日の幻想 作品35、36	1973年	エッチング・マルチカラー、紙	後

相澤美術館	「ある日の幻想 遺された36枚の銅版画 難波田史男展」	1999年	ポスター
	「難波田龍紀・史男二人展」	1995年	ポスター
	「難波田史男ノ世界」		ポスター

ロビー

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998年	FRP、ウレタン塗装
-------	---	-------	------------

コレクション展回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994年	FRP、ウレタン塗装
-------	------------------	-------	------------

■第2期 6月28日(金)～8月18日(日)(46日間)

展示室1・2：旅する新潟

【趣 旨】

日本画、洋画、水彩等の様々な分野から、新潟を題材にした作品を展示した。夏のひととき、涼しい展示室で県内各地を巡る旅に出かける気分で、身近な風景、見知らぬ風景が描かれた作品を楽しむ機会となった。

【関連行事】

・美術鑑賞講座「安宅安五郎と新潟」

2025年1月18日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：伊澤朋美（万代島美術館主任学芸員）

担当 池田珠緒

展示室3：近代美術館の名品

【趣 旨】

所蔵品の中から名品を選びすぐって展示した。

担当 飯島沙耶子

【出品リスト】

展示室1・2 旅する新潟			
作家名	作品名	制作年	技法、素材
五十嵐 二郎	越後海景	1986年	水彩、キャンバス
中島 萬木	奥三面の山の嶺	1971年	紙本彩色
中島 萬木	長岡悠久山の松林	1971年	紙本彩色
西脇 順三郎	万代橋風景	1941年	紙本彩色
行田 魁庵 他	新潟年中行事絵巻	江戸末期	紙本彩色
恩田 耕作	風鳥弁天の景	1930年	紙本彩色
宮田 宏平 (三代藍堂)	終りのない物語「世阿弥の流入箱」	1993年	鍍金、アルミウム、プラスチック、絹 他
伊藤 赤水(五代)	佐渡島	2012年	陶器
三浦 文治	佐渡のイカ干し	1938年	紙本彩色
三浦 文治	浜	1973年	紙本彩色
三芳 悌吉	沼垂駅附近	1946年	水彩、紙
三芳 悌吉	万代橋遠望	制作年不明	鉛筆、色鉛筆、紙
石井 柏亭	鳥屋野湯冬景色	1955年	水彩、墨、和紙
國府康東、石井柏亭画	「佐渡と新潟」	1933年	書籍
川端 龍子	夕茜(越後出雲崎展望)	1953年	絹本彩色
横山 操	親不知夜雨	1970年	紙本彩色
山崎 隆夫	砂丘晩夏	1985年	紙本彩色
平澤 熊一	長岡	1940年頃	油彩、板
平澤 熊一	栢田屋風景	1948年	油彩、板
矢部 友衛	泉 農民百態39 蒲原で	1951年	油彩、キャンバス
佐藤 哲三	越後の秋	1937年	油彩、キャンバス
佐藤 哲三	残雪	1952年	油彩、キャンバス
佐藤 哲三	帰路	1954年	油彩、キャンバス
小島 丹濤	河口暮色	1956年	紙本彩色
横山 操	秋	1963年	紙本彩色
横山 操	ふるさと	1966年	絹本彩色
麻田 鷹司	雪景色	1975年頃	紙本彩色
布川 勝三	蒲原風景	1976年	油彩、キャンバス
柴田 長俊	やわらかき夜	1990年	紙本彩色
安宅 安五郎	越後六拾景図		水彩、墨、顔料、紙
	新潟異人池天主教会	1945年	水彩、墨、顔料、紙
	新潟税関	1945年	水彩、墨、顔料、紙
	新潟白山神社未定稿	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	沼垂	1949年	水彩、墨、顔料、紙
	上木戸	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	上木戸	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	上木戸	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	松ヶ崎砂丘より新郷川を望む	1944年	水彩、墨、顔料、紙
	加治の花	1949年	水彩、墨、顔料、紙
	北蒲原郡川東村石喜	1949年	水彩、墨、顔料、紙
	越後赤谷字滝谷	1947年	水彩、墨、顔料、紙
	越後赤谷字滝谷	1946年	水彩、墨、顔料、紙
	越後国上五合庵	1939年	水彩、墨、顔料、紙
	五箇浜	1951年	水彩、墨、顔料、紙
	越後五箇浜	1951年	水彩、墨、顔料、紙
	阿賀川鹿瀬	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	佐渡小木	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	小木矢島経島を望む	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	佐渡小比叡蓮華峰寺	1951年	水彩、墨、顔料、紙
	佐渡外海府北鶴島	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	佐渡尖閣湾	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙
	佐渡春日崎	制作年不明	水彩、墨、顔料、紙

早津 剛	小出の家(中魚沼郡中里村小出にて)	1979年	油彩、キャンバス
早津 剛	倉俣の家(中魚沼郡中里村倉俣にて)	1981年	油彩、キャンバス
川合 清	秋	1983年	紙本彩色
川合 清	白粧	1983年	紙本彩色
岩下 尊弘	地吹雪(3点組)	1997年	油彩、キャンバス
亀倉 雄策	苗場スキー場	1967年	オフセット印刷
亀倉 雄策	苗場スキー場	1968年	オフセット印刷
亀倉 雄策	苗場スキー場	1975年	オフセット印刷
亀倉 雄策	苗場スキー場	1977年	オフセット印刷
秋山 さやか	あるく 私の生活基本形 千秋・長岡 2009年6月20日～28日	2009年	ミクストメディア

展示室3 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年	技法、素材
小山 正太郎	仙台の桜	1881年	油彩、キャンバス
高村 真夫	倦怠	1921年	油彩、キャンバス
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916年	油彩、キャンバス
佐伯 祐三	広告塔	1927年	油彩、キャンバス
里見 勝蔵	赤と緑の静物	1928年	油彩、キャンバス
前田 寛治	赤い帽子の女	1925年	油彩、キャンバス
小出 楯重	ソファの裸体	1930年	油彩、キャンバス
梅原 龍三郎	紫禁城	1942年	油彩、岩絵具、キャンバス
岡 鹿之助	朝の城	1970年	油彩、キャンバス
脇田 和	鳥を呼ぶ人	1958年	油彩、キャンバス
新保 兵次郎	窓辺	制作年不明	油彩、キャンバス
三芳 悌吉	海へ騎りゆく	1981年	アクリル絵具、キャンバス
小原 稔	棚	1975年	油彩、キャンバス
末松 正樹	群青	1959年	油彩、キャンバス
ファン・ファン・ゴホ	長い棒を持つ農婦	1885年	油彩、キャンバス ※委託
ビエール・エディエンヌ・テオドル・ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845年頃	油彩、キャンバス
コンスタン・トロワイヨン	りんごの取り入れ	1840年頃	油彩、キャンバス
エルンスト・バルラッハ	ロシアの恋人たち	1908年	ブロンズ
オーギュスト・ロダン	考える人	1880年	ブロンズ

■ロビー

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998年	FRP、ウレタン塗装
-------	---	-------	------------

■コレクション展回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994年	FRP、ウレタン塗装
-------	------------------	-------	------------



■第3期 8月27日(火)～12月15日(日)(95日間)

前期：10月20日(日)まで／後期：10月22日(火)から

展示室1：親と子のワクワク美術館 はい、ポーズ！

【趣 旨】

美術作品の中には、様々なポーズの人が登場する。そのポーズには、描かれた人や作者の思いが込められている。

本展は描かれたポーズに注目し、マネをするなどの身体的な鑑賞も交えて楽しみ方を提案した。

担当 宮下東子

展示室2：没後40年 竹谷富士雄

【趣 旨】

戦前から戦後にかけてたびたびフランスに渡り、瀟洒な色調で都会風景、室内風景などを描いた洋画家・竹谷富士雄（1907～1984、五泉市出身）。1940～80年代の油彩画約20点とともに、竹谷と関わりのあった山口薫、藤田嗣治等の作品を紹介した。

【関連行事】

・美術鑑賞講座「魅力再発見 パリの色彩を描いた洋画家・竹谷富士雄」

10月19日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：長嶋圭哉（主任学芸員）

担当 長嶋圭哉

展示室3：近代美術館の名品

【趣 旨】

所蔵品の中から名品を選びすぐって展示した。

担当 飯島沙耶子

【出品リスト】

展示室1 親と子のワクワク美術館 はい、ポーズ！

作家名	作品名	制作年	技法、素材
岩田 正巳	緑扇	1969年	紙本彩色
何するポーズ？			
脇田 和	あらそい	1955年	油彩、キャンバス
三芳 徳吉	ピストロにて	1962年	油彩、キャンバス
林 昭三	おと	1989年	楠
牧野 虎雄	秋近き濱	1934年	油彩、キャンバス
脇田 和	鳥を呼ぶ人	1958年	油彩、キャンバス
マネしてみよう			
篠内 佐斗司	走る童子	1996年	ブロンズ
淀井 敏夫	エビダウロス・追想	1984年	ブロンズ
岩野 勇三	にけ	1986年	ブロンズ
阿部 展也	太郎	1949年	油彩、キャンバス
阿部 展也	予言者	1954年	油彩、キャンバス
オーギュスト・ロダン	考える人	1880年	ブロンズ
つぎに どうなる？			
岩田 正巳	いかづち	1955年	紙本彩色
村山 徑	創	1971年	紙本彩色
羽下 修三	鮭瀬上	1955年	木彫
イスにすわって、はい、ポーズ！			
安宅 庸雄	黄色い服	1963年	油彩、キャンバス
安宅 庸雄	白鳥	1965年	油彩、キャンバス
この人、どんな人？			
峰村 リツ子	桜井浜江像	1930年	油彩、キャンバス
國領 経郎	千原氏像	1948年	油彩、キャンバス

展示室2 没後40年 竹谷富士雄

作家名	作品名	制作年	技法、素材	展示
竹谷富士雄	壺つくりの女	1940年	油彩、キャンバス	
	樹下 裏磐梯にて	1944年	油彩、キャンバス	
	廃墟のヴィナス	1947年	油彩、キャンバス	
	舞台裏の饗宴	1947年	油彩、キャンバス	
	春の突堤(信濃川風景)	1951年	油彩、キャンバス	
	市場の女達	1952年	油彩、キャンバス	
	家族	1952年	油彩、キャンバス	
	秋果	1950年	油彩、キャンバス	
	秋果	1953年	油彩、キャンバス	
	土と人(竈だし)	1955年	油彩、キャンバス	
	貧しい労働	1954年	油彩、キャンバス	
	風の後	1956年	油彩、キャンバス	
	岩と人	1957年	油彩、キャンバス	
	三人	1958年	油彩、キャンバス	
	網を干す	1960年	油彩、キャンバス	
	鳥影	1961年	油彩、キャンバス	
	ある風景	1965年	油彩、キャンバス	
	青い網	1966年	油彩、キャンバス	
	赤い網	1966年	油彩、キャンバス	
	舟泊	1968年	油彩、キャンバス	
	シノンの町の屋根	1971年	油彩、キャンバス	
鳥居 敏文	村の市	1976年	油彩、キャンバス	
	モンマルトル・屋さがり	1978年	油彩、キャンバス	
	モンマルトルにて	制作年不明	パステル、紙	前
	モンマルトルにて	制作年不明	パステル、紙	後
	舟泊る	1981年	油彩、キャンバス	
	舟帰る	1981年	油彩、キャンバス	
	卓上のモチーフ	1982年	油彩、キャンバス	
	草の上	1963年	油彩、キャンバス	
	山口 薫	夜明けの顔	1954年	油彩、キャンバス
	藤田 実	生への折り	1973年	油彩、キャンバス
藤田 嗣治	私の夢	1947年	油彩、キャンバス	

展示室3 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年	技法、素材
小山 正太郎	仙台の桜	1881年	油彩、キャンバス
坂本 繁二郎	牛	1915年	油彩、キャンバス
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916年	油彩、キャンバス
佐伯 祐三	広告塔	1927年	油彩、キャンバス
里見 勝蔵	赤と緑の静物	1928年	油彩、キャンバス
前田 寛治	赤い帽子の女	1925年	油彩、キャンバス
小出 楳重	ソファの裸体	1930年	油彩、キャンバス
梅原 龍三郎	紫禁城	1942年	油彩、岩絵具、キャンバス
岡 鹿之助	朝の城	1970年	油彩、キャンバス
脇田 和	双鳥	1953年	油彩、キャンバス
新保 兵次郎	窓辺	制作年不明	油彩、キャンバス
三芳 徳吉	海へ騎りゆく	1981年	アクリル絵具、キャンバス
ジャン・バティスト=ガミーユ・コロ	ビブリー	1874-75年	油彩、キャンバス
ジュリアン・デュプレ	羊飼いの	1883年頃	油彩、キャンバス
アト・コ・フォンタネージ	ブジェイ高原	1858-60年頃	油彩、キャンバス
ジョン・エヴァルト・ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859年	油彩、板
フェルナンド・ボテロ	頭像	1989年	ブロンズ
マックス・エルンスト	鳥=人頭	1934-1935年 (铸造1992年)	ブロンズ

■ロビー

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998年	FRP、ウレタン塗装
-------	---	-------	------------

■コレクション展回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994年	FRP、ウレタン塗装
-------	------------------	-------	------------



■第4期 12月24日(火)～2025年3月30日(日)(81日間)

前期：2025年2月16日(日)まで／後期：2月18日(火)から

展示室1：シークレット・ガーデン

【趣 旨】

庭—この言葉から、人は何を思い浮かべるだろうか。丹精込めて造形された庭園や人々に親しまれる公園、あるいは自分だけの秘密の空間。様々な美術作品を通して、無限の想像力をかきたてる庭というものを味わう展示内容とした。

担当 平石昌子

展示室2：近代美術館の名品

【趣 旨】

所蔵品の中から名品を選びすぐって展示した。

担当 池田珠緒

展示室3：亀倉雄策と時代を拓いた作家

【趣 旨】

土門拳、勅使河原蒼風、桑澤洋子、イサム・ノグチなど、時代を切り拓いた作家たちと亀倉雄策の交流の様子を、亀倉雄策関連資料から振り返った。

【関連行事】

・美術鑑賞講座「アーカイブの構築に向けて：亀倉雄策関連資料から見えてきたこと」

2025年3月1日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：今井有（専門学芸員）

担当 今井有

【出品リスト】

展示室1 シークレット・ガーデン					
作家名	作品名	制作年	技法、素材	展示	
R. リキテンスタイン	睡蓮と柳	1992年	スクリーン・プリント、ステンレス、スチール板		
日高 理恵子	空との距離Ⅱ	2002年	紙本彩色		
R. J. ソーントン	「フロアへの神殿」	1812年	ステッパル、アクアチント、手彩色		
三芳悌吉	種と実A	制作年不明	水彩、紙	前	
	種と実B	制作年不明	水彩、紙	前	
	種と実C	制作年不明	水彩、紙	前	
	柿・花梨	制作年不明	水彩、紙	前	
	あけび	制作年不明	水彩、紙	前	
	白つめ草	制作年不明	水彩、紙	後	
	西洋おだまき	制作年不明	水彩、紙	後	
	ブルーベリー	制作年不明	水彩、紙	後	
	秋を飾る(やまごぼう)	制作年不明	水彩、紙	後	
	グロリオサ	制作年不明	水彩、紙	後	
宮 芳平	ドント・オープン	大正中期	パステル、紙	前	
駒井 哲郎	庭の一隅	1966年	シュガー・アクアチント	後	
阿部 展也	なめくじ夜曲	1947年	水彩、紙	後	
	「夜曲なめくじ」より	1949年	水彩、インク、紙	後	
三輪 晃勢	草の上	1947年	紙本彩色		
三輪 晃久	森	1977年	紙本彩色		
東山 魁夷	森の静寂	1964年	紙本彩色		
中野 嘉之	生命の讃歌—鹿(黒月)	2000年	紙本彩色		
	生命の讃歌—鹿(白月)	2000年	紙本彩色		
安宅 安五郎	群蝶	1926年	油彩、キャンバス		
野間 仁根	花園の友人	1936年	油彩、キャンバス		
牧野 虎雄	春去らんとす	1925年	油彩、キャンバス		
	サンルーム	1929年	油彩、キャンバス		
細野 稔人	鳥と少女	1976年	ブロンズ		
安宅 安五郎	越後六拾景図 新潟高蔵家別邸庭園	1944年	水彩、顔料、紙	前	
	越後六拾景図 新潟高蔵家別邸庭園	1944年	水彩、顔料、紙	前	
	越後六拾景図 新潟高蔵家別邸庭園	1944年	水彩、顔料、紙	前	
渡辺 義雄	向月亭 延段	1973年	モノクローム・プリント	前	
	慈光院 書院と南側の庭	1973年	モノクローム・プリント	前	
	常栄寺 石庭	1973年	モノクローム・プリント	前	
濱谷 浩	學藝諸家 高橋誠一郎 経済学者	1952年	モノクローム・プリント	後	
	學藝諸家 前田青邨 日本画家	1953年	モノクローム・プリント	後	
	學藝諸家 内田百閒 作家	1954年	モノクローム・プリント	後	
	學藝諸家 小林秀雄 評論家	1955年	モノクローム・プリント	後	
	學藝諸家 獅子文六 作家、劇作家	1955年	モノクローム・プリント	後	
	學藝諸家 室生犀星 詩人、作家	1959年	モノクローム・プリント	後	
番場春雄	残雪の椿園	1972年	紙本彩色		

展示室2 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年	技法、素材
橋本 龍美	祭り人	1966年	紙本彩色
	見世物	1966年	紙本彩色
	森のこだま	1971年	紙本彩色
	慈光冬門	1978年	紙本彩色
	お化寺	1975年	紙本彩色
	望郷四季	1986年	紙本彩色
	北村英治「ルゼツ ジャズ・マシーン」80	1980年	オフセット印刷、紙
和田 誠	EXPO'85(公式ポスター第4号)	1985年	オフセット印刷、紙
	カサブランカ	1987年	オフセット印刷、紙
	星の王子さま	1985年	オフセット印刷、紙
	リトル・ショップ・オブ・ホラーズ	1987年	オフセット印刷、紙
	和田誠 時間旅行	1997年	オフセット印刷、紙
	白石加代子 VS. 筒井康隆	1995年	オフセット印刷、紙
	パッパ没後250年メモリアルコンサート	2000年	オフセット印刷、紙
	銀座界隈「ガヤガヤ青春ショー」/ 瀧本唯人、宇野重吉、和田誠、横尾忠則	2009年	オフセット印刷、紙
佐藤 哲三	二宮九八郎の肖像	1937年	油彩、キャンバス
ジュール・クレマン・シャプラン	ブリュッセル王立美術学校最高試験最高賞メダル	1906年発行／1960年頒再発行	メダル
武石 弘三郎	文芸委員会賞牌	1912年	メダル
星野 健司	行者	2010年	鉄、ステンレス
オーギュスト・ロダン	考える人	1880年	ブロンズ
ギュスターヴ・クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869年	油彩、キャンバス
カミーユ・ピサロ	ルーヴシエンヌの画家の家、雪	1871年	油彩、キャンバス 郵託品
クロード・モネ	コロンブの平原、霜	1873年	油彩、キャンバス
ジョルジュ・ルオー	晩秋 No.3	1948-1952年	油彩、板
青木 繁	妙義山	1902年	油彩、板
長谷川 利行	風景	1931年	油彩、キャンバス
島海 青児	二重橋	1956年	油彩、キャンバス
	北海道風景	1943年	油彩、キャンバス

展示室3 亀倉雄策と時代を拓いた作家

作家名	作品名	制作年	技法、素材
亀倉 雄策	学校法人桑沢学園 桑沢デザイン研究所	1954年	ポスター(シルクスクリーン)
亀倉 雄策(装丁)	「ふだん暮らしのデザイナー」(桑澤洋子著、平凡社)	1957年	書籍(表紙のみ)
亀倉 雄策	勅使河原蒼風展	1954年	ポスター(シルクスクリーン)
亀倉 雄策	勅使河原蒼風 ヨーロッパの旅	1956年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策	丹下健三構成による岳陵と蒼風	1957年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策	勅使河原蒼風の眼展	1981年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策	草月創流 60周年	1987年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策	草月創流 60周年	1987年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策(装丁)	「蒼風造形」(勅使河原蒼風著、主婦の友社)	1978年	書籍
亀倉 雄策(装丁)	「風景図説」(草月別冊 1953年2月 草月会出版部)	1953年	冊子(表紙)
亀倉 雄策	佛陀	1961年	広告
亀倉 雄策	土門拳写真集「風貌」	1953年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策(装丁)	「風貌」(土門拳著、アルス)	1953年	書籍(表紙)
亀倉 雄策(装丁)	「風貌」(土門拳著、アルス)	1953年	書籍
亀倉 雄策(装丁)	「筑豊のこどもたち」(土門拳著、パトリア書店)	1960年	書籍
亀倉 雄策(装丁)	「古寺巡禮」(土門拳著、美術出版社)	1996年	書籍
亀倉 雄策(装丁)	「女人島野室生土」(土門拳著、美術出版社)	1978年	書籍
亀倉 雄策	土門拳写真展 古寺巡礼	1972年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策	土門拳記念館	1983年	ポスター(オフセット)
亀倉 雄策	花が逃げる「土門拳の描いた花精」	1991年	ポスター(オフセット)
ハーバート・バイヤー	無題	1948年	リトグラフ、紙
ハーバート・バイヤー	ベールの山	1953年	油彩、板
ハーバート・バイヤー	緑の星	1962年	アクリル絵具、キャンバス
亀倉 雄策	ハーバート・バイヤー展	1986年	ポスター(オフセット)
ポール・ランド	カチナ	不明	木、彩色、羽
	無題	1954年	水彩、紙
亀倉 雄策(装丁)	「ポール・ランド作品集」(亀倉雄策編、造型社)	1959年	書籍
イサム・ノグチ	魚	1950-52年	陶
イサム・ノグチ	無題	1950-52年	陶
イサム・ノグチ	デッサン・塔／デッサン・英雄記念塔	1952年	墨、紙
イサム・ノグチ	女(リシ・ケシュにて)	1956年	銅鉄

■ロビー

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998年	FRP、ウレタン塗装
-------	---	-------	------------

■コレクション展回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994年	FRP、ウレタン塗装
-------	------------------	-------	------------



企画展

ジブリパークとジブリ展



【趣 旨】

宮崎吾朗監督を中心に、ジブリパークがどのように生み出されたのか、その舞台裏を紹介した。

【総 括】

- ・大規模展の開催により美術館利用者の拡充を図る所期の目標は概ね達成できた。コロナ禍を経た現在でも、ジブリ・アニメ関連企画は集客力が高く、また今後の開催への期待も大きいことが確かめられた。
- ・日時指定制を採らなかったことで、土日に混雑が集中し、一部想定しなかった混雑も生じた。親子連れや高齢者、障害者等にとっては、長時間の待機や展示室内の混雑が大きな負担となる。大型展における満足度向上や来館者が快適に過ごせる環境の維持について、今後も模索していく。

【開催日・その他】

=4月17日(水)～6月9日(日) (48日間)=

休館日：4月22日(月)、5月7日(火)、5月13日(月)、5月20日(月)、5月27日(月)、6月3日(月)

主 催：新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、ジブリパークとジブリ展新潟実行委員会

協 賛：DNP大日本印刷

後 援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日報社、長岡新聞社、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7

企画制作協力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、ジブリパーク

観覧料：一般……………1,900円(1,700円)
大学・高校生……………1,400円
※中学生以下は無料
※〈 〉内は前売券料金

【図録 (公式パンフレット)】

仕 様：A4判変型、72頁

発行年：2024年 (増補改訂版)

構成・編集：齊藤睦志 (クラフトワークス)

編集担当：森田由利 (スタジオジブリ)

編集協力：大島万貴子、上村早江子、松山佳保里、佐藤舞、田井勇輝、諸留さくら (スタジオジブリ)

デザイン：松永路

協 力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、中日新聞社／東京新聞、新潮社

印刷・製本：大日本印刷株式会社

発行・発売：株式会社ジブリパーク



【関連記事】

●新聞

その他 十日町タイムス (3/28)
村上新聞 (3/30)
十日町新聞 (4/4)
妻有新聞 (4/6)
新潟日報 (4/17)
越南タイムズ (5/2)

●テレビ

2月28日(水) TeNYテレビ新潟「新潟一番」
3月 1日(金) TeNYテレビ新潟「新潟一番」週末ガイド
4月12日(金) TeNYテレビ新潟「新潟一番」週末ガイド
4月17日(水) TeNYテレビ新潟「NNNストレイトニュース」
4月17日(水) TeNYテレビ新潟「新潟一番」中継・ニュース
5月 5日(日) TeNYテレビ新潟「新潟一番サンデープラス」
5月10日(金) TeNYテレビ新潟「新潟一番」週末ガイド
5月15日(水) TeNYテレビ新潟「新潟一番」ニュース
5月19日(日) TeNYテレビ新潟「新潟一番サンデープラス」
5月24日(金) TeNYテレビ新潟「新潟一番」週末ガイド
6月 7日(金) TeNYテレビ新潟「新潟一番」週末ガイド

●WEB

4月16日(火) 025 (ゼロニゴ)「[4/17から開幕] ジブリパークとジブリ展が長岡にやってくる！」
5月17日(金) WebSkip「ジブリパークとジブリ展 at 新潟県立近代美術館」
5月28日(火) 地域ニュースサイト号外NET「6月9日まで新潟県立近代美術館で開催の『ジブリパークとジブリ展』は撮影場所も増え、さらに見どころ満載に！」

5月28日(火) Yahoo!ニュース「【長岡市】撮影場所も増えた『ジブリパークとジブリ展』は平日の来館が断然おすすめ【6月9日まで開催】」

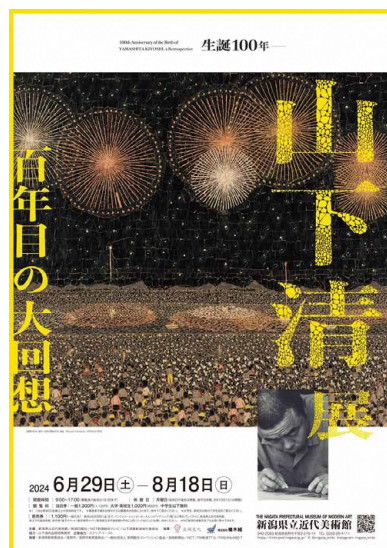
【観覧者数】

有料観覧者数	当日	64,037
	前売	18,139
無料観覧者数	招待	2,976
	無料	36,735
	免除	4,239
総観覧者数		126,126
有料率 (%)		65.2

担当 長嶋圭哉



生誕100年 山下清展 百年目の大回想



【趣 旨】

放浪の画家山下清の生誕100年を記念し、作品約190点と関連資料により生涯と画業を紹介した。

【総 括】

- ・充実した内容で作家への理解を深めていただく良い機会となった。代表作《長岡の花火》をはじめ山下清への人気は根強く予想を大きく上回る来館者数であった。
- ・展示室内に休憩場所が足りないという声が多く寄せられた。多様な来館者に配慮した鑑賞環境づくりが今後の課題である。

【開催日・その他】

＝6月29日(土)～8月18日(日) (45日間)＝

休館日：月曜休館 ただし祝休日の場合は開館し、翌平日休館。

8月13日(火)は開館。

主 催：新潟県立近代美術館、新潟日報社、NST新潟総合テレビ、山下清展新潟実行委員会

協 賛：一般財団法人長岡花火財団、株式会社植木組

協 力：山下清作品管理事務所

企画協力：ステップ・イースト

後 援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、一般社団法人 長岡観光コンベンション協会、長岡新聞社、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7

観覧料：一般 …………… 1,300円(1,100円)〈1,100円〉

大学・高校生 …… 1,000円(800円)

※中学生以下は無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売券料金

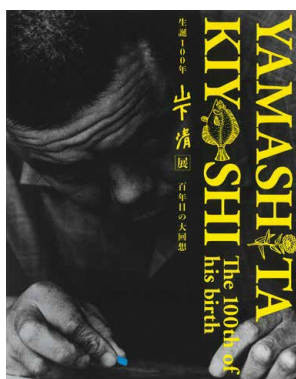
【関連行事】

- ・講演会「家族が語る山下清」
6月29日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：山下浩氏（山下清作品管理事務所代表・山下清の甥）
参加者数：104名
- ・ワークショップ
親子でアート！ワークショップ「てん・てん・てん……でえがいてみよう」
7月14日(日) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
2階ギャラリー
講師：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：①10:00～12:00 大人9名、こども（中学生以下）10名
②14:00～16:00 大人10名、こども（中学生以下）9名

- ・親子ふれあいデー「親子でアート！おしゃべりタイム」
7月14日(日)、8月18日(日) 9:00～17:00

【図録】

山下浩ほか著『生誕100年 山下清展 百年目の大回想』
ステップ・イースト発行、2023年



【関連記事】

●新聞

- 6月24日 新潟日報「新潟愛した放浪画家 生誕100年 山下清展 百年目の大回想」／今井有
- 6月29日 新潟日報「長岡の花火」緻密に 近代美術館 山下清展さよう開幕

〈連載〉

- ・新潟日報「山下清展」
 - ①「上野の地下鉄」少年期を彩る代表作」（7/12）
 - ②「汽車道を歩いているところ」道に迷わないように」（7/17）
 - ③「放浪中に使用したリュックサック」画材は持って歩かず」（7/20）
 - ④「グラバー邸」絵を描く自身 画中に」（7/23）
 - ⑤「小石川の後楽園」複雑さを描く集中力」（7/25）
 - ⑥「ハイデルベルクの古城」緻密な表現 技術進化」（7/30）
- 8月1日 新潟日報 連載⑦「山下清展「花もも（九谷焼）」側面に得意の弘法麦」
- 8月4日 朝日新聞「山下清の「花火」長岡で堪能 県立近代美術館 生誕100年記念展」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	21,760
	前売	5,169
無料観覧者数	招待	1,889
	無料	2,414
	免除	2,033
総観覧者数		33,265
有料率（%）		81.0

担当 今井有



【出品リスト】

第1章 山下清の誕生—昆虫そして絵との出会い

作品名	制作年	技法等	画寸
画家・山下清の誕生			
1 花火(大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7)年頃	鉛筆画	160×228
2 お風呂(大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7)年頃	鉛筆画	175×190
3 食事(大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7)年頃	鉛筆画	160×228
4 こいのぼり(大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7)年頃	鉛筆画	160×228
5 街風景(大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7)年頃	鉛筆画	160×228
山下清と昆虫			
6 あしなが蜂	1934 (昭和9)年	貼絵	130×195
7 蝶々	1934 (昭和9)年	貼絵	120×170
8 ほたる	1934 (昭和9)年	貼絵	120×175
9 せみ	1934 (昭和9)年	貼絵	135×180
10 とんぼ	1934 (昭和9)年	貼絵	120×170
11 蝶	1934 (昭和9)年	貼絵	135×190
12 くもとけむしのスケッチ	1936 (昭和11)年	鉛筆画	275×182
13 かみきり虫	1936 (昭和11)年	鉛筆画	178×277
14 蜂1	制作年不詳	ペン画	270×240
15 蜂2	制作年不詳	ペン画	270×240
16 蝶々	制作年不詳	ペン画	270×240
17 かたつむり	制作年不詳	ペン画	270×240
18 とんぼ	制作年不詳	ペン画	270×240
19 さかな	制作年不詳	ペン画	270×240

第2章 学園生活と放浪への旅立ち

学園での日々			
20 ラジオ体操	1936 (昭和11)年	貼絵	290×375
21 餅つき	1935 (昭和10)年	貼絵	280×370
22 剣道	1936 (昭和11)年	貼絵	280×365
23 柔道	1937 (昭和12)年	貼絵	290×380
24 風呂場	1937 (昭和12)年	貼絵	290×375
25 大工さん	1937 (昭和12)年	貼絵	300×390
26 学校で活動写真を写している所	1938 (昭和13)年	貼絵	280×365
27 身体検査	1937 (昭和12)年	貼絵	290×370
28 寝る支度をしているところ	1936 (昭和11)年	貼絵	275×365
29 就寝	1937 (昭和12)年	貼絵	290×370
30 雪だるま	1937 (昭和12)年	貼絵	290×370
31 ともだち	1938 (昭和13)年	貼絵	240×330
32 二重橋	1937 (昭和12)年	貼絵	370×560
33 上野の地下鉄	1937 (昭和12)年	貼絵	360×560
34 上野の東照宮	1939 (昭和14)年	貼絵	580×755
35 八幡様の鳥居	1939 (昭和14)年	貼絵	580×760
36 農園	1937 (昭和12)年	貼絵	290×375
37 園芸作業	1939 (昭和14)年	貼絵	585×760
38 庭	1937 (昭和12)年	貼絵	300×390
39 桃畠	1937 (昭和12)年	貼絵	280×365
40 湖畔	1937 (昭和12)年	貼絵	570×740
41 田舎の風景	1937 (昭和12)年	貼絵	470×620
創作の礎となった静物画			
42 鉢花	1937 (昭和12)年	貼絵	290×385
43 ゆり	1938 (昭和13)年	貼絵	570×750
44 栗	1938 (昭和13)年	貼絵	230×320
45 栗の花	1938 (昭和13)年	貼絵	直径205
46 船のもけいとゆり	1937 (昭和12)年	貼絵	570×745
47 菊	1939 (昭和14)年	貼絵	750×570
48 菊	1940 (昭和15)年	貼絵	750×570
49 いけ花	1938 (昭和13)年	貼絵	575×755
50 桜	1939 (昭和14)年	貼絵	235×345
放浪へと駆り立てた戦争			
51 観兵式	1937 (昭和12)年	貼絵	380×585
52 鉄条網	1938 (昭和13)年	貼絵	580×760
53 軍艦	1938 (昭和13)年	貼絵	575×760
54 高射砲	1938 (昭和13)年	貼絵	580×760
放浪へ			
特1 絵日記帳			145×200
55 学園から出かけるところ	1955 (昭和30)年	鉛筆画	145×205
56 トンネルをくぐる時のこと	1954 (昭和29)年	鉛筆画	180×255
57 汽車道を歩いているところ	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145×205
58 うすい峠	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145×205
59 草津温泉の電車道を歩いているところ	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145×205
60 草津温泉	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145×205
61 岡部駅で休んで居る所	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145×205
62 埼玉県熊谷の花火	1955 (昭和30)年	鉛筆画	145×205
63 高崎線の汽車の窓から外の景色を見て居る所	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145×205

64	横濱の港で遊んで居る所	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145 × 205
65	江の島の景色	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145 × 205
66	熱海の海岸の景色を見ながら歩いているところ	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145 × 205
67	東海道線の島田で夕飯を貰いにいくところ	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145 × 205
68	袋井で夕飯を貰っているところ	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145 × 205
69	新しいリュックの中へ品物をしまうところ	1954 (昭和29)年	鉛筆画	145 × 205
70	易者に運勢を見て貰った時の事	1954 (昭和29)年	鉛筆画	180 × 255
71	寝る時の事	1954 (昭和29)年	鉛筆画	180 × 255
72	水に溺れた時の事	1954 (昭和29)年	鉛筆画	180 × 255
特2	【特別出品】おべんとういかがですか	1960 (昭和35)年	ペン画	325 × 240
放浪期の貼絵				
73	遠足	1950 (昭和25)年	貼絵	530 × 760
74	山の頂上から見た景色	1950 (昭和25)年	貼絵	550 × 760
75	金町の魚つり	1950 (昭和25)年	貼絵	530 × 780
76	神宮外苑	1950 (昭和25)年	貼絵	600 × 800
77	アキノキリンソウ	1943 (昭和18)年	貼絵	310 × 250
78	さるすべり	1940 (昭和15)年	貼絵	250 × 305
79	金せん花	1949 (昭和24)年	貼絵	250 × 350
80	もくれん	1940 (昭和15)年	貼絵	300 × 240
81	練兵場へ遠足	1940 (昭和15)年	貼絵	585 × 765
82	上野不忍池	1940 (昭和15)年	貼絵	580 × 760
83	上野の五重塔	1940 (昭和15)年	貼絵	750 × 570
84	ラ・ムスメ(娘) —ゴッホによる	1940 (昭和15)年	貼絵	750 × 570
85	自分の顔	1950 (昭和25)年	貼絵	760 × 530
86	長岡の花火	1950 (昭和25)年	貼絵	530 × 750
87	学園附近の景色	1943 (昭和18)年	貼絵	453 × 680
88	伊豆大島の風景	1954 (昭和29)年	貼絵	540 × 760
「放浪を辞める誓い」				
89	桜島	1954 (昭和29)年	貼絵	540 × 765
90	桜島	制作年不詳	ペン画	580 × 880
91	桜島	制作年不詳	ペン画	231 × 262
92	桜島	制作年不詳	染絵	585 × 620

第3章 画家・山下清のはじまり—多彩な芸術への試み

油彩への挑戦				
93	市川の風景	1951 (昭和26)年	油彩	520 × 440
94	群鶏	1960 (昭和35)年	油彩	520 × 450
95	ぼけ	1951 (昭和26)年	油彩	580 × 440
97	開聞岳	1956 (昭和31)年頃	油彩	520 × 710
98	つばき	1951 (昭和26)年	油彩	直径205
99	桜	1951 (昭和26)年	油彩	直径205
100	ストックと矢車草	1951 (昭和26)年	油彩	直径205
101	ラッパ水仙	1951 (昭和26)年	油彩	直径150
102	チューリップ	1951 (昭和26)年	油彩	直径205
ペン画一点と線の芸術				
103	両国の花火	制作年不詳	ペン画	480 × 580
104	横浜埠頭に	1956 (昭和31)年	ペン画	235 × 263
105	港の船(スケッチブックより)	1956 (昭和31)年	ペン画	300 × 370
106	小石川の後楽園	1960 (昭和35)年	ペン画	240 × 330
107	杉並の大聖堂	制作年不詳	ペン画	370 × 450
108	赤ん坊の顔	1956 (昭和31)年	ペン画	350 × 250
109	ストリップ嬢	1956 (昭和31)年	ペン画	270 × 240
110	大谷の平和観音	1958 (昭和33)年	ペン画	320 × 405
111	仙台の七夕	1956 (昭和31)年	ペン画	390 × 300
112	岩手の鹿踊り	1956 (昭和31)年	ペン画	302 × 241
113	秋田の竿灯	1957 (昭和32)年	ペン画	395 × 303
114	トンネルのある風景	1956 (昭和31)年	ペン画	240 × 240
115	昇仙峡	1957 (昭和32)年	ペン画	405 × 315
116	養老の滝	1957 (昭和32)年	ペン画	390 × 300
117	岐阜の紙の大仏	1957 (昭和32)年	ペン画	530 × 380
118	奈良二月堂	1957 (昭和32)年	ペン画	355 × 430
119	夙川風景	1956 (昭和31)年	ペン画	265 × 233
120	南京町	1956 (昭和31)年	ペン画	265 × 233
121	はまごう	1956 (昭和31)年	ペン画	265 × 345
122	石庭	1956 (昭和31)年	ペン画	235 × 340
123	関門海峡	1956 (昭和31)年	ペン画	365 × 400
124	阿波踊り	1956 (昭和31)年	ペン画	232 × 263
125	お蝶夫人屋敷	1956 (昭和31)年	ペン画	280 × 355
126	与賀神社	1957 (昭和32)年	ペン画	308 × 388
127	開聞岳	1956 (昭和31)年	ペン画	233 × 265
128	腕すもう	1956 (昭和31)年	ペン画	240 × 270
129	東京オリンピック	1964 (昭和39)年	ペン画	385 × 300
特3	【特別出品】兼六園の庭	1957 (昭和32)年	ペン画	450 × 375
進化する貼絵				
130	グラバー邸	1956 (昭和31)年	貼絵	450 × 520
131	ソニコンロケット	1959 (昭和34)年頃	貼絵	440 × 360

第4章 ヨーロッパにて一清がみた風景

ヨーロッパ風景・貼絵

132 ハイデルベルクの古城	1964 (昭和39)年	貼絵	440×520
133 パリのサクレクール寺院	1962 (昭和37)年	貼絵	455×530
134 スイス風景	1963 (昭和38)年	貼絵	455×530
135 スイス風景	制作年不詳	貼絵	453×528
136 スイスの町	1963 (昭和38)年	貼絵	460×535
137 ロンドンのタワーブリッジ	1965 (昭和40)年	貼絵	440×520

ヨーロッパ風景・水彩画とペン画

139 パリのエッフェル塔	1961 (昭和36)年	水彩画	735×540
140 パリのノートルダム寺院	1961 (昭和36)年	水彩画	760×560
141 パリのムーランルーシュ	1961 (昭和36)年	水彩画	560×380
142 パリのムーランルーシュ (ヨーロッパ・スケッチブックより)	1961 (昭和36)年	ペン画	405×310
143 パリの凱旋門	1961 (昭和36)年	ペン画	560×770
144 パリのモンマルトル	1961 (昭和36)年	ペン画	375×565
145 ロンドン塔付近	1961 (昭和36)年	水彩画	560×765
146 ストックホルムの市役所	1961 (昭和36)年	水彩画	535×360
147 ストックホルムの市役所の庭	1961 (昭和36)年	水彩画	370×550
148 ストックホルムの市役所 ストリンドベリ石像の習作(ヨーロッパ・スケッチブックより)	1961 (昭和36)年	ペン画	405×315
149 ストックホルムの夜景	1961 (昭和36)年	水彩画	540×740
150 オランダの風車	1961 (昭和36)年	水彩画	540×365
151 コペンハーゲンの人魚像	1961 (昭和36)年	水彩画	375×565
152 コペンハーゲンの人魚像	1961 (昭和36)年頃	水彩画	476×551
153 ベニスのサンマルコ寺院	1961 (昭和36)年	水彩画	555×760
154 ベニスのゴンドラ風景	1961 (昭和36)年	水彩画	540×365
155 ベニスのゴンドラ風景	1961 (昭和36)年	ペン画	265×233
156 スイスの町	1961 (昭和36)年	ペン画	545×740
157 アラスカにて	1961 (昭和36)年	ペン画	222×288

ヨーロッパ風景・陶磁器

158 ヨーロッパの壺 (清水焼)	1961 (昭和36)年	壺	H220/直径180
159 ベニスのゴンドラ風景 (清水焼)	1961 (昭和36)年	大皿	直径370

第5章 円熟期の創作活動

才能が開花した陶磁器

160 花もも(九谷焼)	1956 (昭和31)年	色絵蓋物	H120/直径250
161 カーネーション	1956 (昭和31)年	大皿	直径275
162 かたつむり	1956 (昭和31)年	大皿	直径340
163 群鶏(布志名焼)	1956 (昭和31)年	ガレナ釉大皿	直径450
164 大文字焼風景(牛ノ戸焼)	1956 (昭和31)年	鉄釉壺	H270/直径270
165 かたつむりととんぼと弘法麦	1956 (昭和31)年	壺	H260/直径100
166 指描き模様の皿(布志名焼)	1956 (昭和31)年	大皿	直径333
167 こうぼう麥	制作年不詳	ガレナ釉飾皿	直径243
168 春夏秋冬	制作年不詳	急須・湯呑	急須 H150/直径120 湯呑 H55/直径89
169 蛸と海月と貝	制作年不詳	急須	H175/直径160
170 虫のいろいろ	制作年不詳	黒釉金箔花瓶	H283/直径82
171 長岡の花火(有田焼)	1957 (昭和32)年	色絵大皿	直径508
172 蜂	制作年不詳	皿	直径275
173 蝶々	1956 (昭和31)年	絵付大皿	直径365
174 蝶々・つゆ草	1956 (昭和31)年	絵付丸壺	H242/直径220

清が愛した富士山

175 富士山	1957 (昭和32)年	ペン画	530×375
176 富士山	制作年不詳	タイル画	570×420
177 富士山	制作年不詳	自筆石版	370×315
178 日本平よりの富士	制作年不詳	ペン画	240×270
179 富士山	制作年不詳	絵付壺	H278/直径210
180 東海道五十三次・富士(吉原)	制作年不詳	版画	270×350

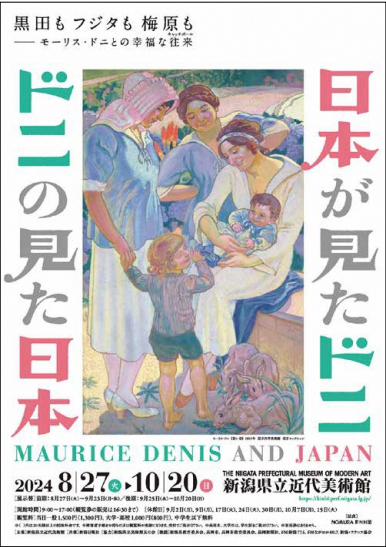
遺作・東海道五十三次

181 東海道五十三次・矢矧橋(岡崎)	制作年不詳	ペン画	305×395
182 東海道五十三次・川崎大師(川崎)	制作年不詳	版画	350×270
183 東海道五十三次・横浜中央通り(横浜)	制作年不詳	版画	270×350
184 東海道五十三次・松並木(大磯)	制作年不詳	版画	270×350
185 東海道五十三次・山のちかい町(蒲原)	制作年不詳	版画	270×350
186 東海道五十三次・峠の景色(岡部)	制作年不詳	版画	350×270
187 東海道五十三次・天龍川(磐田)	制作年不詳	版画	270×350
188 東海道五十三次・弁天島(舞阪)	制作年不詳	版画	270×350
189 東海道五十三次・舟でくる町(桑名)	制作年不詳	版画	270×350
190 東海道五十三次・ふつうの景色(庄野)	制作年不詳	版画	270×350
191 東海道五十三次・瀬田の唐橋(大津)	制作年不詳	版画	270×350

所蔵先

No.131《ソニコンロケット》 株式会社増田屋コーポレーション蔵
No.152《コペンハーゲンの人魚像》、No.171《長岡の花火(有田焼)》 株式会社増田蔵
No.173《蝶々》、No.174《蝶々・つゆ草》、No.179《富士山》、株式会社西邑画廊
No.87《学園附近の景色》、No.90《桜島》、No.91《桜島》、No.92《桜島》、No.96《菊》、No.97《開聞岳》、No.115《昇仙峡》、No.130《グラバー邸》、No.135《スイス風景》、No.138《ベニスのゴンドラ風景》、No.181《東海道五十三次・矢矧橋(岡崎)》、特別出品(兼六園の庭) 以上、個人蔵
上記以外は山下清作品管理事務所蔵

日本が見たドニ | ドニの見た日本



【趣 旨】

前衛グループ「ナビ派」の中心メンバーとして活躍したモーリス・ドニの画業を軸として、その生涯にわたる日本との豊かな交流を紹介した。

【総 括】

- ・開館以来、重要作家としてきたドニを中心に、内容・作品数ともに充実した展覧会とすることができた。
- ・洋画研究に力を入れている久留米市美術館との共同企画で、豊富な新知見を加えて、テーマの掘り下げが可能となった。
- ・国内のナビ派研究者によるコラム執筆の協力が得られ、より広い視野からの研究成果を図録にまとめることができた。
- ・来館者数が目標の半数以下にとどまった。広報費が少ない県単企画展の周知方法が大きな課題となった。
- ・当館収蔵品の柱である西洋美術を活かした企画展への認知度が不足していることが浮き彫りになった。当館の西洋美術への理解を深めるため、コレクション展や各種広報媒体を使って、今後周知に努める必要があるだろう。

【開催日・その他】

＝8月27日(火)～10月20日(日) (48日間)＝
前期：9月23日(月・休)まで／後期：9月25日(火)から
休館日：9月2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)、30日(月)、
10月7日(月)、15日(火)
主 催：新潟県立近代美術館
共 催：新潟日報社
後 援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡
新聞社、FM新潟77.5、FMながおか80.7、新潟・
フランス協会
協 力：新潟県立美術館友の会
助 成：公益財団法人野村財団
観覧料：一般……………1,500円(1,300円)
大学・高校生……………1,000円(800円)
※中学生以下は無料
※()内は有料20名以上の団体料金

【関連行事】

- ・講演会「憧憬から現実へ―日本人とモーリス・ドニ」
8月31日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：佐々木奈美子氏 (久留米市美術館学芸課長)
参加者数：55名
- ・美術鑑賞講座「モーリス・ドニの日本イメージ―魂の故郷へ」
9月28日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：平石昌子 (当館専門学芸員)
参加者数：48名
- ・映画鑑賞会
「カラミティ」(2020年 82分 レミ・シャイエ監督)
9月22日(日・祝) 14:00～ 講堂
参加者数：35名

【図 録】

- 仕 様：A4判 208頁
編 集：佐々木奈美子 (久留米市美術館)
平石昌子 (新潟県立近代美術館)
翻 訳：小川紀久子、ルシ・マクレリー
デザイン：野村勝久 (野村デザイン制作室)
松本恵子 (k.design)
印 刷：山田写真製版所
発 行：久留米市美術館
内 容：
日本が見たドニ | ドニの見た日本 佐々木奈美子
日本におけるモーリス・ドニの受容―2020年代の現在地 小泉順也
- I ジャポニズムの申し子 | 「ナビ派」の誕生に居合わせた日本人
- 1 プロローグ～ナビ派の揺籃
- 2 ドニとナビ派の仲間たち
- 3 ファースト・コンタクト～ナビ派の誕生に居合わせた日本人
- 4 アール・ヌーヴォーの渦の中で
[コラム]
1 ナビ派誕生の地―パリの世紀末 平石昌子
2 ナビ派の代弁者―ピエール・ルイとは何者か 平石昌子
- 3 世紀末のパリの小劇場とナビ派 袴田紘代
4 モーリス・ドニと黒田清輝 1890 / 1892 佐々木奈美子
- 5 ランソンの食堂壁画と「アール・ヌーヴォーの館」 平石昌子
- II アカデミー・ランソン | パリの画学生～明治・大正・昭和
- 1 アカデミー・ランソンでドニに学ぶ～第一次世界大戦まで
- 2 大正への経脈
- 3 アカデミー・ランソンで学ぶ～エコール・ド・パリの時代
[コラム]
6 「公式」の画家・ドニの公共建築装飾 森万由子
7 教師としてのモーリス・ドニ―アカデミー・ランソンの日本人たち 佐々木奈美子
8 その後のアカデミー・ランソン 佐々木奈美子
- III 宗教芸術家として | そして彼の絵は海を渡る
- 1 海を渡る絵画
- 2 祈りの絵画
- 3 エピローグ～ナビ派回帰
[コラム]
9 モーリス・ドニと1920年代の日本人コレクターたち 杉山菜穂子

- 10 《ベンガル虎 バッカス祭》——その数奇な運命 平石昌子
 11 モーリス・ドニと「アトリエ・ダール・サクレ」 味岡京子
 12 アニメーションで再現されたナビ派と日本の関係 叶精二

モーリス・ドニの日本への眼差し 平石昌子

資料
 作家解説
 関連年表
 主要参考文献
 Bilingual text
 作品リスト



【関連記事】

●新聞

- 8月8日(金) 十日町新聞
 8月10日(日) 妻有新聞
 8月10日(日) 村上新聞
 8月15日(木) 新美術新聞「日本が見たドニ | ドニの見た日本
 同時代日本人たちとの幸福な往来」／平石昌子
 9月1日(日) 新潟日報「仏画家ドニの見た日本」
 9月7日(土) 日本経済新聞「日仏近代絵画 互いを照らす」
 ／赤塚佳彦
 9月10日(火) 長岡新聞「日本画壇への影響を知る」
 9月25日(水) 新潟日報「展覧会へようこそ 温かい絆で影響
 し合い」／平石昌子
 10月1日(火) 朝日新聞夕刊「美の履歴書 867 婚約者の
 うしろ 浮かぶのは」／大西若人

●その他

- 12月10日(火) 長岡市美術協会報「美術館と画家のルーツ」
 ／川上敦夫

●雑誌

- 週刊文春「文春美術館：注目の展覧会」9月5日
 月刊にいがた9月号「ART」
 月刊新潟こまち10月号「今月のイベント」

●テレビ

- 9月22日(日) NHK日曜美術館「アートシーン」

●ラジオ

- 9月下旬 FMながおか 地域情報

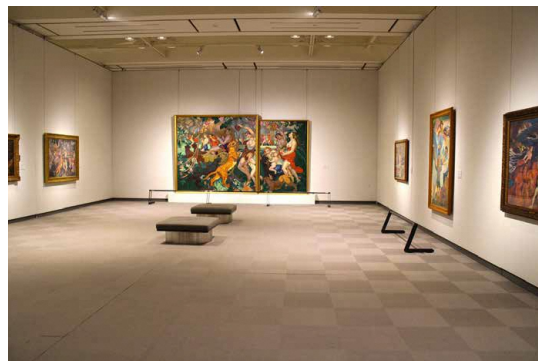
●WEB

- 10月8日(火) MUMEGATOS「ドニのベンガル虎」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	2,234
	前売	—
無料観覧者数	招待	661
	無料	303
	免除	354
総観覧者数		3,552
有料率 (%)		62.9

担当 平石昌子



【出品リスト】

I章 ジャポニスムの申し子 | 「ナビ派」の誕生に居合わせた日本人

作家	作品	制作年	技法／素材、出版社	所蔵先	◆前期 ◇後期
I-1 プロローグ～ナビ派の揺籃					
1 ボール・ゴージェン	ブルターニュの少年の水浴(愛の森の水車小屋の水浴、ボン＝タヴェン)	1886年	油彩・カンヴァス	公益財団法人ひろしま美術館	
2 ボール・ゴージェン	家畜番の少女	1889年	油彩・カンヴァス	静岡県立美術館	
3 エミール・ベルナル	少年像	制作年不詳	油彩・カンヴァス	山梨県立美術館	
4 エミール・ベルナル	サン・ブリアクの収穫	1887年	水彩・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◆	
5 エミール・ベルナル	青い肩かけのブルターニュ婦人	1887年	水彩・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◆	
6 エミール・ベルナル	レゼビアン＝サン・ブリアクの小湾	1888年	水彩・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◇	
7 エミール・ベルナル	アヴァン川の大きな赤い帆	1889年	水彩・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◇	
8 ギュスターヴ・モロー	救済される聖セバ스티アヌス	1885年頃	水彩、グワッシュ・紙	群馬県立近代美術館	
9 オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑 第一集 Ⅲ …そして空から舞い降りた大きな鳥が彼女の髪のでっぺんに襲いかかる…	1888年	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	◆
10 オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑 第一集 Ⅵ それはバラ色の冠をいただいた死者の頭である。それが真珠のように白い女の胴体の上ののっている	1888年	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	◇
11 オディロン・ルドン	ギュスターヴ・フロベールに(聖アントワヌの誘惑 第二集) I 聖アントワヌ…その顔を覆い隠す長い髪の毛を透かし見た時、私はそれがアンモナリアだと思い込んだのだ…	1889年	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	◆
12 オディロン・ルドン	ギュスターヴ・フロベールに(聖アントワヌの誘惑 第二集) V スフィンクス…私のまなざしは何物もそらすことができず、万象の彼方、近づきえない地平の果てにじっと向けられたままのキミラ：私はね、軽々として陽気だよ！	1889年	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	◇
13 オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑 第三集 XV ここによき女神がいる、イダ山に棲まう女神が	1896年	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	◆
14 オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑 第三集 XX 死神：おまえを真剣にさせるのは私だ、抱き合おう	1896年	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	◇
15 テオフィール・アレクサンドル・スタン	バレエ「夢」／国立音楽アカデミーにて	1890年	カラーリトグラフ・紙	サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託) ◆	
16 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1893年	カラーリトグラフ・紙	サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託) ◆	
17 エドゥアル・ヴェイヤール	強壮剤 ベカーヌ	1895年	カラーリトグラフ・紙	サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託) ◆	
18 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌(第3ステート)	1895年	カラーリトグラフ・紙	サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託) ◇	
19 ヤン・トロープ	デルフト・サラダオイル	1895年	カラーリトグラフ・紙	サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託) ◇	
20 アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド	トロポン(蛋白質栄養食品)	1897年	カラーリトグラフ・紙	サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託) ◇	
資1	『藝術の日本』	1888-1891年		新潟県立近代美術館・万代島美術館	
資2	『ステューディオ』誌 フェリックス・ヴァロットン《ビュヴィ・ド・シャヴァンヌ》	1898年		新潟県立近代美術館・万代島美術館	
資3	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌 41、51、57、68号	1895-1896年		新潟県立近代美術館・万代島美術館	
I-2 ドニとナビ派の仲間たち					
21 モーリス・ドニ	雌鶏と少女	1890年	油彩・カンヴァス	国立西洋美術館	
22 アリスティド・マイヨール	山羊飼の娘	1890年頃	油彩・カンヴァス	岐阜県美術館	
23 アリスティド・マイヨール	裸婦	制作年不詳	ブロンズ	石橋財団アーティゾン美術館	
24 モーリス・ドニ	アムール(愛) 1 表紙/2 寓意/3 物腰は優しく清らかな/4 朝のブーケ、悲しみ/ 5 それは敬虔な神秘さだった/6 騎士は十字軍で死んではいない/ 7 たそがれは古い絵画のような優しさを持つ/8 彼女は夢よりも美しかった/9 そして彼女の手が優しく触れる/10 私たちの魂はゆっくりとした動作の中に/11 青白い銀の長椅子の上で/12 人生は貴重な懐かしいものとなる/13 けれどあまりにも高鳴る心	1892-1899	カラーリトグラフ・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
25 モーリス・ドニ	『ラ・デベシユ』紙	1892年	カラーリトグラフ・紙	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館(AN.4884)	◇
26 エドゥアル・ヴェイヤール	薯をむくヴェイヤール夫人	1893年	油彩・カンヴァス	公益財団法人大原芸術財団 大原美術館	
27 モーリス・ドニ	慈愛	1893年	カラーリトグラフ・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◇
28 ケル＝グザヴィエ・ルーセル	雪の中で (マルティ版『レスタンプ・オリジナル』1号所収)	1893年刊	カラーリトグラフ・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◆
29 アンリ＝ガブリエル・イベルス	サーカスにて (マルティ版『レスタンプ・オリジナル』1号所収)	1893年刊	カラーリトグラフ・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◇
31 フェリックス・ヴァロットン	街頭デモ (マルティ版『レスタンプ・オリジナル』1号所収)	1893年刊	木版・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◇
32 フェリックス・ヴァロットン	入浴 (マルティ版『レスタンプ・オリジナル』8号所収)	1894年刊	木版・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◆
33 テオ・ヴァン・レイセルベルヘ	漁船 (マルティ版『レスタンプ・オリジナル』7号所収)	1894年刊	エッチング、アクアチント・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◇
34 アンリ＝ガブリエル・イベルス	舗装工事の男たち (マルティ版『レスタンプ・オリジナル』8号所収)	1894年刊	エッチング・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◆
35 ピエール・ボナール	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌ポスター	1894年	カラーリトグラフ・紙	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館(AN.4622)	◆
36 フェリックス・ヴァロットン	信頼する人	1895年	木版・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◆
37 フェリックス・ヴァロットン	怠惰	1896年	木版・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◇	
38 ボール＝エリー・ランソン	悲しみ、あるいは嫉妬(『ケンタウロス』所収)	1896年	カラーリトグラフ・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◆	
39 ボール＝セリュジエ	『ヘラクレス』(『制作座』プログラム)	1896年	ジノコグラフ・紙		
資4	『日本』	1884年		個人蔵	
資5	『アール・エ・クリティック』誌 65、66号	1890年		個人蔵	

I-3 ファースト・コンタクト～ナビ派の誕生に居合わせた日本人					
41	黒田清輝	裸体男子像	1889年 明治22	木炭・紙	群馬県立近代美術館
42	カルロス・シュヴァーベ	第1回薔薇十字会展ポスター	1892年	カラーリトグラフ・紙	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館(AN.4873) ◆
43	モーリス・ドニ	夕映えの中のマルト(マルト・サンボリスト)	1892年	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館・万代島美術館
45	黒田清輝	夏図習作(横たわる女)	1892年頃 明治25頃	油彩・カンヴァス	宇都宮美術館
48	藤島武二	音楽六題 ヴァイオリン／鼓／三味線／ピアノ／琵琶／笛	1901-1906年 明治34-39	水彩・紙	公益財団法人ひろしま美術館 ◆
49	青木繁	温泉	1910年 明治43	油彩・カンヴァス	個人蔵
資6	久米桂一郎	日記(1892年1月3日、3月23日、4月8日)	1892年 明治25		久米美術館
資7	浅井忠	黙語会編『黙語図案集』	1908年 明治41	山田芸艸堂	久留米市美術館
資8	浅井忠	黙語会編『黙語日本画集』	1909年 明治42	山田芸艸堂	久留米市美術館
資9		『方寸画暦』 1月：小杉未醒 3月：山本鼎	1910年 明治43		久留米市美術館
I-4 アール・ヌーヴォーの渦の中で					
50	ポール＝エリー・ランソン	収穫する7人の女性	1895年	膠絵・カンヴァス	新潟県立近代美術館・万代島美術館
51	モーリス・ドニ	なでしこを持つ若い女	1896年	油彩・カンヴァス	岐阜県美術館
52	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内 1 表紙/2 チェッカーの勝負/3 大通り/4 野原を横切る/5 吊りランプのある室内/6 パラ色の壁紙のある室内Ⅰ/7 パラ色の壁紙のある室内Ⅱ/8 パラ色の壁紙のある室内Ⅲ/9 炉辺/10 ヨーロッパ橋で/11 洋菓子店/12 料理女/13 義理の姉妹	1896-1899年	カラーリトグラフ・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館
53	ピエール・ボナール	パリ生活の諸相 1 表紙/2 森のアヴェニュー/3 街角/4 中庭に面した家/5 上方から見た街路/6 大通り/7 広場、夕暮れ/8 八百屋/9 橋/10 劇場にて/11 街路、夕暮れ、雨/12 凱旋門/13 上方から見た街角	1895-1899年	カラーリトグラフ・紙	新潟県立近代美術館・万代島美術館
54	ピエール・ボナール	乳母たちの散歩、辻馬車の列	1899年	カラーリトグラフ・紙/4曲1隻屏風	大阪中之島美術館 ◆
55	ピエール・ボナール	灯下	1899年	油彩・紙	石橋財団アーティゾン美術館 ◇
II章 アカデミー・ランソン パリの画学生～明治・大正・昭和					
II-1 アカデミー・ランソンでドニに学ぶ～第一次大戦まで					
56	ピエール・ボナール	子供と猫	1906年頃	油彩・カンヴァス	愛知県美術館
57	モーリス・ドニ	聖母月	1907年	油彩・カンヴァス	ヤマザキマザック美術館
58	モーリス・ドニ	アルミードの園	1907年	油彩・カンヴァス	富士屋ホテル
59	モーリス・ドニ	お下げ髪の娘	1910年頃	鉛筆・紙	山梨県立美術館 ◆
60	モーリス・ドニ	日没の訪問	1911年頃	油彩・厚紙	世田谷美術館
61	モーリス・ドニ	裸婦(シャンゼリゼ劇場装飾画下絵)	1912年	木炭、パステル・紙	東京国立近代美術館 ◇
62	斎藤与里	水浴の女	1909年頃 明治42頃	油彩・カンヴァス	加須市
63	梅原龍三郎	脱衣婦	1912年 明治45/大正元	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館
64	梅原龍三郎	ナルシス	1913年 大正2	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館
65	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	ずわる水浴の女	1914年 大正3	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館
67	モーリス・ドニ	トンケデッキのテラス	1913年 大正2	油彩・カルトン	国立西洋美術館 松方コレクション
68	足立源一郎	チューリップ	1917年 大正6	油彩・カンヴァス	京都国立近代美術館
69	小柴錦侍	林の中の赤い屋根の家	1919年 大正8か	油彩・カードボード	上林喜美子氏蔵
資10	モーリス・ドニ	ポール・ヴェルレーヌ『叢知』	1911年刊	木口木版・紙	個人蔵
資11a		雑誌『白樺』4-6(6月号)	1913年 大正2		久留米市美術館
資11b		雑誌『白樺』4-7(7月号) 復刻版 斎藤与里『モーリス・ドニの藝術』所収	1913年 大正2		新潟県立近代美術館・万代島美術館
II-2 大正への経脈					
70	児島虎次郎	化粧	1908年 明治41	油彩・カンヴァス	公益財団法人大原芸術財団 大原美術館
71	有島生馬	宿屋の裏庭	1909年頃 明治42頃	油彩・カンヴァス	久留米市美術館
72	中沢弘光	まひる	1910年 明治43	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館
73	高村真夫	春日野	1911年 明治44	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館・万代島美術館
74	小林萬吾	西洋婦人	1911年 明治44	油彩・カンヴァス	目黒区美術館
75	小杉未醒	婦人立像	1911年頃 明治44頃	油彩・カンヴァス	栃木県立美術館
76	太田喜二郎	赤い日傘	1912年 明治45/大正元	油彩・カンヴァス	新潟大学
77	土田麦僊	島の女(下絵)	1912年 明治45/大正元	紙本着色	新潟県立近代美術館・万代島美術館 ◇

78 満谷国四郎	坐婦	1913年 大正2	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館	
79 南薫造	葡萄棚	1915年 大正4	油彩・カンヴァス	早稲田大学 會津八一記念博物館	
81 岸田劉生	大銀杏	1907年 明治40	水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	◆
82 岸田劉生	薄暮之海	1907年 明治40	水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	◆
83 岸田劉生	枯れ木	1908年 明治41	水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	◇
84 黒田重太郎	スカール・オブセルヴァトアル	1917年 大正6	油彩・カンヴァス	京都国立近代美術館	
85 阿以田治修	南仏風景(エスタック)	1925年 大正14	油彩・カンヴァス	栃木県立美術館	
86 内田巖	武蔵野風景	制作年不詳	油彩・カンヴァス	鹿児島市立美術館	
87 長原孝太郎	明星	1930年 昭和5	油彩・カンヴァス	岐阜県美術館	

Ⅱ-3 アカデミー・ランソンで学ぶ～エコール・ド・パリの時代

88 藤田嗣治	モンルージュ、パリ	1918年 大正7	油彩・カンヴァス	静岡県立美術館	
89 ロジェ・ビシエール	花と果物	制作年不詳	油彩・カンヴァス	公益財団法人平野政吉美術財団	
90 ロジェ・ビシエール	緑	1960年 昭和35	エッチング・紙	石橋財団アーティゾン美術館	◆
91 アンドレ・ロート	船	制作年不詳	油彩・カンヴァス	公益財団法人平野政吉美術財団	
92 矢部友衛	習作	1920年 大正9	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
93 田中繁吉	ロミちゃんの庭	1922年 大正11	油彩・カンヴァス	芦屋町歴史民俗資料館	
94 国松桂溪	赤い服の婦人	1922年 大正11	油彩・カンヴァス	栗東歴史民俗博物館	
95 高島達四郎	婦人像	1927年 昭和2	油彩・カンヴァス	群馬県立近代美術館	
96 板倉鼎	休む赤衣の女	1929年頃 昭和4頃	油彩・カンヴァス	平澤久男氏蔵	
97 島村三七雄	セーヌの釣り	1929/36年 昭和4/11	油彩・カンヴァス	目黒区美術館	
98 南城一夫	L氏像	1935年 昭和10	油彩・カンヴァス	群馬県立近代美術館	
99 福島金一郎	夏休み	1936年頃 昭和11頃	油彩・カンヴァス	勝央美術文学館	
資12	アカデミー・ランソン案内パンフレット(田中繁吉旧蔵)			芦屋町歴史民俗資料館	
資15 黒田重太郎	近熊次郎宛てハガキ 1921年12月16日(消印)	1921年 大正10		新潟県立近代美術館・万代島美術館	
資16 黒田重太郎	『セザンヌ以後』『芸術環境の憧憬の地』『モオリス・ドニと象徴畫派』	1920年(大正9) 1920年(大正9) 1921年(大正10)	日本美術学院 個人蔵	久留米市美術館 久留米市美術館 個人蔵	
資17 黒田重太郎	『欧州藝術巡礼紀行』『構図の研究』	1923年(大正12) 1925年(大正14)	十時館 中央美術社	久留米市美術館 個人蔵	
資13	ビシエールの言葉(板倉鼎旧蔵)			個人蔵	
資19 板倉鼎・板倉須美子	板倉打太郎・勝子宛て書簡 1927年3月26日、4月1日	1927年 昭和2		松戸市教育委員会	
資20	「第1回仏蘭西日本美術家協会展」小冊子	1929年 昭和4		松戸市教育委員会	
資21 岡本太郎	『OKAMOTO』	1937年 昭和12	G.L.M. 社	川崎市岡本太郎美術館	
資22 岡本かの子著／題字：岡本一平／装幀：岡本太郎	『生々流転』	1940年 昭和15	改造社	川崎市岡本太郎美術館	
資23 小堀杏奴著／装幀：小堀四郎	『椽の蔭』	1943年 昭和18	那珂書店	個人蔵	

Ⅲ章 宗教芸術家として | そして彼の絵は海を渡る

Ⅲ-1 海を渡る絵画

100 モーリス・ドニ	波	1916年	油彩・カンヴァス	公益財団法人大原芸術財団 大原美術館	
101 モーリス・ドニ	若い母	1919年	油彩・カンヴァス	国立西洋美術館 松方コレクション	
102 モーリス・ドニ	母親に花冠を戴く子ども	1920年頃	カラーリトグラフ・紙	山梨県立美術館	◇
103 モーリス・ドニ	バッカス祭	1920年	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館	
104 モーリス・ドニ	ベンガル虎 バッカス祭	1920年	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
105 モーリス・ドニ	花飾りの舟	1921年	油彩・カンヴァス	愛知県美術館	
106 ポール・セザンヌ	水浴	1875-77年	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館寄託	
107 土田麦僊	「大原女」画稿	1924年 大正13	紙本淡彩	京都国立近代美術館	◆
108 満谷国四郎	裸婦	1925年 大正14	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館	
109 足立源一郎	ヴェランダ	1926年 大正15/昭和元	油彩・カンヴァス	京都国立近代美術館	
110 大久保作次郎	マルセイユの魚売り	1927年 昭和2	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館	
111 ケル＝グザヴィエ・ルーセル	牧神の待ち伏せ	1919年	油彩・板	公益財団法人大原芸術財団 大原美術館	

112	ケル＝グザヴィエ・ルーセル 田園詩(教え)	1929年	パステル・カルトンに裏打ちされた紙	群馬県立近代美術館
寛241	モーリス・ドニ 『理論集 1890-1910』(第4版)	1920年(初版1912)	L. Rouard et J. Watelin: Paris	新潟県立近代美術館・万代島美術館
寛242	モーリス・ドニ 『新理論集 1914-1921』	1922年	L. Rouard et J. Watelin: Paris	新潟県立近代美術館・万代島美術館
寛25	土田麦僊 近熊次郎宛てハガキ(1921.12.31, 1922.1月, 1923.3.11) 関真次郎宛てハガキ(1922.1.1)	1921-23年		新潟県立近代美術館・万代島美術館
寛26	土田麦僊 渡欧日記	1921-22年 大正10-11		京都国立近代美術館
寛27	モーリス・ドニ 『宗教芸術史』	1939年	Flammarion: Paris	個人蔵
寛28	モーリス・ドニ 『アッシジの聖フランチェスコの小さな花』	1919年	L'art catholique: Paris	新潟県立近代美術館・万代島美術館
寛30	『画家と作品: モーリス・ドニ』	1923年	L'art et les artistes: Paris	個人蔵
寛31	モーリス・ドニ 『アリストイド・マイヨール』	1925年	G. Cres: Paris	新潟県立近代美術館・万代島美術館
寛32	モーリス・ドニ 『アンリ・ルロルの交友』	1932年	Duranton: Paris	新潟県立近代美術館・万代島美術館
寛33	モーリス・ドニ 『イタリア絵画巡礼』	1933年	Librairie Armand Colin: Paris	個人蔵
Ⅲ-2 祈りの絵画				
113	モーリス・ドニ シエナの聖カテリーナ	1921年	油彩・カルトン	国立西洋美術館 松方コレクション
114	ジョルジュ・デヴァリエール 聖母の訪問	1912年	油彩・カンヴァス	国立西洋美術館 松方コレクション
115	モーリス・ドニ シャグマユリの聖母子	1925年	油彩・カンヴァス	埼玉県立近代美術館
117	小柴錦侍 卒世(いつも)やさしいサンタマリア	1926年 大正15/昭和元	油彩・カンヴァス	一般社団法人 如水会
寛29a	小柴錦侍 絵葉書5枚(美しき五月マリヤの月) 1920年、《花つみて主の御母にささぐ》1922年、《卒世(いつも)やさしいサンタ・マリア》1926年、《あのんしあしをん》1927年、《御告げ》1935年	1920-1935年		個人蔵
寛29b	小柴錦侍 棒猿座パンフレット	1930年 昭和5	小柴印刷(小柴英)	個人蔵(上林喜美子氏蔵)
121	モーリス・ドニ フランシス・トンプソン『詩集』	1942年刊(原には1936年の年紀)	カラーリトグラフ・紙	栃木県立美術館 ◆
122	ビエール・ボナール 雨降りのル・カネ風景	1946年	油彩・カンヴァス	上原美術館
寛34	ビエール・ボナール 宛先不明自筆書簡	1943年11月付	ペン・便箋	上原美術館
116	湯浅一郎 母と子	1921年 大正10	油彩・カンヴァス	群馬県立近代美術館
119	安宅安五郎 姉弟	1931年 昭和6	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館・万代島美術館
118	青山義雄 アダムとイヴ	1929年 昭和4	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館
123	高野三三男 嘆き	1947年 昭和22	油彩・カンヴァス	目黒区美術館
120	藤田嗣治 吾が画室	1936年 昭和11	油彩・カンヴァス	公益財団法人平野政吉美術財団
124	宮本三郎 死の家族	1950年 昭和25	油彩・カンヴァス	世田谷美術館
Ⅲ-3 エピローグ～ナビ派回帰				
125	小寺健吉 裸婦	1950年 昭和25	油彩・カンヴァス	岐阜県美術館
126	大久保作次郎 木陰の憩い	1952年 昭和27	油彩・カンヴァス	京都国立近代美術館
127	鈴木誠 カナリヤと子供	1955年 昭和30	油彩・カンヴァス	岐阜県美術館
128	青山義雄 カーニュ風景	1965年 昭和40	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館
129	福島金一郎 公園の人々	1981年 昭和56	油彩・カンヴァス	勝央美術文学館

【映像コーナー】

ドニの「アトリエ・ダール・サクレ」における弟子イヴォヌヌ・スートラによるステンドグラス《ロザリオの祈り》(1986年)を紹介するオリジナル映像(約9分)

協力: カトリック大名町教会(福岡市)、吉原写真館/オルガン演奏: 平田孝子/撮影&編集: 吉原悠博/制作: 新潟県立近代美術館、久留米市美術館/助成: 公益財団法人野村財団

皇室の名宝と新潟

―皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美



【趣 旨】

皇居三の丸尚蔵館の収蔵品から、近世絵画の名品や近代の油彩画、日本画、工芸作品など約50件を展示した。また、新潟ゆかりの作品や明治天皇の北陸巡幸写真パネルの展示により、皇室と新潟の関わりを紹介した。

【総 括】

- ・国宝2点、重要文化財2点を含む名品の数々を新潟で紹介することができた。
- ・図録を作成し、売売できた。
- ・展覧会の準備過程で、作者不詳の作品が新潟出身の日本画家の作品であることがわかり、作家の研究を進展させることができた。
- ・展覧会前半は降雪のため、観覧者数が伸び悩んだ。特に県外からの集客が難しかった。
- ・インバウンド対策を目的とした文化庁の補助金を活用して事業を実施したが、外国人観覧者は少なかった。広報の多言語化や発信方法を工夫する必要があった。

【開催日・その他】

=2025年2月7日(金)～3月16日(日) (35日間)=

前期：2月24日(月・休)まで／後期：2月26日(火)から

休館日：2月17日(月)、2月25日(火)、3月10日(月)

主 催：新潟県立近代美術館、皇居三の丸尚蔵館

特別協力：文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社

協 力：新潟県立美術館友の会

助 成：令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

後 援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、(一社)長岡観光コンベンション協会、新潟日報社、長岡新聞社、FM新潟77.5、FMながおか80.7

観覧料：一般……………1,400円(1,200円)

大学・高校生……………1,000円(800円)

※中学生以下は無料

※()内は有料20名以上の団体料金

【関連行事】

- ・講演会「皇居三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と新潟とのゆかり」
2月8日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：細川晋太郎氏（皇居三の丸尚蔵館研究員）
参加者数：26名

- ・作品解説会
2月24日(月・休) 14:00～14:30 企画展示室
講師：細川晋太郎氏（皇居三の丸尚蔵館研究員）
参加者数：100名

- ・美術鑑賞講座「奇想の画家入門 ―又兵衛・若冲・蕭白」
3月1日(土) 14:00～15:30
講師：飯島沙耶子（当館主任学芸員）
参加者数：124名

- ・大人のためのワークショップ「ミニ屏風を作ろう」
2月16日(日) 13:00～16:00 ギャラリー
講師：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：15名

- ・親子でアート！ワークショップ「小さな“えまきもの”をつくろう」
3月9日(日) 14:00～16:00 ギャラリー
講師：宮下東子（当館専門学芸員）
参加者数：15名

【図 録】

仕 様：A4判 80頁

編 集・発行：新潟県立近代美術館

印 刷：株式会社中央印刷

内 容：ごあいさつ

皇居三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と新潟とのゆかり
(細川晋太郎)

第一章 皇室に伝わった名品

第二章 近代日本絵画の精華

コラム① 浅野赤城の真景図について (飯島沙耶子)

第三章 皇室ゆかりの工芸品

コラム② 佐々木象堂 ― 皇室との関わり (細川晋太郎)

第四章 明治天皇の六大巡幸写真 ― 古写真でたどる明治天皇の新潟巡幸―

コラム③ 明治天皇の聖蹟をたずねる (細川晋太郎・木谷知香・芳澤直之)

出品目録

主要参考文献

List of Works

Foreword



【関連記事】

●新聞

2月2日(日) 読売新聞（全国版） 紡ぐプロジェクト特集記事「皇室の美」／清水緑（皇居三の丸尚蔵館主任研究員）

2月11日(火)、12日(水)、19日(水) 読売新聞（県内版） 紡ぐプロジェクト特集記事「皇室の名宝と新潟 ―皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美」（作品紹介）／飯島沙耶子

その他

十日町タイムス（1/20）

長岡新聞（1/21）

十日町新聞（1/23）

新潟日報（2/14）

妻有新聞（4/9）

●雑誌

月刊にいがた 3月号

●WEB

「紡ぐプロジェクト」公式サイト

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	6,311
	前売	—
無料観覧者数	招待	1,129
	無料	289
	免除	527
総観覧者数		8,256
有料率（％）		76.4

担当 飯島沙耶子



【出品リスト】 ◎ 国宝 ○ 重要文化財／作品番号8以外はすべて皇居三の丸尚蔵館収蔵。

指定	作品名	作者名	制作年代	備考
第1章 皇室に伝わった名品				
1	開基勝宝		奈良時代(760年頃)	
2	黄金分銅		桃山～江戸時代初期(17世紀)	
3	太刀 銘 守家(号 とくよう)	備前国守家	鎌倉時代(13～14世紀)	
4	○ 天子摂関御影(大臣巻)	豪信	鎌倉～南北朝時代(14世紀)	場面替え有り
5	四季草花図屏風・花鳥図屏風	伝 狩野永徳	桃山時代(16世紀)	
6	小栗判官絵巻 巻十三上	岩佐又兵衛	江戸時代(17世紀)	
7	◎ 動植綵絵(老松鸚鵡図・雪中錦鶏図)	伊藤若冲	江戸時代(18世紀)	
8	○ 群仙図屏風	曾我蕭白	江戸時代(明和元年／1764)	文化庁蔵 前期：右隻 後期：左隻
第2章 近代日本絵画の精華				
9	バーナード城	百武兼行	明治11年(1878)	
10	ベルサリエーレの歩哨	松岡壽	明治20年(1887)	
11	仏将口ゼト中尉負傷之図(模写)	松岡壽	明治22年(1889)	
12	古代応募兵図	印藤真楯	明治23年(1890)	
13	陸海軍連合大演習	高橋(柳)源吉	明治23年(1890)	
14	林大尉戦死之図	満谷国四郎	明治30年(1897)	
15	光明皇后	下村観山	明治30年(1897)	
16	住吉詣	松岡映丘	大正2年(1913)	
17	薫風稚雀・寒汀白鷺	竹内栖鳳	昭和3年(1928)	
18	宇治川先登之図	津端道彦	大正3年(1914)	
19	栗鼠(「景雲餘彩」のうち)	小林古徑	大正11年(1922)	
20-1	大原女(「瑞彩」のうち)	土田麦僊	大正13年(1924)	
20-2	菊花(「瑞彩」のうち)	小林古徑	大正13年(1924)	
21	肇国創業絵巻 上巻	岩田正巳ほか	昭和14年(1939)	
22	越後風景	浅野赤城	大正時代(20世紀)	

第3章 皇室ゆかりの工芸品				
23	七宝唐花花文盛器	瀧川惣助	明治22年(1889)頃	
24	銅製饗餐文花瓶	十五代山本又五郎	明治23年(1890)	
25	岩上鵲鴿置物	加納夏雄 海野勝珉	明治27年(1894)	
26	琵琶湖図名刺盆	海野勝珉	明治29年(1896)	
27	鳶紅葉瓢形花瓶	海野勝珉 鈴木光之	明治33年(1900)	
28	花唐草透彫水晶入短刀拵	香川勝廣ほか	明治37年(1904)	
29	富岳図巻煙草箱	二代豊川光長	明治38年(1905)	
30	深山の滝図巻煙草箱	香川勝廣	明治38年(1905)	
31	観瀑図巻煙草箱	塚田秀鏡	明治43年(1910)	
32	鶏置物	二代和泉整乗	明治時代(20世紀)	
33	紫檀製鉄筆歴史画牌	初代半藤逸我	明治時代(19～20世紀)	
34	鳳凰図花瓶	二代海野美盛 海野清	大正6年(1917)	
35	南天小鳥唐草文花瓶	佐々木象堂	大正6年(1917)	
36	楼閣山水木彫堆黒棚	堀田金五兵衛	大正9年(1920)	
37	手付花籠	岡田竹弘斎	大正13年(1924)頃	
38	菊折枝置物	大島如雲	昭和3年(1928)	
39	鍍金花瓶 南天燭文様 (鶴桐文様蒔絵飾棚 棚飾品)	佐々木象堂	昭和3年(1928)	
40	鍍金飾壺 銀象嵌文様 (鳳凰菊文蒔絵飾棚 棚飾品)	津田信夫	昭和3年(1928)	
41	彫金帖鎮 兎 (鶴桐文様蒔絵飾棚 棚飾品)	桂光春	昭和3年(1928)	
42	彫金花瓶 群蝶 (鶴桐文様蒔絵飾棚 棚飾品)	船越春珉	昭和3年(1928)	
43	鍍金花瓶 千鳥文 (鳳凰菊文様蒔絵飾棚 棚飾品)	香取秀真	昭和3年(1928)	
44	松葉釉茶碗	高松宮喜久子妃 三浦小平	昭和24年(1949)頃	
45	無名異焼 線彫鳳雲文花瓶	三代伊藤赤水	昭和30年(1955)頃	
46	抹茶碗 菊花文	佐々木象堂 (真野陶苑)	昭和32年(1957)頃	
47	瑞鳥置物	佐々木象堂	昭和33年(1958)頃	
48	御座船形ボンボニエール		昭和時代初期(20世紀)	
49	杵形ボンボニエール		昭和3年(1928)	
50	舞楽兜形ボンボニエール		昭和9年(1934)	
51	竹形ボンボニエール		昭和9年(1934)	
52	でんでん太鼓形ボンボニエール		昭和10年(1935)	
53	手箱形鳥居文ボンボニエール		昭和10年(1935)	
54	丸形梅枝文ボンボニエール		昭和18年(1943)	
55	丸形鴛鴦文ボンボニエール		昭和27年(1952)	
56	丸形雉文ボンボニエール		昭和36年(1961)	
57	丸形瑞鳥文ボンボニエール		昭和43年(1968)	
58	唐獅子図屏風(右隻) 高精細複製品	原本 狩野永徳	原本 桃山時代(16世紀)	ロビー展示

共催展

第78回新潟県美術展覧会長岡展

本県の美術の普及と向上を目的に1945年から始まった県内最大の公募展。

【開催日・その他】

= 6月19日(水)～6月23日(日) (5日間) =

会 場：企画展示室

主 催：新潟日報社、新潟日報美術振興財団、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、長岡市、上越市教育委員会、佐渡教育委員会

後 援：新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市、佐渡市

特別協賛：東北電力グループにいがた、朱鷺メッセ新潟

観覧料：700円、大学生以下無料

担当 上雅次

第55回ジュニア美術展覧会 長岡展

感性豊かな子どもの育成と美術振興をねらいとして、継続している全県規模の展覧会。

【開催日・その他】

= 12月11日(水)～12月15日(日) (5日間) =

会 場：企画展示室

主 催：新潟日報社、新潟県教育委員会、新潟県立近代美術館、新潟県美術教育連盟、新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市教育委員会、柏崎市教育委員会

観覧料：無料

担当 上雅次

第27回友の会作品展

友の会会員が制作した作品を募集し、会員の結束を図りながら、美術館の運営や活動に協力することを目的として、平成9年度より開催。

【開催日・その他】

= 10月16日(水)～10月20日(日) (5日間) =

会 場：ギャラリー

主 催：新潟県立美術館友の会

共 催：新潟県立近代美術館

観覧料：無料

担当 直江修子（友の会事務局）

第27回長岡市中学校美術部作品展

長岡市内の中学校美術部の活動成果を発表する場として開催。

【開催日・その他】

= 11月23日(土)、24日(日) (2日間) =

会 場：ギャラリー

主 催：長岡造形大学

共 催：新潟県立近代美術館

後 援：長岡悠久ライオンズクラブ、長岡市教育委員会

観覧料：無料

担当 上雅次

観覧料：一般 …………… 1,600円(1,400円)〈1,400円〉 大学・高校生 …… 1,300円(1,100円) ※中学生以下無料 ※（ ）内は有料20名以上の団体料金 ※〈 〉内は前売券料金

企画展

JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点



【趣 旨】

世界的ファッションデザイナー・コシノジュンコの創造の原点である高校時代に描いた絵画から現在にいたる多彩で挑戦に満ちた活動の全貌を、衣装やデザイン画など約200点をとおして紹介する過去最大規模の展覧会。

【総 括】

- ・県内の関係自治体と団体の協力による独自コーナーを設置し、全面的に改修されたLED照明機能を活かした空間演出によって、展示に関する高い評価を来館者から得ることができた。
- ・独自制作の無料音声ガイドや、主にファッションデザインを学ぶ県内の学生を対象としたイベントなど、教育普及面においても独自色を出すことができた。
- ・来館者の増加に有効な方策を見い出せなかったが、新たに導入したオンラインプレスリリースをはじめ有効な方策を共催社とともに継続して検討・試行する。

【開催日・その他】

= 4月1日(月)～5月26日(日) (51日間) =
 ※全体会期は2月22日(木)～5月26日(日) (86日間)
 休館日：月曜日（ただし4月1日、29日、5月6日は開館）
 主 催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、コシノジュンコ新潟展実行委員会
 協 力：見附市、見附ニット工業協同組合
 後 援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、FM新潟77.5
 特別協力：JUNKO KOSHINO Inc.

【関連行事】

- ・ギャラリートーク
 5月12日(日) ①13:30～14:10 ②15:30～16:10
 展示室
 講師：コシノジュンコ氏（ファッションデザイナー）

【図録】

『JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点』
 編 集：宇都宮壽（大分県立美術館）、鈴木弘之、鈴木順之、竹田季代、島海斗、中道宏幸、野中昭宏（JUNKO KOSHINO Inc.）竹内清乃（平凡社）、水越弘（広隆社）
 発 行：平凡社、2022年

【関連記事】

- テレビ
 4月26日(金) TeNYテレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」／澤田佳三（当館専門学芸員）
 5月12日(日) TeNYテレビ新潟「新潟一番サンデープラス」／コシノジュンコ氏

●WEB

- 4月13日(土) WebSkip
- 5月3日(金) アートアジェンダ

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	6,677
	前売	690
無料観覧者数	招待	1,074
	無料	419
	免除	591
総観覧者数		9,451
有料率（%）		77.9

担当 澤田佳三



化石ハンター展



【趣 旨】

およそ100年前にゴビ砂漠で数々の貴重な化石を発見した、ロイ・チャップマン・アンドリュースの偉業を記念して、古生物学者たちがゴビ砂漠やヒマラヤで発掘した恐竜や大型哺乳類の研究成果を展示紹介した。

【総 括】

・質の高い展示内容を通して、こどもとその家族を中心に研究の楽しさや奥深さ、古生物学の最新学説にふれる機会を提供することができた。

【開催日・その他】

= 6月25日(火)～9月23日(月・祝) (84日間) =
休館日：7月1日(月)、7月22日(月)、8月5日(月)、8月19日(月)、
8月26日(月)、9月2日(月)、9月9日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、BSN新潟放送、化石ハンター展新潟実行委員会、日本経済新聞社

特別協力：国立科学博物館

協 力：アメリカ自然史博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、群馬県立自然史博物館、高知大学、滋賀県立琵琶湖博物館、兵庫県立人と自然の博物館、福井県立恐竜博物館、福島県立博物館、北海道大学総合博物館、瑞浪市化石博物館、美濃加茂市民ミュージアム、日経サイエンス、日経ナショナル ジオグラフィック

新潟展協賛：生活協同組合コープデリにいがた

後 援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会

観覧料：一般 …………… 1,800円(1,600円)〈1,600円〉
大学・高校生 …… 1,500円(1,300円)

※中学生以下は無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売券料金



【関連行事】

・スペシャルトーク「解説！化石ハンターのヒミツ」
7月28日(日) ①11:00～ ②14:00～ 展示室
講師：木村由莉氏(本展総合監修者・国立科学博物館研究主幹)
司会：三石佳那 (BSNアナウンサー)

【図 録】

化石ハンター展～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～公式図録

編集：日本経済新聞社、日経サイエンス

発行年：2022年



【連携事業】

・化石ハンター展ミニコラボカフェ
実施主体：ホテル日航新潟
会場：スカイラウンジ パノラマ (31階 展望室)
期間：7月1日(月)～9月16日(月・祝)

【関連記事】

●新聞
8月23日(金) 新潟日報「展覧会へようこそ」／伊澤朋美
8月30日(金) 朝日新聞「化石ハンターの功績紹介 ゴビ砂漠探検 米国博物学者ら」

●ラジオ
6月24日(月) BSNラジオ「独占できげんアワー」
7月27日(土) BSNラジオ「立石勇生サニーサイド」
6月18日(火)、8月27日(火) BSNラジオ「いつもあなたとBSN通信」

●テレビ
7月20日(土) BSN「なじラテ内 麦島中継」
9月14日(土) BSN「潟トレ」
その他 BSN「なじラテ内BUZZラテ」(6/27、7/6、8/24、9/27)

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	10,004
	前売	1,112
無料観覧者数	招待	1,676
	無料	8,022
	免除	957
総観覧者数		21,771
有料率 (%)		51.1

担当 伊澤朋美

古代エジプト美術館展



【趣 旨】

世界的に貴重な遺物であるミイラやミイラマスク、人型木棺、神殿の石柱、ツタンカーメンの指輪をはじめ、当時の生活様式がわかるジュエリーやレリーフなど約200点を展示するとともに、過去100年間学術的な調査がほとんどなされてこなかったメイドゥム（マイドゥーム）・ピラミッドの最新調査（2022年）の様子を紹介した。

【総 括】

- ・海外からの借用が厳しさを増す中、質の高い国内コレクションを通じて、古代エジプト文明の遺物を実見できる貴重な機会を提供できた。
- ・本展のテーマに関心が高いことがうかがわれ、普及事業の実施も含め、幅広い来館者のニーズに応えることができた。
- ・冒頭の展示ケースに小品と解説が多かったことで、特に入口付近に列が発生し易く、土日はそれを整理する人員が必要となった。展示室内のスペースや導線の確保が課題である。

【開催日・その他】

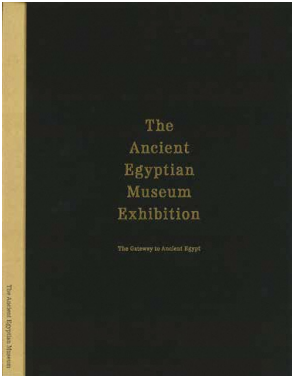
＝10月11日(金)～12月15日(日) (62日間)＝
休館日：10月21日(月)、11月11日(月)、25日(月)、12月9日(月)
主 催：新潟県立万代島美術館、BSN新潟放送、古代エジプト美術館展新潟実行委員会、古代エジプト美術館 渋谷
監 修：ロバート・スティーン・ピアンキ（古代エジプト美術館 渋谷 主任学芸員）
学術協力：近藤二郎（早稲田大学名誉教授）、大城道則（駒澤大学教授）
企画協力：アートプランニング レイ
協 力：駒澤大学、FARO、関西大学、新潟県立美術館友の会
特別協賛：鳥屋野不動産
後 援：エジプト大使館、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会
企画制作：西日本新聞イベントサービス
観覧料：一般 …………… 1,600円(1,400円)〈1,400円〉
大学・高校生 …… 1,300円(1,100円)
※中学生以下は無料
※（ ）内は有料20名以上の団体料金
※〈 〉内は前売券料金

【関連行事】

- ・ギャラリートーク
10月11日(金) 10:30～11:30 展示室
講師：菊川匡氏（古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー）
- ・記念講演会「ピラミッドと古代エジプト神話」
11月2日(土) 14:30～16:00 朱鷺メッセ2階 中会議室201
講師：大城道則氏（駒澤大学 教授）
- ・ワークショップ「あなただけのアミュレット(お守り)を作ろう！」
10月12日(土) 14:00～15:00 / 15:30～16:30 美術館ロビー
講師：菊川匡氏（古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー）、長富信人氏（古代エジプト美術館 渋谷 CMO）
- ・クイズ&スタンプラリー
10月11日(金)～12月15日(日) 展示室

【図 録】

古代エジプト美術館展
編集：西日本新聞イベントサービス
発行：西日本新聞イベントサービス
発行年：2023年4月8日第1刷 / 2024年4月6日第2刷発行



【関連記事】

- 新聞
11月26日(火) 新潟日報 展覧会へようこそ「古代エジプト美術館展」 / 濱田真由美
- その他
長岡新聞(9/21)
十日町新聞(10/3)
妻有新聞(10/5)
日本教育新聞(10/14)
- 雑誌
月刊にいがた 10月号
- WEB
BSN公式YouTubeチャンネル

●テレビ

- 10月11日(金) BSNニュース「ゆうなび」
 10月12日(土) BSNテレビ「なじラテ」
 11月23日(土) BSNテレビ「見つけたねスペシャル」
 12月6日(金) BSNテレビ「見つけたね」

●ラジオ

- 10月11日(金) BSNラジオ「マエカブ ナカシズカ」
 出演：菊川匡（古代エジプト美術館 渋谷
 ファウンダー）
 10月15日(火) BSNラジオ「四畳半スタジオ」
 出演：菊川匡（古代エジプト美術館 渋谷
 ファウンダー）
 10月22日(火) BSNラジオ「いつもあなたとBSN通信」
 出演：濱田真由美（当館専門学芸員）
 11月2日(土) BSNラジオ「立石勇生 サニーサイド」
 出演：大城道則（駒澤大学教授）

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	23,274
	前売	5,029
無料観覧者数	招待	1,668
	無料	3,239
	免除	2,223
総観覧者数		35,433
有料率（％）		79.9

担当 濱田真由美



谷川俊太郎 絵本★百貨展



【趣 旨】

詩人の谷川俊太郎は1960年代以降、さまざまな絵描きや写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきた。その中から約20冊を取り上げ、多彩なクリエイターとともに、絵本の原画、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示した。

展示の最後に、当館独自の取組みとして、谷川俊太郎の絵本にちなみオノマトペ（擬音語・擬態語）をテーマに当館所蔵品を紹介する特別展示を行った。

【開催日・その他】

= 2025年1月18日(土)～3月31日(日) (68日間) =

※全体会期は～4/6(日) (74日間)

休館日：1月20日(月)、2月3日(月)、17日(月)、3月3日(月)、17日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、谷川俊太郎展新潟実行委員会

協 力：新潟県立美術館友の会

後 援：新潟県教育委員会、新潟市教育委員会

企画協力：ブルーシープ株式会社

観覧料：一般 …………… 1,500円(1,300円)〈1,300円〉

大学・高校生 …… 1,200円(1,000円)

※中学生以下は無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売券料金

【関連行事】

・記念コンサート

「たにけん sings しゅんたろ～かわいい歌からおもしろこわい歌、そして泣ける歌まで～」

1月25日(土) 14:00～15:10 美術館ロビー

演奏：谷川賢作氏（音楽家）

・ギャラリートーク

2月2日(日) ①11:00～11:30 ②13:00～13:30

展示室

講師：林綾野氏（本展キュレーター）

・絵本★読み聞かせ会

2月9日(日) 11:00～11:30 展示室

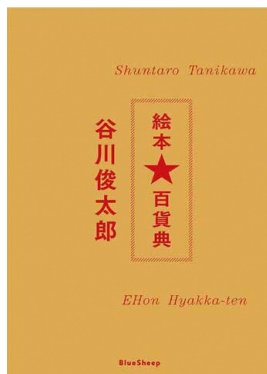
読み手：小池れいあ（UX新潟テレビ21アナウンサー）

【図 録】

谷川俊太郎 絵本★百貨典

発 行：ブルーシープ株式会社

発行年：2023年



【連携事業】

・谷川俊太郎 絵本★百貨展 コラボカフェ

実施主体：ホテル日航新潟

会 場：スカイラウンジ パノラマ（31階 展望室）

期 間：1月17日（金）～4月6日（日）

・ミュージアムショップ特別企画「日常を詩とことばでたのしもう」

実施主体：hickory03travelers（合同会社アレコレ）

会 場：万代島美術館ミュージアムショップ店内

期 間：1月18日（土）～2月16日（日）

【関連記事】

●新聞

1月15日（水）新潟日報 「作品の世界体感を「谷川俊太郎 絵本★百貨展」万代島美術館18日開幕」

2月8日（土）日本経済新聞朝刊 「文化 言葉の面白さ、コラボで」

●雑誌

『芸術新潮』2025年3月号

「きこえるえ、おどることば コラボ名人・しゅんたろさんの絵本「谷川俊太郎 絵本★百貨展」案内」

●テレビ

UX新潟テレビ21「スーパーJにいがた」(1/17、2/28)

UX新潟テレビ21「まるどりっ! UP」(1/18)

【観覧者数】 ※3月31日まで

有料観覧者数	当日	10,375
	前売	2,428
無料観覧者数	招待	1,486
	無料	4,312
	免除	907
総観覧者数		19,508
有料率（%）		65.6

担当 松本奈穂子



「谷川俊太郎 絵本★百貨展」併設ミニ所蔵品展

【「作品から聞こえるのはどんな音？ことばであらわそうオノマトペ！」作品リスト】

作家	作品名	制作年	技法・素材
1 斎藤 典彦	Rites of Passage	2000年	紙本彩色
2 中村 一美	死を悼みて濡れた紫の水瀬に立つ者V	2003年	アクリル絵具、綿布
3 野見山 暁治	戻らない刻	1993年	油絵具、キャンバス
4 丸山 直文	DHL	1992年	アクリル絵具、綿布
5 丸山 直文	Kind	1994年	アクリル絵具、綿布

新潟県立近代美術館

イベント

講演会等

開催日	時 間	関連展覧会名	イベント名	担当／講師	会 場	内 容	参加者数
6月29日(土)	14:00～15:30	生誕100年 山下清展 百年目の大回想	講演会 「家族が語る山下清」	山下浩氏 (山下清作品管理事務所代表)	講堂	映画やドラマのイメージとは異なる、家族から見た山下清の姿についての講演。	104
8月31日(土)	14:00～15:30	日本が見たドニ ドニ の見た日本	講演会 「憧憬から現実へ —— 日本人とモーリス・ドニ」	佐々木奈美子氏 (久留米市美術館学芸課長)	講堂	展覧会を企画立案した講師が、展覧会の成り立ちや見どころを紹介。	55
2月8日(土)	14:00～15:30	皇室の名宝と新潟— 皇居三の丸尚蔵館収蔵品 でたどる日本の技と美	講演会 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品に みる皇室と新潟とのゆかり」	細川晋太郎氏 (皇居三の丸尚蔵館研究員)	講堂	皇居三の丸尚蔵館の施設の成り立ちや、展覧会出品作品を紹介。	26
2月24日(土)	14:00～14:30	皇室の名宝と新潟— 皇居三の丸尚蔵館収蔵品 でたどる日本の技と美	作品解説会 「皇室の名宝と新潟」	細川晋太郎氏 (皇居三の丸尚蔵館研究員)	企画 展示室	「皇室の名宝と新潟」展示作品 についての解説会。	100

計285名

美術鑑賞講座 会場：講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	講 座 名	講 師	内 容	参加者数
6月22日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第1期	「日本女性の姿—労働と 肖像」を見る。	松矢国憲 (学芸企画課長)	明治から昭和にかけて、大きな社会変化のあった時代を生きた女性たちの様相と、その時代背景を探る。	12
9月28日(土)	14:00～15:30	日本が見たドニ ドニ の見た日本	モーリス・ドニの日本イ メージ—魂の故郷へ	平石昌子 (専門学芸員)	19世紀末パリの人々を夢中にさせた日本の美術は、若き日のドニの柔らかな感性を養い、先鋭な眼を育む土壌となった。日本に関わり深いドニの代表作を紹介し、ドニを魅了した日本のイメージを解き明かす。	48
10月19日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第3期	魅力再発見 パリの色彩を 描いた洋画家・竹谷富士雄	長嶋圭哉 (主任学芸員)	パリの香気ただよう瀟洒な色調で風景画を描き、人気を博した洋画家・竹谷富士雄。竹谷が若き日に師事した画家やその作風の変遷に触れ、竹谷作品の魅力を紹介。	38
1月18日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第4期	安宅安五郎と新潟	伊澤朋美 (万代島美術館主任学芸員)	新潟市生まれの画家・安宅安五郎。越後と佐渡の各地をスケッチした《越後六拾景図》にふれながら、新潟を愛した、安宅の画業の一端を紹介。	24
2月22日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第4期	アーカイブの構築に向けて： 亀倉雄策関連資料から見えてきたこと	今井有 (専門学芸員)	装丁、パッケージから当時の記録写真、記事のスクラップまで、様々な資料が含まれている「亀倉雄策関連資料」。2007年度から少しずつ進めてきた調査・リスト化の作業とその成果について報告。	10
3月1日(土)	14:00～15:30	皇室の名宝と新潟— 皇居三の丸尚蔵館収蔵品 でたどる日本の技と美	奇想の画家入門—又兵衛・ 若沖・蕭白	飯島沙耶子 (主任学芸員)	江戸時代に活躍した画家、岩佐又兵衛、伊藤若沖、曾我蕭白。「奇想の画家」とも呼ばれる3人の代表作を取り上げ、それぞれの個性あふれる作品の魅力に迫る。	124

計256名

ワークショップ

開催日	時 間	関連展覧会名	ワークショップ名	担 当	会 場	内 容	参加者数
7月14日(日)	10:00～12:00	生誕100年 山下清展 百年目の大回想	〔親子でアート！〕 てん・てん・てん…でえが いてみよう！	宮下東子 (専門学芸員)	ギャラリー	山下清のフェルトペンをういた 点描画を鑑賞後、これを体験す る。	19
	14:00～16:00						19
11月10日(日)	14:00～16:00	コレクション展 第2期	〔親子でアート！〕 いつアート？ It's Art !	小松佳代子氏 (長岡造形大学教授)	ギャラリー	スマートフォンのカメラ機能等 を使って「ものの見方」を問う。	13
6月28日(金) ～ 8月18日(日)	9:00～17:00	コレクション展 第3期	〔親子でアート！〕 コレクション展関連ワーク シート「クイズに挑戦！ぴ じゅつかんをめぐる『旅』」		コレクション 展示室	作品にまつわるワークシートを 解きながら、親子で楽しく展覧 会をめぐる。	327
2月16日(日)	13:00～16:00	コレクション展 第4期	大人のためのワークショップ ミニ屏風を作ろう	宮下東子 (専門学芸員)	ギャラリー	企画展の作品を用いて本物と 同じ構造の小さな屏風を作る。	14
3月9日(日)	14:00～16:00	コレクション展 第4期	〔親子でアート！〕 ちいさな「えまきもの」を つくろう	宮下東子 (専門学芸員)	ギャラリー	市販の折り紙を使い、親と子 が分業して小さな巻子を作る。	15

計407名

映画鑑賞会

開催日	時 間	関連展覧会名	タイトル	内 容	参加者数
9月22日(日祝)	14:00～15:30	日本が見たドニ ドニ の見た日本	カラミティ	2020年／82分	35
11月24日(土)	14:00～16:00		目の見えない白鳥さん、アートを見にいく	2022年／107分	35

計70名

みちくさプレイス 会場：ロビー

美術館賑わい空間創出事業として、ロビーに椅子・テーブル・書棚・絵本・独自に開発したパズルを設置して、親子でくつろげる空間をロビーに作った（11月8日より開設）

親子ふれあいデー

中学生以下の子供同伴の保護者2名までコレクション展の観覧料を無料とした。（参加者数は保護者のみを記載）

- ① 7/14(日) 10名 ② 8/18(日) 11名 ③ 9/14(土) 5名 ④ 10/13(日) 15名 ⑤ 11/10(日) 14名 ⑥ 12/14(日) 8名 ⑦ 1/12(日) 6名 ⑧ 2/9(日) 2名 ⑨ 3/9(日) 10名

※同日、声の大きさを気にせず鑑賞を楽しめる「おしゃべりタイム」も実施。（①～④、⑧⑨は企画展でも「おしゃべりタイム」を実施）

館外活動・地域との連携

出前講座

学校での出前講座について、校数は16校（昨年度から4校増）、コマ数については43コマ（昨年度から17コマ増）で、昨年以上の依頼があった。本事業について徐々に周知されてきていると考える。

1日に複数の授業を依頼されることが増えており、職員2人で対応した学校もあったが、他の業務とのバランスを考えると職員を一度に複数人派遣するのは難しい。学校からの希望を調整しながら実施する必要がある。

No.	分類	月 日	対 象	内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	一般	5月21日(火)	新潟デザイン専門学校 センモラート美術大学学生	日本画の基礎知識	1	23	池田
2	学校	7月10日(水)	妙高市立新井中央小学校	1年生	2	40	宮下
3				1年生	1		宮下
4	学校	7月18日(木)	小千谷市立小千谷南小学校	4年生	1	39	宮下
5				2年生	1		宮下
6	学校	7月19日(金)	魚沼市立魚沼北中学校	3年生	1	14	万美 藤田
7				2年生	1		今井
8	学校	9月10日(火)	燕市立小池小学校	3年生	1	119	今井
9				6年生	2		宮下
10	学校	9月11日(水)	魚沼市立大崎小学校4年生	4年生	1	43	池田
11				6年生	1		池田
12				1・2年生	1		飯島
13	学校	9月24日(火)	上越市立富岡小学校	3・4年生	1	109	宮下
14				5・6年生	2		宮下
15				6年生	1		飯島
16				1・2年生	1		上
17	学校	10月 2日(水)	上越市立谷浜小学校	3・4年生	1	31	上
18				5・6年生	1		上
19	学校	10月 3日(木)	阿賀市立堀越小学校	1・3年生	2	73	今井
20				5年生	1		今井
21	学校	10月17日(木)	長岡市立江陽中学校	1年生	1	15	飯島
22	学校	10月24日(木)	長岡市立太田中学校	3年生	1	11	万美 藤田
23	学校	11月 5日(火)	長岡市立上組小学校	6年生	2	67	長嶋
24				1～3年生	3		池田
25	学校	11月 7日(水)	南魚沼市立おおまき小学校	4～6年生	3	129	今井
26				1・2年生	1		長嶋
27	学校	11月20日(水)	上越市立上下浜小学校	3年生	1	30	長嶋
28	学校	11月29日(金)	五泉市立巢本小学校	1・2年生	1	22	池田
29				4・5年生	2		宮下
30	学校	12月 3日(火)	妙高市立新井北小学校4・5年生	4・6年生	1	96	宮下
31		12月 6日(金)		1・2年生	4	88	宮下

合計44コマ 949名

NIIGATA アートリンク

NIIGATAアートリンク2024

■連絡会議

- 第1回 4月22日 万代島美術館
第2回 10月30日 新潟市新津美術館
11月18日 連携事業打合せ（WEB会議）
第3回 2月20日 万代島美術館

■教育普及部会

- 第1回 7月 9日 近代美術館
第2回 9月10日 WEB会議

■NIIGATAアートリンク主催美術教育研修会

「令和6年度 鑑賞と美術館—活用のための研修会」
7月29日 12:50～17:00 当館
参加者：学校教員7名／学芸員14名
担当 宮下東子、今井有、池田珠緒、上雅次、飯島沙耶子

ボランティア活動

友の会との協働の中で、印刷物の発送作業を行った。

①7/23(火)10人 ②12/20(金)8人 ③2/20(木)7人

刊行物名・鑑賞資料

刊行物名	概 要	仕 様	発行部数	発行日	内 容
令和6年度 年間スケジュール	令和6年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベントなどをまとめたもの	225×376mm (展開サイズ) 蛇腹4つ折り	32,000部	2024年 4月1日	
新潟県立近代美術館 だより 「雪椿通信」57号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A5判 蛇腹4つ折り	5,000部	2024年 4月26日	特集1 2023年度を振り返って①新潟県立近代美術館開館30周年事業／特集2 2023年度を振り返って②企画展関連イベント／2023年度を振り返って③大人のための日本画ワークショップ／特集4 2023年度新収蔵作品紹介／表紙の作品／日本が見たドニ・ドニが見た日本／2024年度の展覧会から／編集部からのひとこと
たびのしおり 「クイズに挑戦!びじゅつかんをめぐる「旅」」 (親と子のワクワクオリエンテーリングシート)	設問に取り組みながら、所蔵品や作家に興味を持つ機会を作り出すシート	A4判両面刷り		2024年6月 28日(実施期間:6月28日～8月18日)	
企画展 「皇室の名宝と新潟— 皇室の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美」図録	「皇室の名宝と新潟— 皇室の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美」の公式図録	A4判 80頁	800部	2025年 2月7日	ごあいさつ／皇室三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と新潟とのゆかり／第一章 皇室に伝わった名品／第二章 近代日本絵画の精華／第三章 皇室ゆかりの工芸品／第四章 明治天皇の六大巡幸写真—古写真でたどる明治天皇の新潟巡幸—／出品目録／主要参考文献
令和5年度年報	令和5年度の活動報告	139頁	電子データ	2025年 3月28日	

作品解説会

来館者サービスの 일환として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。

コレクション展（土曜日 14:00～）

企画展（日曜日 14:00～）

【企画展】

展覧会名

期日

人数

日本が見たドニ | ドニの見た日本

9月15日

23

10月13日

15

小計

38

企画展合計

38

【コレクション展】

展覧会名

期日

人数

展示室1 日本女性の姿—労働と肖像

展示室2 近代美術館の名品

展示室3 没後50年 難波田史男 青春の思索

4月13日（展示室2）

9

6月15日（展示室3）

13

第1期小計

22

展示室1・2 旅する新潟

展示室3 近代美術館の名品

7月27日（展示室3）

10

8月17日（展示室1・2）

23

第2期小計

33

展示室1 親と子のワクワク美術館 はい、ポーズ！

展示室2 没後40年 竹谷富士雄

展示室3 近代美術館の名品

9月14日（展示室1）※対話型

7

10月 5日（展示室2）

16

11月 2日（展示室3）

7

12月14日（展示室1）※対話型

3

第3期小計

33

展示室1 シークレット・ガーデン

展示室2 近代美術館の名品

展示室3 亀倉雄策と時代を拓いた作家

1月11日（展示室1）

5

2月15日（展示室2）

15

3月15日（展示室3）

15

第4期小計

35

コレクション展合計

123

団体の受入れ

団体の来館者を受け入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。

* 印は、解説あるいは対話による鑑賞を実施した団体

●一般団体

ジブリパークとジブリ展

4月18日(木)	社会福祉法人中越福祉会のわの里 新潟あけぼの園	7名
4月19日(金)	KINGOカレッジ	11名
4月19日(金)	社会福祉法人 たんぽぽ	15名
4月24日(水)	大石福祉社会こぼと	26名
4月26日(金)	中越福祉会のわの里工房ゆきわり	12名
5月 8日(水)	特定非営利活動法人虹の家 デイライフ中条	6名
5月11日(土)	ワークセンター千秋	22名
5月11日(土)	日中一時支援オハナ	20名
5月11日(土)	工房ますがた	17名
5月11日(土)	みのわの里ゆうあい	15名
5月14日(火)	特定非営利活動法人虹の家 デイライフ中条	7名
5月14日(火)	スマイル分水	11名
5月15日(水)	特定非営利活動法人虹の家 デイライフ中条	7名
5月15日(水)	社会福祉法人大石福祉会 あゆみの舎	11名
5月17日(金)	創造工房コスモス	32名
5月17日(金)	ワークセンター とちの木の家	24名
5月18日(土)	青葉台4丁目子ども会	29名
5月18日(土)	スペースBe	13名
5月18日(土)	工房ますがた	14名
5月18日(土)	ワークセンター北陽	7名
5月18日(土)	ステップセンターさんき	10名
5月23日(水)	さんさん工房	16名
5月25日(土)	ワークセンター千秋	16名
5月25日(土)	柏崎市中央地区コミュニティセンター かしわっ子	32名
5月25日(土)	地域活動支援センターかめさん	12名
5月28日(火)	リハビリセンター王見台	5名
5月29日(水)	地域活動支援センター ささぐち	6名
5月31日(金)	デイワークス中之島	29名
5月31日(金)	社会福祉法人 さくら園 北さくら工房	48名
5月31日(金)	NPO法人地域活動支援センター ひまわりの家自立訓練所	12名
5月31日(金)	リハビリセンター王見台	6名
6月 4日(火)	佐渡絵手紙友の会	37名
6月 4日(火)	リハビリセンター王見台	6名
6月 6日(木)	リハビリセンター王見台	5名
6月 7日(金)	障害福祉サービス事業所 すきっぷ	6名
計35団体		小計 552名

コレクション展第1期

6月19日(水)	新潟県職員労働組合	* 6名
計1団体		小計 6名

生誕100年山下清展 百年目の大回想

6月29日(土)	郡山市文化団体連絡協議会	40名
7月10日(水)	中越福祉会のわの里工房ゆきわり	10名
7月19日(金)	新潟交通の旅くれよん	20名
7月25日(木)	新潟交通の旅くれよん	20名
8月 1日(水)	新潟交通の旅くれよん	19名
8月 3日(土)	株式会社阪急交通社	13名
8月 6日(火)	大島・希望地区別研修会	* 20名
8月 8日(木)	阿賀町公民館 (阿賀町教育委員会 社会教育課)	21名
8月 9日(金)	新潟交通の旅くれよん	22名
計9団体		小計 185名

日本が見たドニ | ドニの見た日本

9月 3日(火)	三交病院デイケアセンター	21名
10月 9日(水)	新潟教弘友の会	* 40名
10月10日(木)	新潟教弘友の会	* 33名
10月10日(木)	新発田地区公民館	* 14名
10月20日(日)	東京中央木材市場株式会社千葉木材センター	12名
計5団体		小計 120名

コレクション展第3期

11月 4日(月)	東信美術会	27名
11月 7日(木)	長岡市三島郡美術教育研究会	* 19名
計2団体		小計 46名

皇室の名宝と新潟 一皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美

3月12日(水)	(宗)百観音院	25名
3月14日(金)	俵いつ和ふるーれ長岡着楽会	20名
計2団体		小計 45名

●大学

生誕100年山下清展 百年目の大回想

7月12日(金)	長岡造形大学	93名
計1団体		小計 93名

●幼稚園・保育園・こども園

ジブリパークとジブリ展

4月26日(金)	社会福祉法人 瑞穂会 新保保育園	38名
4月26日(金)	明幸幼稚園 すまいる保育園	65名
5月 8日(水)	学校法人ジュニアスクール 鵬幼稚園	21名
5月 8日(水)	学校法人ジュニアスクール 鵬幼稚園	39名
5月10日(金)	学校法人ジュニアスクール 第一幼稚園	57名
5月21日(火)	長岡和光幼稚園なごみ保育園	34名
5月22日(水)	長岡市立上通保育園	17名
5月24日(金)	社会福祉法人 杉沢の虹 杉沢保育園	20名
5月29日(水)	認定こども園帝京長岡幼稚園	68名
5月30日(木)	社会福祉法人はなみずき福祉会 みしま中央こども園	33名
5月30日(木)	社会福祉法人はなみずき福祉会 みしま中央こども園	35名
6月 4日(火)	認定こども園 中島幼稚園 わくわく保育園	28名
6月 4日(火)	撰田屋保育園	39名
6月 5日(水)	学校法人東光こども園	51名
6月 6日(木)	幼保連携型認定こども園 太陽ゆうゆう保育園	27名
6月 6日(木)	認定こども園 太陽幼稚園・おひさま保育園	68名
6月 7日(金)	学校法人光峰学園 つぐみ幼稚園	17名
計17団体		小計 657名

皇室の名宝と新潟 一皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美

3月12日(水)	みどりこども園	15名
計1団体		小計 15名

総合計	73団体	1,719名
-----	------	--------

学校教育との連携

●教育課程及び部活動での利用

学校のカリキュラムにより来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。

本年度は「ジブリパークとジブリ展」の観覧者が多かったが、これを差し引いてみると、学校での団体観覧は少なく、むしろこれまで少なかった高等学校や中学校の部活動による観覧が増えた。

校数	月 日	学 校 名	学年等	展覧会名	コレク ション 展	解説あり (*対話型鑑賞)		自由鑑賞	
						児童生徒数	引率	児童生徒数	引率
1	5月 2日(木)	長岡市立神田小学校	1-6年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	124名	14名
2	5月 8日(木)	長岡市立総合支援学校	6年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	4名	4名
3	5月 9日(木)	長岡市立旭岡中学校	2年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	5名	1名
4	5月 9日(木)	長岡市立総合支援学校	中学生1-3年	ジブリパークとジブリ展		—	—	5名	6名
5	5月14日(火)	新潟県立上越特別支援学校	3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	3名	3名
6	5月15日(水)	長岡市立総合支援学校	5年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	13名	10名
7	5月15日(水)	長岡市立高等総合支援学校	1年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	20名	8名
8	5月15日(水)	長岡市立高等総合支援学校	1年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	15名	6名
9	5月15日(水)	長岡市立大島中学校	3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	92名	8名
10	5月17日(金)	見附市立見附特別支援学校	6年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	2名	3名
11	5月18日(土)	見附市立西中学校	1-3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	18名	1名
12	5月18日(土)	南魚沼市立六日町中学校	美術部	ジブリパークとジブリ展		—	—	16名	2名
13	5月19日(日)	新潟県立分水高等学校	文芸・美術部	ジブリパークとジブリ展		—	—	6名	1名
14	5月24日(金)	長岡市立総合支援学校	訪問学級	ジブリパークとジブリ展		—	—	3名	9名
15	5月24日(金)	長岡市立高等総合支援学校	3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	50名	15名
16	5月24日(金)	長岡市立江陽中学校	2年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	132名	8名
17	5月24日(金)	長岡市立江陽中学校	1年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	125名	8名
18	5月25日(土)	魚沼市立小出中学校	1-3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	18名	1名
19	6月 1日(土)	南魚沼市立塩沢中学校	1-3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	16名	1名
20	6月 4日(火)	柏崎市立内郷小学校	3年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	8名	1名
21	6月 4日(火)	長岡市立四郎丸小学校	4年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	64名	3名
22	6月 7日(金)	長岡市立豊田小学校	5年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	51名	2名
23	6月 7日(金)	長岡市立高等総合支援学校	重複障害学級	ジブリパークとジブリ展		—	—	5名	6名
24	6月 7日(金)	長岡市立豊田小学校	5年生	ジブリパークとジブリ展		—	—	52名	2名
25	6月12日(水)	小千谷市立和泉小学校	6年生	コレクション展第1期	○	17名	2名	—	—
26	6月22日(土)	創進学園高等学校	3年生	コレクション展第1期	○	—	—	27名	3名
27	7月 2日(火)	小千谷市立南小学校	5年生	生誕100年山下清展	○	*16名	2名	—	—
28	7月 3日(水)	長岡市立堤岡中学校	1年生	生誕100年山下清展		102名	7名	—	—
29	7月 5日(金)	小千谷市立千田小学校	5年生	生誕100年山下清展	○	*21名	2名	—	—
30	7月12日(金)	新潟市立上山中学校	特別支援学級	生誕100年山下清展	○	20名	7名	—	—
31	7月19日(金)	小千谷市立片貝小学校	5年生	生誕100年山下清展	○	*22名	2名	—	—
32	7月26日(金)	県立長岡工業高等学校	美術部	生誕100年山下清展	○	—	—	13名	2名
33	8月 6日(火)	加茂市立葵中学校	美術部	生誕100年山下清展	○	13名	2名	—	—
34	8月 6日(火)	柏崎市立東中学校	美術部	生誕100年山下清展	○	*21名	2名	—	—
35	8月 6日(火)	上越市立柿崎中学校	美術部	生誕100年山下清展	○	11名	2名	—	—
36	8月 9日(金)	三条市立第四中学校	美術部	生誕100年山下清展		—	—	13名	1名
37	8月29日(木)	小千谷市立東小千谷小学校	5年生	生誕100年山下清展	○	*30名	2名	—	—
38	8月29日(木)	小千谷市立東山小学校	5年生	生誕100年山下清展	○	*1名	1名	—	—
39	9月13日(金)	小千谷市立吉谷小学校	5年生	日本が見たドニ ドニの見た日本	○	*11名	2名	—	—
40	9月13日(金)	小千谷市立和泉小学校	5年生	日本が見たドニ ドニの見た日本	○	*9名	1名	—	—
41	9月19日(木)	小千谷市立小千谷小学校	5年生	日本が見たドニ ドニの見た日本	○	*56名	3名	—	—
42	9月20日(金)	小千谷市立小千谷小学校	5年生	日本が見たドニ ドニの見た日本	○	*59名	3名	—	—
43	10月18日(金)	長岡英智高等学校	1-3年生	日本が見たドニ ドニの見た日本	○	—	—	55名	6名
44	10月23日(水)	長岡市立与板中学校	1-3年生	コレクション展第3期	○	—	—	138名	16名
合 計						409名	40名	1,093名	151名

●職場体験

学校からの要望に応じて職場体験を受け入れた (1日日程)

9月26日(木) 長岡市立北中学校 2年生 2名

●教員研修会の受け入れ

要望があった場合、学校教員の研修会の会場として館の施設を提供。研修会の講師を務め、展示室で対話による鑑賞を体験した。

11月7日(木) 長岡市三島郡美術教育研究会 19名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第12条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期間	日数	開催企画展名称	企 画 展								コレクション展											月計
				学 校 等						障害者 等	合計	学 校 等						障害者 等	企画展 チケット	親子ふれ あいデー	合計		
				幼小中			高校					幼小中			高校								
				園・校数	園児・児童・ 生徒	引率	校数	生徒	引率			園・校数	園児・児童・ 生徒	引率	校数	生徒	引率						
4	12~16	4	ジブリパークと ジブリ展									0	0	0	0	0	0	10			10	1,036	
	17~30	13		2	(92)	11	0	0	0	788	799	0	0	0	0	0	0	227			227		
5	1~31	27		18	(788)	124	2	91	30	2,326	2,571	2	(34)	3	2	56	16	556			631	3,202	
6	1~9	8		10	(397)	32	0	5	6	826	869	1	(103)	4	0	0	0	147			151	1,549	
	11~23	12									1	(17)	2	1	27	3	17			49			
	28	1									0	0	0	0	0	0	0			0			
	29~30	2		0	0	0	0	0	0	80	80	0	0	0	0	0	0	0	400		400		
7	2~31	26	山下清展	5	(181)	20	1	14	2	1,034	1,070	3	(63)	11	1	13	2	310	5,097	10	5,443	6,513	
8	1~18	17	日本が見たドニ ドニの見た日本	3	(45)	6	0	0	0	877	883	3	(45)	6	0	0	0	307	5,206	11	5,530	6,546	
	27~31	5		2	(31)	3	0	0	0	17	20	2	(31)	3	0	0	0	11	99		113		
9	1~29	25		2	(135)	9	0	0	0	146	155	2	(135)	9	0	0	0	97	811	5	922	1,077	
10	1~20	18		0	0	0	1	55	6	118	179	0	0	0	1	55	6	79	741	15	896	1,097	
	22~31	9										1	(138)	16	0	0	0	6			22		
11	1~30	26										0	0	0	0	0	0	14		14	28	28	
12	1~15	13										0	0	0	0	0	0	13		8	21	27	
	24~28	5										0	0	0	0	0	0	6			6		
1	4~31	24										0	0	0	0	0	0	24		6	30	30	
2	1~6	5	皇室の名宝と新潟									0	0	0	0	0	0	3			3	2,218	
	7~28	20		0	0	0	0	0	0	215	215	0	0	0	0	0	0	134	1,864	2	2,000		
3	1~16	15		1	(11)	4	0	0	0	308	312	1	(11)	4	0	0	0	208	2,563	10	2,785	3,112	
	18~30	12									0	0	0	0	0	0	15			15			
合 計		287		43	(1,680)	209	4	165	44	6,735	7,153	16	(577)	58	5	151	27	2,184	16,781	81	19,282	26,435	

※小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒は観覧料無料のため、免除者数には含まない。(表中カッコ書きの数値)

※高校の校数は、同じ学校が複数回来館しても年度を通して1校と考える。

※券売システムの変更に伴い、令和6年度以降は障害者、介助者の人数をまとめて障害者等としている。

博物館実習

【趣 旨】

学芸員資格取得を目指す学生等のための博物館実習を実施し、5名の実習生を受け入れた。美術館学芸員の諸業務に関する講義のほか、各分野の作品の取り扱いについて実習を行った。また、「作品展示実習」では実際に作品の展示・照明作業を行い、「作品解説会」では展示室で実習生による解説会を開催し、広く学芸業務全般を体験することに重点をおいた。

【実習期間】

10月3日(木)～10月11日(金) ※土・日を除く計7日間

【実習生の所属および受け入れ人数】

新潟大学 1名
長岡造形大学 3名
富山大学 1名
合計 5名

【カリキュラム】

月 日	時限	内 容	担 当
10月3日(木)	1	開講式／オリエンテーション／コレクション展／バックヤード見学①	館長・副館長・学芸企画課
	2	企画展見学	平石
	3	講義：博物館運営に関わる法律・現在の博物館を取り巻く状況	松矢
	4	バックヤード見学②、B1見学	池田
10月4日(金)	1	講義：ミュージアムエデュケーション	宮下
	2		
	3	講義：学芸企画課の業務 展覧会の企画から礼状まで	松矢
	4	実習：作品解説会準備【内容説明、内容・分担決め】	池田
10月7日(月) (休館日)	1	実習：作品の取り扱い・点検(平面作品) ※保存修復含	今井、飯島
	2		
	3	実習：作品の展示・取り扱い(立体、工芸)	池田
	4	実習：作品解説会準備【研究】	池田
10月8日(火)	1	実習：作品解説会準備【研究、リハーサル】	池田
	2		
	3	実習：作品の取り扱い・展示(軸・屏風)	長嶋
	4		
10月9日(水)	1	講義：作品の収集・分類・保管／近隣施設連携	今井
	2	広報・発送・友の会	上
	3	実習：作品解説会【本番】	池田・飯島
	4	講義：作品の調査研究	平石
10月10日(木)	1	実習：作品展示実習 ギャラリー使用 ※コレクション展示室、企画展示室見学を含む	池田・飯島
	2		
	3		
	4		
10月11日(金)	1	コレクション展、データベース管理	飯島
	2	講義：総務課の業務(含館内で働く人々)	中村
	3	実習のまとめ・質疑応答	池田
	4	閉講式	館長・副館長・学芸課

8:50出勤 実習場所は会議室を基本とする

①9:10～10:30(80分) ②10:50～12:10(80分)
③13:10～14:30(80分) ④14:50～16:10(80分)

担当 池田珠緒

新潟県立万代島美術館

イベント

講演会等

開催日	時 間	関連展覧会名	イベント名	担当／講師	会 場	内 容	参加者数
5月12日(日)	13:30～ 14:10 15:30～ 16:10	コシノジュンコ 原点から現点	ギャラリートーク	コシノジュンコ氏	展示室	出品作品を中心に解説。	126
7月28日(日)	11:00～ 11:50	化石ハンター展	スペシャルトーク 「解説！化石ハンターの ヒミツ」	講師：木村由莉氏 (本展総合監修者・国立 科学博物館研究主幹) 司会：三石佳那 (BSN アナウンサー)	展示室	総合監修者の解説を聞きなが ら会場を見学。	40
	14:00～ 14:50						40
10月11日(金)	10:30～ 11:20	古代エジプト美術館展	ギャラリートーク	菊川匡氏 (古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー)	展示室	「古代エジプト美術館 渋谷」 の設立者が、展示品の解説や 収集にまつわるエピソードを 紹介。	60
11月2日(土)	14:30～ 16:00	古代エジプト美術館展	「ピラミッドと古代エジ プト神話」	大城道則氏 (駒澤大学教授)	朱鷺メッセ 中会議室 201	本展の学術協力者が、古代エ ジプト文化の魅力や発掘調査 でのエピソードなどを紹介。	128
1月25日(土)	14:00～ 15:10	谷川俊太郎 絵本★ 百貨展	記念コンサート 「たにけん sings しゅん たろ ～かわいい歌から おもしろこわい歌、そし て泣ける歌まで～」	演奏：谷川賢作氏 (音楽家) ゲスト：鈴木絵麻氏	ロビー	谷川俊太郎(しゅんたろ)の 詩に、息子の谷川賢作(たに けん)が曲をつけた親子の合 作を、谷川賢作がピアノで演 奏し歌う。	200
2月2日(日)	11:00～ 11:45	谷川俊太郎 絵本★ 百貨展	ギャラリートーク	講師：林綾野氏 (本展キュレーター) 共催：新潟県立美術館友 の会	展示室	出品作を中心に、谷川さんの 絵本作りについて、展示室を まわりながら紹介。	35
	13:00～ 13:45						20
2月9日(日)	11:00～ 11:30	谷川俊太郎 絵本★ 百貨展	絵本★読み聞かせ会	読み手：小池れいあ (UX アナウンサー)	展示室	出品作のうち、数冊の絵本を 選び、読み聞かせを行った。	54

計703名

ワークショップ

開催日	時 間	関連展覧会名	ワークショップ名	担 当	会 場	内 容	参加者数
10月12日(土)	14:00～ 14:30	古代エジプト美術館展	あなただけのアミュレッ ト(お守り)を作ろう！	菊川匡氏 (古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー) 長富信人氏(同 CMO)	ロビー	古代エジプト美術館 渋谷が所 蔵するアミュレットの型の実 物から複製したシリコン型と 粘土を使って、自分だけのア ミュレットを作る。	20
	15:30～ 16:00						
10月11日(土) ～ 12月15日(日)	10:00～ 18:00	古代エジプト美術館展	クイズ&スタンプラリー		展示室	古代エジプト美術にまつわる クイズに答えながら、古代の 神々のスタンプを集める。制 作部数2万枚。自由参加。	
1月18日(土) ～ 4月6日(日)	10:00～ 18:00	谷川俊太郎 絵本★ 百貨展	ミニ所蔵品展関連ワーク シート 「ことばであらわそう オノマトペ！」		展示室	作品を前に耳をすませて聞こ える音をオノマトペであらわ してみる。自由参加。	

計20名

親子ふれあいデー

子育て世代支援のため、特定日に子どもと一緒に保護者2名までの観覧料無料を実施。

- ① 8/5(月) 10:00～13:00(事前申し込み制・先着150組限定) 370名
② 2/2(日)、9(日)、16(日)(事前申し込み制・各日先着50組限定) 423名

館外活動・地域との連携

出前講座

展覧会の事前授業は、会場での解説による混雑を回避できるだけでなく、スライドを使って内容を効果的に伝えることができる。また、事前授業で興味を持った学生は来館までに自主学習することもでき、学習意欲を高める効果もある。

出前授業はテーマによって講師が指定されるため、同じテーマで遠方への出前回数が増えることは職員への負担が大きくなる。回数やテーマを限定するなどの対応が必要である。

No.	分類	月 日	対 象		内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	学校	11月12日(火)	新潟県立新潟商業高等学校	2・3年生	古代エジプト美術館展鑑賞事前授業	4	305	濱田
2	学校	11月14日(水)						濱田

合計4コマ 305名

NIIGATA アートリンク

※30ページ参照

担当 濱田真由美、松本奈穂子

図書館との連携

企画展関連書籍コーナーの設置

■化石ハンター展

新潟県立図書館	7月2日(火)～7月28日(日)
上越市立高田図書館	6月21日(金)～7月12日(金)
糸魚川市民図書館	7月10日(水)～8月31日(土)
青海図書館	6月25日(火)～9月23日(月・振休)
長岡市立中央図書館	7月1日(月)～7月30日(火)
村上市立中央図書館	7月5日(金)～8月31日(土)

■古代エジプト美術館展

新潟県立図書館	
長岡市立中央図書館	
見附市図書館	
上越市立高田図書館	※いずれも期間不明

■谷川俊太郎 絵本★百貨展

見附市図書館	会期前～2月9日(日)
新発田市立中央図書館	会期前～1月20日(月)
新潟県立図書館	3月11日(火)～3月30日(日)
五泉市立図書館	～3月31日(月)
糸魚川市民図書館	1月15日(水)～4月6日(日)
糸魚川能生図書館	1月16日(木)～2月1日(土)
糸魚川青梅図書館	1月19日(日)～4月6日(日)
長岡市立中央図書館	2月4日(火)～3月31日(月)
妙高市図書館	～3月9日(日)

刊行物名・鑑賞資料

刊行物名	概 要	仕 様	発行部数	発行日	内 容
令和6年度 年間スケジュール	令和6年度の企画展の日程及び 内容、年間のイベントなどをまと めたもの	A4判 巻三つ折りフルカラー	35,000部	2024年 4月1日	企画展予定／開館カレンダー／観覧料免除／小 さなお子様連れ・障害者向け施設案内／友の会案 内／新潟県立近代美術館の企画展／交通案内／ 駐車場案内
古代エジプト美術館 展クイズ&スタンプ ラリー	展示室で古代エジプト美術にまつ わるクイズに答えながら、古代の 神々のスタンプを集めるシート	A5判両面フルカラー	20,000部	2024年 10月11日	
谷川俊太郎 絵本 ★百貨展会場ガイド マップ	来場者のための会場案内図	A5判 2ツ折両面フルカラー	10,000部	2025年 1月18日	ガイドマップ／親子で展覧会を楽しむポイント
谷川俊太郎 絵本 ★百貨展併設ミニ所 蔵品展ワークシート	作品から連想するオノマトペを書く シート	A5判モノクロ	リソグラフで 館内印刷	2025年 1月18日	
新潟県立近代美術館 研究紀要 第23号	学芸員による研究報告	A4判 48頁	350部	2025年 3月7日	・澤田佳三「萬鐵五郎の宗教熱——青年期の日 記に見る参禅の前夜」 ・松矢国憲「江口草玄の未公開資料(二) 昭和 六十一年(一九八六) — 平成三年(一九九一)

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。

【企画展】14:00～

展覧会名	人数
期日	
コシノジュンコ 原点から現点	
4月 6日	20
4月14日	24
小計	44

団体の受入れ

団体の来館者を受け入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。

*印は、解説等を行った団体

●一般団体

コシノジュンコ 原点から現点

4月 1日(月)	放課後等デイサービス アートキャンプ新潟	7名
4月 2日(火)	NPO法人アートキャンプみいむ	8名
4月12日(金)	Sewd Sew Retreats	18名
4月21日(日)	(株)坂りん 豊栄店	21名
4月27日(土)	新潟県立美術館友の会バス直行便	*9名
5月 9日(木)	豊栄商工会女性部	14名
5月17日(金)	一般社団法人 みらいす	8名
5月24日(金)	亀田美術会	10名
計8団体		小計 95名

化石ハンター展～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～

6月28日(金)	メイプルかめだ	8名
6月29日(土)	鶴岡中央工業団地管理組合	29名
7月 7日(日)	こころ楽楽	6名
7月13日(土)	こころ楽楽	9名
7月20日(土)	こころ楽楽	7名
7月21日(日)	こころ楽楽	5名
7月27日(土)	福祉事業所ハーモニー	17名
7月31日(水)	喜多方こども食堂	21名
8月 1日(木)	放課後等デイサービス ひなた 本町通校	9名
8月 1日(木)	アートキャンプテラス	5名
8月 2日(金)	放課後等デイサービスアートキャンプみいむ	9名
8月 2日(金)	サクセスランド	14名
8月 2日(金)	iROOM江南	17名
8月 8日(木)	放課後等デイサービスアートキャンプみいむ	8名
8月 8日(木)	放課後等デイサービス ココン新発田	21名
8月22日(木)	じゃむぱれっと	11名
8月23日(金)	KINGOカレッジ福祉事業所	19名
8月27日(火)	放課後等デイサービスアートキャンプみいむ	13名
8月29日(木)	リリック	15名
8月29日(木)	就労支援しろやま	9名
8月31日(土)	日中一時支援オハナ	17名
8月31日(土)	長町こども会	19名
8月31日(土)	新潟いなほの会	8名
9月 4日(水)	福祉事業所ハーモニー	6名
9月 5日(木)	福祉事業所ハーモニー	6名
9月11日(水)	新潟市小学校研究協議会図画工作部	27名
9月16日(月)	放課後等デイサービス オハナ東	16名
9月21日(土)	放課後等デイサービス ホーミープラス	11名
9月21日(土)	ワークセンター北陽	10名
9月22日(日)	NPO法人ボブラの家	24名
9月23日(月)	アートキャンプてらす	4名
計31団体		小計 400名

古代エジプト美術館展

10月11日(金)	新潟県建設業協会	24名
10月16日(水)	きたかた中央大学	35名
10月19日(土)	こころ楽楽	5名
10月23日(水)	ハーモニー	5名
10月29日(火)	糸魚川市文化協会	42名
10月29日(火)	河渡の郷	6名
10月29日(火)	小野町公民館	22名
10月31日(木)	ハーモニー	8名
11月 4日(月)	アートキャンプ新潟	11名
11月 5日(火)	西蒲原福祉事務組合 ふれあいの家	7名
11月 7日(水)	比角コミュニティセンター	22名
11月 9日(土)	せきかわ歴史とみちの館	20名
11月13日(水)	めいせいデイサポートセンター	7名
11月13日(水)	ふれ愛しうんじ	41名
11月13日(水)	サンロイヤル新潟	20名
11月16日(土)	古代エジプト美術館展と日本海の幸・紅葉の日本庭園	25名
11月21日(木)	NPO法人作業所あゆみ	19名
11月22日(金)	KINGO	21名
11月22日(金)	ハッピーハート新大前	9名
11月28日(木)	しろやま	17名
11月30日(土)	日中一時支援オハナ	14名
12月 1日(日)	ちょこっTrip	20名
12月 3日(火)	アートキャンプみいむ	6名
12月 8日(日)	こころ楽楽	6名
12月10日(火)	サンアイツアー	14名
12月10日(火)	ちょこっTrip	17名
12月11日(水)	めいせいデイサポートセンター	9名
12月14日(土)	こころ楽楽	10名
計28団体		小計 462名

谷川俊太郎 絵本★百貨展

1月19日(日)	こころ楽楽	14名
1月21日(火)	柏崎市大洲コミュニティセンター	*27名
1月25日(土)	こころ楽楽	19名
1月26日(日)	こころ楽楽	7名
1月26日(日)	新潟大学丹治嘉彦先生クラス	19名
2月 1日(土)	日中一時支援オハナ	17名
2月 1日(土)	こころ楽楽	6名
2月 4日(火)	イエス・キリスト協会	12名
2月13日(木)	みんなの家ととも	19名
2月18日(火)	福祉事務所ハーモニー	5名
2月19日(水)	地域活動支援センターあん	10名
2月27日(木)	福祉事務所ハーモニー	7名
3月14日(金)	地域活動支援センターどれみハウス	9名
3月15日(土)	こころ楽楽	6名
3月22日(土)	放課後等デイサービスiROOM荻川	11名
3月24日(月)	iROOM江南	12名
計16団体		小計 200名

●大学

コシノジュンコ 原点から現点			
4月21日(日)	新潟大学 教育学部	*22名	
5月11日(土)	長岡造形大学	12名	
計2団体		小計	34名

●幼稚園・保育園・こども園

化石ハンター展～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～			
9月12日(木)	みのりこどもえん	22名	
計1団体		小計	22名

谷川俊太郎 絵本★百貨展

1月30日(木)	認定こども園みどり幼稚園	17名
2月21日(金)	幼保連携型認定新通こども園	34名
計2団体		小計 51名

●専門学校他

コシノジュンコ 原点から現点			
4月16日(火)	国際トータルファッション専門学校	*77名	
4月23日(火)	国際トータルファッション専門学校	*61名	
4月25日(木)	新潟農業・バイオ専門学校	*12名	
5月23日(木)	MONTSERRAT COLLEGE OF ART	24名	
計4団体		小計	174名

古代エジプト美術館展

11月 8日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	* 16名
11月21日(木)	日本アニメ・マンガ専門学校	* 45名
11月27日(水)	日本アニメ・マンガ専門学校	9名
11月29日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	* 33名
12月10日(火)	日本アニメ・マンガ専門学校	* 12名
12月13日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	* 20名
計6団体		小計 135名

総合計	98団体	1,573名
-----	------	--------

学校教育との連携

●教育課程及び部活動での利用

学校のカリキュラムにより来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。

特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

また、中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて施設や職業に関する質問への対応や案内を行った（下記表※印欄）

校数	月 日	学 校 名	学年等	展覧会名	校外 他※	解説あり		自由鑑賞	
						児童生徒数	引率	児童生徒数	引率
1	4月19日(金)	新潟市立関屋中学校	2年生	コシノジュンコ 原点から現点	○	—	—	9名	1名
2	4月24日(水)	新潟市立木崎中学校	2年生	コシノジュンコ 原点から現点	○	9名	—	—	—
3	5月15日(水)	新潟市立大形中学校	2年生	コシノジュンコ 原点から現点	○	—	—	6名	—
4	5月16日(木)	新潟市立大江山中学校	2年生	コシノジュンコ 原点から現点	○	—	—	5名	—
5	5月17日(金)	新潟市立亀田中学校	2年生	コシノジュンコ 原点から現点	○	—	—	10名	1名
6	5月19日(日)	新潟県立新潟江南高等学校	1～3年生	コシノジュンコ 原点から現点		—	—	13名	1名
7	5月22日(水)	新潟市立潟東中学校	2年生	コシノジュンコ 原点から現点	○	—	—	5名	—
8	7月 2日(月)	新潟市立鳥屋野中学校	2年生	化石ハンター展		4名	1名	—	—
9	7月 3日(火)	新潟市立五十嵐中学校	2年生	化石ハンター展	○	—	—	29名	1名
10	7月11日(木)	新潟市立南浜中学校	2年生	化石ハンター展		1名	3名	—	—
11	7月11日(木)	会津若松市立一箕中学校(福島県)	2年生	化石ハンター展	○	—	—	8名	—
12	7月21日(日)	新潟県立新潟江南高等学校	1～3年生	化石ハンター展		—	—	7名	1名
13	7月29日(月)	新潟市立坂井輪中学校	3年生	化石ハンター展		—	—	27名	2名
14	9月 3日(火)	新潟市立月潟小学校	3年生	化石ハンター展	○	31名	3名	—	—
15	9月11日(水)	鹿島学園高等学校	2年生	化石ハンター展		—	—	2名	1名
16	9月18日(水)	新潟市立新津第五中学校		化石ハンター展	○	—	—	5名	—
17	9月20日(金)	新潟市立山の下小学校	2年生	化石ハンター展	○	44名	3名	—	—
18	10月16日(水)	精華学園高等学校新潟校	1～3年生	古代エジプト美術館展	○	—	—	52名	2名
19	10月23日(水)	精華学園高等学校新潟中央校	1～3年生	古代エジプト美術館展	○	27名	4名	—	—
20	10月24日(木)	新潟県立新井高等学校	1、2年生	古代エジプト美術館展		—	—	23名	2名
21	10月24日(木)	新潟県立堀之内高等学校	1年生	古代エジプト美術館展		—	—	2名	1名
22	10月24日(木)	新潟県立高田北城高等学校	1、2年生	古代エジプト美術館展		—	—	17名	1名
23	10月24日(木)	新潟県立見附高等学校		古代エジプト美術館展		—	—	9名	1名
24	11月 1日(金)	新潟市立下山中学校	2年生	古代エジプト美術館展	○	—	—	20名	—
25	11月15日(金)	新潟市立鳥屋野中学校	1年生	古代エジプト美術館展	○	—	—	22名	1名
26	11月19日(火)	新潟県立新潟商業高等学校	2、3年生	古代エジプト美術館展		71名	3名	—	—
27	11月20日(水)	新潟県立新潟商業高等学校	2、3年生	古代エジプト美術館展		133名	6名	—	—
28	11月21日(木)	新潟県立新潟商業高等学校	2、3年生	古代エジプト美術館展		72名	3名	—	—
29	11月28日(木)	新潟県立江南高等特別支援学校	2年生	古代エジプト美術館展	○	—	—	6名	1名
30	11月29日(金)	新潟県立新潟翠江高等学校	1～3年生	古代エジプト美術館展		9名	2名	—	—
31	12月 6日(金)	新潟県立新潟よつば学園	1年生	古代エジプト美術館展	○	—	—	18名	6名
32	1月24日(金)	新潟県立江南高等特別支援学校川岸分校	3年生	谷川俊太郎 絵本★百貨展	○	—	—	12名	4名
33	1月28日(火)	新潟市立東曽野木小学校	1、2年生	谷川俊太郎 絵本★百貨展		42名	4名	—	—
34	3月 6日(木)	新潟市立大江山中学校	1年生	谷川俊太郎 絵本★百貨展	○	—	—	10名	—
合 計						443名	32名	317名	27名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第12条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展覧会名	会期	日数	学 校 等						障害者	介助	合 計
			小中・特			高校					
			校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率			
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	4月1日～5月26日	51	6	(44)	2	1	13	1	471	105	592
化石ハンター展 ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣	6月25日～9月23日	84	8	(149)	13	2	9	2	742	191	957
古代エジプト美術館展	10月11日～12月15日	62	2	(42)	1	12	439	32	1,361	392	2,225
谷川俊太郎 絵本★百貨展	1月18日～3月31日	68	2	(52)	4	1	12	4	707	180	907
合 計		265	18	(287)	20	16	473	39	3,281	868	4,681

* 小学校、中学校及び特別支援学校（初等部・中等部）の児童生徒は観覧料無料のため、合計には含まない。（表中カッコ書きの数値）

サポートメンバー

（新潟県立万代島美術館ボランティア組織）

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、新潟県立万代島美術館サポートメンバーを組織している。本年度は下記のとおり活動を行った。

【ねらい】

- 1 来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
- 2 美術館の活動を共有し、美術館への関心と関りを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

【登録人数】（R7年3月現在）

13名

【活動内容】

万代島美術館の活動や展覧会業務に必要な活動への協力。

- ・広報活動（ポスター、チラシ、年間スケジュールの発送作業）への協力
- ・イベント運営の補助

博物館実習

【趣 旨】

学芸員資格取得を目指す学生のために博物館実習を実施し、5名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導も行った。研究課題として所蔵品を使った展覧会企画を一人ずつ発表し、実習の総まとめとした。

【実習期間】

10月16日(水)～23日(水)

【実習生の所属および受入人数】

新潟大学	2名	
長岡造形大学	1名	
女子美術大学	1名	
大東文化大学	1名	合計5名

【カリキュラム】

月日	時限	内 容	担 当
10月16日(水)	1	開校式／館長挨拶／オリエンテーション／施設案内	館長・松本(課員)
	2	展示室案内・企画展「エジプト美術館展」見学	濱田
	3	調査研究／作品収集／保存・修復	澤田
	4	研究課題(課題説明、テーマ・作品検討)	松本(伊澤)
10月17日(木)	1	万代島美術館の現状と課題	館長
	2	展覧会の企画・運営／総論	館長
	3	作品の点検・取扱い(立体・写真)	館長
	4	研究課題(資料作成)	松本(伊澤)
近10代月18日美術館(金)	1	施設見学	松本(池田)
	2	展覧会見学	平石
	3	教育普及①	宮下
	4	教育普及②	宮下
10月21日(月)	1	刊行物／ホームページ	濱田
	2	作品の点検・取扱い(平面)	澤田
	3	友の会・サポートメンバー／作家資料の保管	伊澤
	4	研究課題(スライド作成)	松本(伊澤)
10月22日(火)	1	受付・監視の仕事	嘱託員
	2	総務担当の業務について(予算・人事等)	福田
	3	作品の点検・取扱い(日本画)	池田
	4	研究課題(資料作成)	松本(伊澤)
10月23日(水)	1	連携・協働／広報／所蔵品貸出／データベース	松本
	2	研究課題(発表準備・配布資料準備)	松本(伊澤)
	3	課題発表／講評	学芸
	4	閉校式	館長・松本(課員)

実習場所：準備室

①10:10～11:30 ②11:50～13:10
③14:15～15:35 ④15:55～17:15

担当：松本奈穂子、伊澤朋美

新潟県立近代美術館

【調査】

展覧会関連

日付	内容	場所	担当
5月22日	展覧会視察	富山県水墨美術館	長嶋
7月4日-7日	資料調査	久能山東照宮	長嶋、宮下 (6日から)
8月8日-9日	展覧会視察	北九州市立美術館	上
8月23日-24日	展覧会視察	青森県立美術館	今井
8月29日	展覧会視察	兵庫県立美術館	松矢
9月20日	展覧会視察	PLAY! MUSEUM	池田
10月2日	資料調査	皇居三の丸尚蔵館	飯島、松矢、 藤田(万代島美術館)
10月12日	館視察	新潟市こども創造センター	今井
10月16日	資料取扱調査	新潟県立歴史博物館	宮下、長嶋
10月22日	展覧会視察	長岡市立栃尾美術館	宮下
11月27日-29日	資料調査	久能山東照宮	宮下、長嶋
2月7日	資料取扱調査	新潟県立歴史博物館	宮下、長嶋
2月25日-26日	資料調査	久能山東照宮	宮下、長嶋

作品・作家調査

日付	内容	場所	担当
4月23日	作品調査	新潟市個人宅	長嶋
4月23日	作品調査	砂丘館	飯島
5月7日	作品調査	天門美術館	長嶋
5月9日	作品調査	新潟市内企業	池田、伊澤(万代島美術館)
6月6日	作家調査(美術工芸特別講義)	長岡造形大学	今井
6月17日	作品調査	新潟市個人宅	飯島、澤田(万代島美術館)
6月24日	作品調査	長岡市個人宅	松矢、飯島
6月27日	作品調査	相模原市個人宅	松矢
7月10日	作品調査	五泉市個人宅	池田、伊澤(万代島美術館)
9月5日	作品調査	長岡市寺院	長嶋、飯島
9月10日	作品調査	長岡市作家宅	長嶋
9月12日	作品調査	東京個人宅	宮下
9月26日	作品調査	雪梁舎美術館 他	長嶋
10月10日	作品調査	長岡市作家宅	宮下
10月31日	作品調査	五泉市寺院	池田、伊澤(万代島美術館)
10月31日	作品調査	長岡市作家宅	宮下
11月15日	作品調査	長岡市作家宅	宮下
11月20日	作家資料調査	新潟大学附属図書館	今井
12月6日	作品調査	長岡市作家宅	宮下
12月9日	作品調査	長岡市個人宅	長嶋
1月15日	作品調査	長岡市個人宅	長嶋
1月17日	作品調査	長岡市作家宅	宮下、池田
1月27日	作家・作品調査	東京	今井
3月11日	作品調査	長岡市中之島公民館中野分館	長嶋、飯島
3月11日	作品調査	新潟市個人宅	松矢
3月19日	作家調査	茂市個人宅、県立図書館、新潟市個人宅	長嶋
3月25日	作品調査	千葉県企業	今井

【図録執筆】

平石昌子 「モーリス・ドニの日本への眼差し」、「ナビ派誕生の地—パリの世紀末」、「ナビ派の代弁者——ビエール・ルイとは何者か」、「ランソンの食堂壁画と「アール・ヌーヴォーの館」、「《ベンガル虎 バッカス祭》——その数奇な運命」『日本が見たドニ | ドニの見た日本』図録(久留米市美術館、8月27日発行)

桐原浩、平石昌子、長嶋圭哉、濱田真由美(万代島美術館)、松本奈穂子(万代島美術館)

「作家解説」『日本が見たドニ | ドニの見た日本』図録

飯島沙耶子 「浅野赤城の真景図について」『皇室の名宝と新潟 — 皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美』図録

松矢国憲、飯島沙耶子、藤田裕彦(万代島美術館)
「作品解説」『皇室の名宝と新潟 — 皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美』図録

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第23号 2025年3月7日発行

松矢国憲 「江口草玄の未公開資料(二) 昭和六十一年(一九八六) — 平成三年(一九九一)」

【寄稿】

長嶋圭哉 「白倉二峰の作品評・人物評から」『没後50年記念 近代南画界の異才 白倉二峰展』図録(天門美術館、4月8日発行)

桐原浩 「支部情報 北信越支部：周年事業の難しさについて」『博物館研究』第60巻第3号(公益財団法人日本博物館協会、2月25日発行)

新聞

7月12日、17日、20日、23日、25日、30日、8月1日付
新潟日報「山下清展」(連載) 今井有

6月24日付
新潟日報「新潟を愛した放浪画家」(山下清展特集) 今井有

8月15日付
新美術新聞「日本が見たドニ | ドニが見た日本」 平石昌子

9月25日付
新潟日報「展覧会へようこそ「日本が見たドニ | ドニの見た日本」 平石昌子

10月17日付
新潟日報「展覧会へようこそ「広がる日本画《水墨画・日本画・写生画》浦上義昭 日本画展」 長嶋圭哉

2月11日、12日、19日付
読売新聞「紡ぐプロジェクト」(連載)
「皇室の名宝と新潟」 飯島沙耶子

学芸員コラム(HP内で掲載)

8月 1日 ㊳「令和6年度能登半島地震被災文化財等救援活動に参加して」 松矢国憲

9月24日 ㊳「竹谷富士雄と矢部友衛」 長嶋圭哉

10月18日 ㊳「追憶の眼差し—《ベンガル虎 バッカス祭》」 平石昌子

1月14日 ㊳「雑文〜大河ドラマと企画展「皇室の名宝と新潟」をめぐる」 飯島沙耶子

2月 3日 ㊳「二つの落谷虹児展」 池田珠緒

3月12日 ㊳「日本工房の面影—銀座と亀倉雄策」 今井有

【講演・講義等】

11月20日 全国美術館会議小規模館研究部会第57回会合・
研修会「コレクションと企画展 新潟県立近代美
術館の場合」 小林古径記念美術館 松矢国憲

長岡造形大学「現代芸術論」補講

7月12日 松矢国憲、今井有 当館

教員研修会講師

11月 7日 長岡市三島郡美術教育研究会美術鑑賞研修 当館
宮下東子

新潟県立美術館友の会 第17回アートカフェ

2月10日 池田珠緒 長岡造形大学

【研 修】

6月13日 国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策
研修会（WEB） 松矢国憲

【審査等】

2月17日 上越市美術資料収集委員会
上越市立小林古径記念美術館 松矢国憲

【会 議】

4月26日 新潟県博物館協議会研究発表会及び総会
ホテル日航新潟 桐原浩
5月31日 亀倉雄策賞展会議 日本グラフィックデザイン協会
今井有
6月 4日 第66回北信越博物館協議会/日本博物館協会北
信越支部総会・研究協議
あてま高原リゾート ベルナティオ 桐原浩
6月14日 公開承認施設担当者会議（WEB） 桐原浩、松矢
国憲
11月21日 美術館連絡協議会総会 よみうり大手町ホール
桐原浩
12月 5日 R6年度「地域ゆかりの文化資産を活用した展覧
会支援事業」成果報告会（WEB） 飯島沙耶子

NIIGATAアートリンク2024連絡会議

4月22日 第1回 万代島美術館
宮下東子、今井有、池田珠緒、上雅次
10月30日 第2回 新潟市新津美術館 今井有、池田珠緒
11月18日 三館連携事業打ち合わせ（WEB） 今井有、上雅次
2月20日 第3回 万代島美術館 今井有、池田珠緒

NIIGATAアートリンク2024教育普及部会

7月 9日 第1回 当館 宮下東子、今井有、池田珠緒、上雅次
9月10日 第2回（WEB） 宮下東子、今井有、池田珠緒

【その他】

5月7日-10日 令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援および
被災文化財等救援活動事業 石川県（金沢市、輪
島市、宝珠郡能登町、鹿島郡中能登町） 松矢国憲
7月16日-19日 令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援およ
び被災文化財等救援活動事業
石川県（金沢市、輪島市、宝珠郡能登町） 松矢国憲

NIIGATAアートリンク共催事業

7月29日 「令和6年度 鑑賞と美術館一活用のための研修
会」 当館
宮下東子、今井有、池田珠緒、上雅次、飯島沙耶子

新潟県立万代島美術館

【調 査】

展覧会関連

日付	内容	場所	担当
5月9日	展覧会視察	市立伊丹ミュージアム	濱田
9月16日-17日	展覧会視察	高松市美術館	松本
10月2日	資料調査	皇居三の丸尚蔵館	藤田、飯島、松矢 (近代美術館)
10月17日	展覧会視察	森アーツセンター ギャラリー	伊澤
11月19日	資料調査	新潟県立図書館	松本
11月29日	展覧会視察	福島県立美術館	澤田
12月4日	展覧会視察	巻郷土資料館	松本
12月19日	展覧会視察	寺田倉庫	澤田
2月6日-7日	作品調査	東京都個人宅、広島 県個人コレクション	松本
3月11日	資料調査	砂丘館	松本

作品・作家調査

日付	内容	場所	担当
5月9日	作品調査	新潟市内企業	伊澤 池田 (近代 美術館)
5月10日	作品調査	大阪市内	濱田
5月16日-17日	作家調査	東京都内	濱田
6月17日	作品調査	新潟市個人宅	澤田、 飯島 (近代 美術館)
7月4日	作品調査	新潟大学、県立図書館	澤田
7月10日	作品調査	長岡市立中央図書館 他	澤田
7月10日	作品調査	五泉市個人宅	伊澤、 池田 (近代 美術館)
7月17日	作品調査	新潟市個人宅	濱田
7月24日	作品調査	新潟市立万代高等学校	澤田
8月10日	作家・作品調査	大川美術館	濱田
9月10日	作品調査	神奈川県藤沢市個人宅	藤田、伊澤
9月25日	作品調査	新発田市個人宅	藤田、濱田
10月31日	作品調査	五泉市寺院	伊澤、 池田 (近代 美術館)
1月23日	作家調査	新潟県立図書館	伊澤
1月31日	作家調査	早稲田大学、国立 国会図書館	伊澤

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第23号 2025年3月7日発行
澤田佳三 「萬鐵五郎の宗教熱 —— 青年期の日記に見る参
禪の前夜」

【寄 稿】

澤田佳三 「自分の眼と言葉」『大矢紀日本画展』 図録 (伊
勢丹新潟、9月9日発行)

新聞

- 3月21日 新潟日報「展覧会へようこそ コシノジュンコ
原点から現点」 澤田佳三
- 4月19日 新潟日報「展覧会へようこそ 卒寿記念 鏗金 原
益夫展」 藤田裕彦
- 8月23日 新潟日報「展覧会へようこそ 化石ハンター展～
ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～」
伊澤朋美
- 11月26日 新潟日報「展覧会へようこそ 古代エジプト美術
館展」 濱田真由美
- 12月10日 新潟日報「展覧会へようこそ 雪梁舎工芸 2024・
次代を担う若手作家」 藤田裕彦

学芸ノートB版 (HP内で掲載)

- 4月29日 ①「亀倉雄策が愛したイッタラ作品」 濱田真由美
- 5月22日 ②「開館20周年を振り返る⑦ 所蔵品展「ゴヤ版
画展」『美術の森』」 澤田佳三
- 8月 1日 ③「そこまで難しくはないけれど、理解するのに多
少時間のかかる現代美術の話② 「ポップアー
トって何？あるいは当館所蔵作品のポップアー
ト的遺伝子について」前編」 藤田裕彦
- 8月15日 ④「そこまで難しくはないけれど、理解するのに多
少時間のかかる現代美術の話② 「ポップアー
トって何？あるいは当館所蔵作品のポップアー
ト的遺伝子について」後編」 藤田裕彦
- 12月10日 ⑤「開館20周年を振り返る⑧ 一人の学芸員との
別れ」 澤田佳三
- 1月 1日 ⑥「『ピーナッツ』ボックスと谷川俊太郎「谷川
俊太郎 絵本★百貨展」に寄せて」 藤田裕彦
- 2月 1日 ⑦「岡田竹弘斎を知っていますか？① 新潟県立
近代美術館「皇室の名宝と新潟」に寄せて」
藤田裕彦
- 2月 7日 ⑧「岡田竹弘斎を知っていますか？② 新潟県立
近代美術館「皇室の名宝と新潟」に寄せて」
藤田裕彦
- 2月15日 ⑨「岡田竹弘斎を知っていますか？③ 新潟県立
近代美術館「皇室の名宝と新潟」に寄せて」
藤田裕彦
- 3月12日 ⑩「小さなメダルが語るもの一文芸委員会賞牌」
伊澤朋美

トツときガイド

- 伊澤朋美 企画展「化石ハンター展～ゴビ砂漠の恐竜とヒマ
ラヤの超大型獣～」 7-8月号
- 濱田真由美 企画展「古代エジプト美術館展」 11-12月号
- 松本奈穂子 企画展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」 2025年
1-2月号

【研 修】

- 5月 8日 「大地の芸術祭」に関わる勉強会 県庁 藤田裕彦
5月24日 伝わる広報研修 新潟県トラック協会 濱田真由美
11月29日 プレスリリース・パブリシティ研修 県庁
藤田裕彦
1月24日 広報スキルパワーアップ研修（危機管理広報）
県庁 藤田裕彦

【会 議】

- 4月26日 新潟県博物館協議会研究発表会及び総会
ホテル日航新潟 藤田裕彦、澤田佳三
6月 4日 第66回北信越博物館協議会／日本博物館協会北
信越支部総会・研究協議会
あてま高原リゾート ベルナティオ 藤田裕彦、
澤田佳三
7月 3日 令和6年度全国博物館長会議（第31回）
文部科学省 藤田裕彦
11月21日 美術館連絡協議会総会 よみうり大手町ホール
藤田裕彦

NIIGATA アートリンク2024連絡会議

- 4月22日 第1回 当館 濱田真由美、松本奈穂子
10月30日 第2回 新潟市新津美術館 濱田真由美、松本奈
穂子
11月18日 三館連携事業打ち合わせ（WEB） 濱田真由美、
松本奈穂子
2月20日 第3回 当館 濱田真由美、松本奈穂子

NIIGATA アートリンク2024教育普及部会

- 7月 9日 第1回 近代美術館 濱田真由美、松本奈穂子
9月10日 第2回（WEB） 濱田真由美、松本奈穂子

【審査等】

- 11月 9日 工芸2024審査 財団法人雪梁舎美術館 藤田裕彦
11月16日 工芸2024審査員講評会 財団法人雪梁舎美術館
藤田裕彦
2月 7日 第40回新潟デザイン専門学校卒業制作・修了制
作展 デザイン展審査 りゅーとびあ 藤田裕彦

【その他】**NIIGATA アートリンク共催事業**

- 7月29日 「令和6年度 鑑賞と美術館—活用のための研修会」
近代美術館 濱田真由美、松本奈穂子

美術品の収集

令和6年度の収集作品一覧

分 野	各 領 域 点 数	合計点数
新潟の美術	日本画11、油彩画他4、彫刻1、工芸1、素描5、資料98	120
日本の美術	版画 1	1
世界の美術		0
総合計	日本画11、油彩画他4、版画1、彫刻1、工芸1、素描5、資料98	121

●各作品データの記載順序は、下記の通り。

作者名（和文・欧文）
 生没年（西暦・和暦）
 作品名（和文・欧文）
 制作年（西暦・和暦）
 技法・素材・形状（和文・欧文）
 寸法
 署名・落款・年紀・その他の記載事項
 初出展覧会
 収蔵の年度・経緯
 所蔵品番号

●寸法については、特に但し書きのない限り下記の通りに記載した。

平面作品…画面の縦×横（cm）
 立体作品…高さ×幅×奥行（cm）

新潟の美術



日本画
金子孝信 KANEKO, Takanobu
 1915～1942（大正4～昭和17）

日劇前 *In Front of Nichigeki Theater*
 1936年（昭和11）
 紙本彩色 color on paper
 額装
 120.0×88.0
 右下に朱文方印（孝信）
 1936年第1回白貌展（新潟新聞社本社3階ホール）
 2024年度（令和6）金子隆弘氏 寄贈
 JP562



日本画
金子孝信 KANEKO, Takanobu
 1915～1942（大正4～昭和17）

銀座街頭 *On the Street of Ginza*
 1936年（昭和11）
 絹本彩色 color on silk
 額装
 118.0×87.0
 2024年度（令和6）金子隆弘氏 寄贈
 JP563



日本画
金子孝信 KANEKO, Takanobu
 1915～1942（大正4～昭和17）

子供達 *Children*
 1938年（昭和13）頃
 紙本彩色 color on paper
 額装
 108.0×84.0
 右下に朱文方印（孝信）
 1942年金子孝信遺作展（小林百貨店画廊）
 2024年度（令和6）金子隆弘氏 寄贈
 JP564



日本画
金子孝信 KANEKO, Takanobu
1915~1942 (大正4~昭和17)

子守り *Babysitter*
1938年 (昭和13) 頃
紙本彩色 color on paper
額装
171.4×171.4
二曲一隻屏風を額装
2024年度 (令和6) 金子隆弘氏 寄贈
JP565



日本画
白倉嘉入 (欣一郎) SHIRAKURA, Kanyu
(Kin Ichiro)
1896~1974 (明治29~昭和49)

朝雪 *Morning Snow*
1940年 (昭和15)
絹本彩色 color on silk
軸装
203.5×73.5
左上に落款 (嘉入、朱文方印「白倉二筆」)
1940年紀元二千六百年奉祝美術展
2024年度 (令和6) 購入
JP566



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928~2016 (昭和3~平成28)

お化地蔵 *Spirit of Jizo; guardian deity of children*
1966年 (昭和41)
紙本彩色 color on paper
額装
136.1×151.5
1966年第7回現代日本美術展
2024年度 (令和6) 購入
JP567



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928~2016 (昭和3~平成28)

よんよこ *YON'YOKO*
1966年 (昭和41)
紙本彩色 color on paper
額装
135.7×150.6
1966年第7回現代日本美術展
2024年度 (令和6) 寄贈
JP568



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928~2016 (昭和3~平成28)

カラスウリ *Japanese Snake Gourd*
1970年 (昭和45)
紙本彩色 color on paper
額装
106.4×181.0
1970年第34回新制作展
2024年度 (令和6) 寄贈
JP569



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928~2016 (昭和3~平成28)

野、信濃 *Field of Shinano*
1971年 (昭和46)
紙本彩色 color on paper
額装
136.6×151.7
1971年第15回シエル美術賞展
2024年度 (令和6) 寄贈
JP570



日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928～2016（昭和3～平成28）

祭之詩 *Poetry of the Festival: Snake Girl in the Freak Show Booth*
1976年（昭和51）
紙本彩色 color on paper
額装
161.5×255.0
1976年第3回創画展
2024年度（令和6）寄贈
JP571



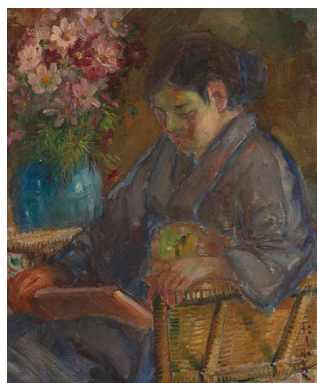
日本画
橋本龍美 HASHIMOTO, Ryumi
1928～2016（昭和3～平成28）

望郷六図 *Six Scenes of Nostalgia*
1998年（平成10）
紙本彩色 color on paper
六曲一隻屏風
200.0×370.0
1998年第25回創画展
2024年度（令和6）寄贈
JP572



油彩画ほか
西垣維新 NISHIGAKI, Ishin
1869～1944（明治2～昭和19）

愛国機 *Aikoku-go-ki (patriotic plane)*
1932～1939年（昭和7～14）頃
キャンヴァス、油絵具 canvas, oil color
額装
100.0×66.0
2024年度（令和6）藤村修氏 寄贈
OP626



油彩画ほか
西垣維新 NISHIGAKI, Ishin
1869～1944（明治2～昭和19）

題不詳 *Title Unknown*
制作年不詳
キャンヴァス、油絵具 canvas, oil color
額装
61.0×50.0
2024年度（令和6）藤村修氏 寄贈
OP627



油彩画ほか
平澤熊一 HIRASAWA, Kumaichi
1908～1989（明治41～平成元）

青柳文吉の肖像 *Portrait of Aoyagi Bunkichi*
1949年（昭和24）
板、油絵具 board, oil color
額装
41.0×31.7
左下にサイン「kuma.」
2024年度（令和6）青柳士郎氏 寄贈
OP628



油彩画ほか
平澤熊一 HIRASAWA, Kumaichi
1908～1989（明治41～平成元）

青柳ハマの肖像 *Portrait of Aoyagi Hama*
1949年（昭和24）
板、油絵具 board, oil color
額装
41.0×31.5
右下にサイン「kuma.」
2024年度（令和6）青柳士郎氏 寄贈
OP629



彫刻
山内倉蔵 YAMAUCHI, Kurazo
1893~1954 (明治23~昭和29)

秋 *Autumn*
1931年 (昭和6)
木彫 wood carving
額装
41.0×31.7
台座裏面「昭和六年秋 倉蔵作」
1931年第12回帝国美術展覧会 (東京府美術館)
2024年度 (令和6) 増井直子氏 寄贈
SC86



工芸
武石弘三郎 TAKEISHI, Kozaburo
1877~1963 (明治10~昭和38)

花器 *Flower Vase*
1931年 (昭和6)
ブロンズ bronze
高さ13.8、径13.0
背面下「弘 1931」
2024年度 (令和6) 関山一郎氏 寄贈
CR216



素描
金子孝信 KANEKO, Takanobu
1915~1942 (大正4~昭和17)

子供達 大下絵 *Children ; Underdrawing*
1938年 (昭和13) 頃
紙、鉛筆 paper, pencil
額装
103.4×76.6
裏面に《天之安河原》素描
2024年度 (令和6) 金子隆弘氏 寄贈
DR782



素描
金子孝信 KANEKO, Takanobu
1915~1942 (大正4~昭和17)

子守り 大下絵 *Babysitter ; Underdrawing*
1938年 (昭和13) 頃
紙、鉛筆 paper, pencil
額装
179.2×180.1
2024年度 (令和6) 金子隆弘氏 寄贈
DR783



素描
金子孝信 KANEKO, Takanobu
1915~1942 (昭和4~昭和17)

子守り 下絵 *Babysitter ; Sketch*
1938年 (昭和13) 頃
紙、鉛筆、水彩 paper, pencil, water-color
額装
62.0×46.8
2024年度 (令和6) 金子隆弘氏 寄贈
DR784



素描
金子孝信 KANEKO, Takanobu
1915~1942 (大正4~昭和17)

子守り 下絵 *Babysitter ; Sketch*
1938年 (昭和13) 頃
紙、鉛筆 paper, pencil
まくり
79.0×69.0
2024年度 (令和6) 金子隆弘氏 寄贈
DR785



素描
佐藤哲三 SATO, Tetsuzo
1910～1954（明治43～昭和29）

日没 *Sunset*
1950年（昭和25）
紙、水彩、木炭、鉛筆 paper, water-color, conte, pencil
額装
39.5×54.6
左下に「1950.4.23 T. Sato」
2024年度（令和6）鶴巻悦子氏 寄贈
DR786

資料
武石弘三郎 TAKEISHI, Kozaburo
1877～1963（明治10～昭和38）

武石弘三郎関連絵葉書・写真資料
Postcards and photographs related to Takeishi Kozaburo
明治期～1992年（平成4）
絵葉書、モノクロ・カラープリント、他
postcard, monochrome print, color print
2024年度（令和6）関山一郎氏 寄贈
MA394（1-34）

資料
安田稔 YASUDA, Minoru
1881～1965（明治14～昭和40）

安田稔関連資料 *Materials related to Yasuda Minoru*
1910～1954年（明治43～昭和29）
写真、絵葉書、紙資料、ブロンズ monochrome print, postcard, paper material, bronze
2024年度（令和6）鈴木龍一氏寄贈
MA395（1-64）

日本の美術



版画
山口啓介 YAMAGUCHI Keisuke
1962～（昭和37～）

孢子を蒔く船 *Ship Sowing Spores*
1990年（平成2）
エッチング etching
紙、インク paper, ink
額装
120.0×234.0
右下にサイン、ed10/10
2024年度（令和6）K氏 寄贈
PR816

美術品の修復

分野	作家名	作 品 名	制作年	修復内容	修 復 者	修復期間
日本画	岩田正巳	手向の花	1924年	再表装、一部剥落止め・補彩	神尾萬正堂（新潟市）	令和6年12月 6日～ 令和7年 2月12日
素描	田畑あきら子	桃山	1966年頃	軸装からまくり（本紙洗い、裏打ち）	神尾萬正堂（新潟市）	令和6年12月 6日～ 令和7年 2月12日
				額装新調	有限会社はにわ（長岡市）	令和7年 3月 3日～ 令和7年 3月31日
素描	田畑あきら子	題不詳（DR772）	1966年頃	額装新調	有限会社はにわ（長岡市）	令和7年 3月 3日～ 令和7年 3月31日
素描	田畑あきら子	題不詳（DR773）	1966年頃	額装新調	有限会社はにわ（長岡市）	令和7年 3月 3日～ 令和7年 3月31日
素描	田畑あきら子	ノート（26点、DR43-2,3,8,9,10,11,13,14,15,16,18,19,26,28,30,31,32,33,42,45,46,47,49,50,51,52）	不明	マット装	有限会社はにわ（長岡市）	令和7年 3月 3日～ 令和7年 3月31日

美術品の燻蒸

令和6年度、作品の燻蒸作業は行わなかった。

美術品の貸出

令和6年度 作品貸出（近代美術館所管作品）

展 覧 会 名	貸出先	会 期	作 家 名	作 品 名
生誕130年記念 北川民次展 —メキシコから日本へ—	名古屋市美術館 世田谷美術館 郡山市立美術館	令和6年 6月29日～9月 8日 令和6年 9月21日～11月17日 令和7年 1月25日～3月23日	北川民次	大地
カナレットとヴェネツィアの輝き	静岡県立美術館 SONPO美術館 京都文化博物館	令和6年 7月27日～9月29日 令和6年10月12日～12月28日 令和7年 2月15日～4月13日	ヤーコボ・デ・バルバリ ヤーコボ・デ・バルバリ	ヴェネツィア鳥瞰図（第3版） ヴェネツィア鳥瞰図（複製*第1版に基づく）
オタケ・インバクト —越堂・竹坡・国観、尾竹三兄弟の日 本画アナキズム—	泉屋博古館東京	令和6年10月19日～12月15日	尾竹越堂 尾竹竹坡 尾竹竹坡 尾竹国観 尾竹竹坡ほか 尾竹竹坡 尾竹竹坡 尾竹竹坡	徒渡り 梧桐 大地円 巴 岩図・蘭図・梅図 画帳6 画帳8 画帳12
没後100年記念 中村彝展 —アトリエから世界へ—	茨城県近代美術館	令和6年11月10日～令和7年 1月13日	中村彝 中村彝 中村彝	洲崎義郎の肖像 中村彝書簡（大正5年3月9日） 中村彝書簡（大正7年3月11日）
日本が見たドニ ドニの見た日本	久留米市美術館	令和6年11月 2日～令和7年 1月13日	エミール・ベルナル エミール・ベルナル エミール・ベルナル エミール・ベルナル モーリス・ドニ フェリックス・ヴァロットン ポール＝エリー・ランソン モーリス・ドニ エドゥアール・ヴエイヤール ピエール・ボナール 高村真夫 土田麦僊 矢部友衛 モーリス・ドニ 安宅安五郎 土田麦僊 黒田重太郎 — モーリス・ドニ モーリス・ドニ モーリス・ドニ モーリス・ドニ — —	サン・ブリアクの収穫 青い肩かけのブルターニュ婦人 レゼビアン—サン・ブリアクの小湾 アヴァン川の大きな赤い帆 アムール（愛） 怠惰 悲しみ、あるいは嫉妬（『ケンタウロス』所収） 夕映えの中のマルト（マルト・サンボリス） 風景と室内 パリ生活の諸相 春日野 島の女（下絵） 習作 ベンガル虎 バッカス祭 姉弟 近熊次郎宛はがき3枚 関真次郎宛はがき2枚 近熊次郎宛はがき1枚 Le japon artistique 3冊 Théories, 1890-1910: Du symbolisme et de Gauguin vers un nouvel ordre classique Nouvelles théories sur l'art moderne, sur l'art sacré, 1914-1921 A. Maillol Henri Lerolle et ses amis, suivi de quelques lettres d'amis 『ステューディオ』誌 フェリックス・ヴァロットン:《ピュヴィ・ド・シャヴァンヌ》 La revue blanche, nos. 41, 51, 57, 68
奇想の版画	郡山市立美術館	令和6年11月 9日～12月27日	アルブレヒト・デューラー アルブレヒト・デューラー ジャック・カロ ジャック・カロ ヴェンツェル・ホラー	ウルリッヒ・ファルンビューラーの肖像 第6葉 7つの同じ網目文様のある組紐文 狩猟風景 聖アントニウスの誘惑 デューラー 26歳の自画像

新潟県立近代美術館

コレクション展観覧者数

期 間 (企画展名)		第1期			第2期		第3期		第4期			合 計 (年間287日)
		R6 4/12～6/23 (64日間)			R6 6/28～8/18 (46日間)		R6 8/27～12/15 (96日間)		R6 12/24～3/30 (81日間)			
		4/12～ 4/16 4日間 (コレクション 展のみ)	4/17～ 6/9 48日間 (ジブリパーク とジブリ展)	6/11～ 6/23 12日間 (コレクション 展のみ)	6/28 1日間 (コレクション 展のみ)	6/29～ 8/18 45日間 (山下清展)	8/27～ 10/20 48日間 (日本が見 たドニ展)	10/22～ 12/15 48日間 (コレクション 展のみ)	12/24～ 2/6 34日間 (コレクション 展のみ)	2/7～ 3/16 35日間 (皇室の名宝 と新潟展)	3/18～ 3/30 12日間 (コレクション 展のみ)	
個 人	一 般	42	680	170	15	227	252	473	301	93	176	2,429
	大学・高校生	1	43	5	3	26	27	49	27	22	28	231
人	小 計	43	723	175	18	253	279	522	328	115	204	2,660
		941			271		801		647			
団 体	一 般	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	24
	大学・高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体	小 計	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	24
		0			0		24		0			
招 待		5	406	23	0	767	456	50	18	685	5	2,415
無 料		18	411	43	6	905	326	254	53	210	25	2,251
免 除		10	1,009	49	0	670	280	71	39	358	15	2,501
企画展チケット		0	0	0	0	10,703	1,651	0	0	4,427	0	16,781
合 計		76	2,549	290	24	13,298	2,992	921	438	5,795	249	26,632
		2,915			13,322		3,913		6,482			
コレクション展のみ 合 計(再掲)		76	2,549	290	24	2,595	1,341	921	438	1,368	249	9,851
		2,915			2,619		2,262		2,055			

*中学生以下は無料を含む。
*無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名		ジブリパークとジブリ展 4/17～6/9 (48日間)	生誕100年 山下清展 百年目の大回想 6/29～8/18 (45日間)	日本が見たドニ ドニの見た日本 8/27～10/20 (48日間)	皇室の名宝と新潟 —皇居三の丸尚蔵館 収蔵品でたどる 日本の技と美 2/7～3/16 (35日間)	合 計
期 間						
区 分						
個 人	一 般	59,508	20,969	2,023	6,072	88,572
	大学・高校生	4,529	582	124	154	5,389
	小 計	64,037	21,551	2,147	6,226	93,961
団 体	一 般	0	111	79	77	267
	大学・高校生	0	98	8	8	114
	小 計	0	209	87	85	381
前 売		18,139	5,169			23,308
招 待		2,976	1,889	661	1,129	6,655
無 料		36,735	2,414	303	289	39,741
免 除		4,239	2,033	354	527	7,153
合 計		126,126	33,265	3,552	8,256	171,199

企 画 展 名	ジブリパークとジブリ展	生誕100年 山下清展 百年目の大回想	日本が見たドニ ドニの見た日本	皇室の名宝と新潟 —皇居三の丸尚蔵館収蔵品 でたどる日本の技と美	合 計
図 録 販 売 数(冊)	1,727	1,404	250	345	3,726
音声ガイド使用数(台)		2,647		1,200	3,847

共催展

展 覧 会 名	会 期	日 数	観覧者数
第78回 新潟県美術展覧会「長岡展」	6/19～6/23	5	3,583
第27回 友の会作品展	10/16～10/20	5	176
第34回 MOA美術館長岡児童作品展	11/16～11/17	2	576
第27回 長岡市中学校美術部作品展	11/23～11/24	2	444
第55回 新潟県ジュニア美術展覧会「長岡展」	12/11～12/15	5	1,278
2024年度 長岡造形大学大学院 造形研究科 博士(後期)課程修了作品展	2/8～2/11	4	370
計		23	6,427

総観覧者数

	コレクション展	企 画 展	共 催 展	合 計
観覧者数	9,851	171,199	6,427	187,477

※コレクション展および企画展どちらも観覧した者を加えたコレクション展観覧者総数は26,632名

新潟県立万代島美術館

企画展観覧者数

展覧会名		JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜と ヒマラヤの超大型獣～	古代エジプト美術館展	谷川俊太郎 絵本★百貨展	合 計
期 間		4/1～5/26 (51日間)	6/25～9/23 (84日間)	10/11～12/15 (62日間)	1/18～3/31 (68日間)	
個人	一 般	6,050	9,488	21,413	9,522	46,473
	大学・高校生	378	483	1,494	801	3,156
	小 計	6,428	9,971	22,907	10,323	49,629
団体	一 般	34	31	225	38	328
	大学・高校生	215	2	142	14	373
	小 計	249	33	367	52	701
前売（一般のみ）		690	1,112	5,029	2,428	9,259
招 待		1,074	1,676	1,668	1,486	5,904
無 料		419	8,022	3,239	4,312	15,992
免 除		591	957	2,223	907	4,678
合 計		9,451	21,771	35,433	19,508	86,163

*中学生以下は無料に含む

新潟県立近代美術館

講堂・ギャラリーの貸出

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき27,600円、ギャラリーは1日につき18,000円、講座室は1日につき4,300円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	日数	行 事 名	内 容	利用者人数
4/13	半日間	スプリングコンサート	ピアノ発表会	48
4/14	1日間	翼の会発表会	ピアノ発表会	90
8/12	1日間	佐々木音楽教室 ヴァイオリン・ピアノ発表会	ヴァイオリン・ピアノ発表会	85
8/27	半日間	製菓衛生師補習講習会	食品衛生法に基づく製菓衛生師の補習講習	75
9/29	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	115
10/20	半日間	佐藤ピアノ・エレクトーン教室 渡辺ピアノ教室合同発表会	ピアノ発表会	50
10/27	1日間	新潟県競書大会	表彰式	205
11/3	半日間	piacere の会 petit concert	ピアノ発表会	150
11/4	半日間	吉澤ピアノ教室発表会	ピアノ演奏	70
12/1	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	50
12/7	1日間	サクセスサロンおさらい会	サクセスの演奏（発表会）	30
12/8	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	100
12/8	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	75
12/15	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	53
2/23	1日間	新潟県書き初め大会・新潟県硬筆書き初め大会	表彰式	300
3/23	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	50
3/30	半日間	おさらい会	ピアノ発表会	50

以上 17件（延べ日数…12日）

合計人数 1,596

ギャラリー使用状況

期 間	日数	行 事 名	内 容	利用者人数
9/11～9/16	6日間	西陣美術織 伊藤若冲展	江戸中期の画家、伊藤若冲の代表作を西陣織で再現した織絵	734
10/26～10/27	2日間	新潟県競書大会	優秀作品の展示	2,391
2/22～2/24	3日間	新潟県書き初め大会・新潟県硬筆書き初め大会	優秀作品の展示	4,416

以上 3件（延べ日数…11日）

合計人数 7,541

講座室使用状況

期 間	日数	展 示 会 名	内 容	利用者人数
6/28	半日	音声ガイドスタッフ 面接・研修	山下清展音声ガイドスタッフ研修	6
9/14	1日間	研修	社内研修会	9
10/31	半日	㈱全国ゆうゆう塾協会 脳トレピアノ®講師養成講座	無料説明会	2
2/6	半日	音声ガイドスタッフ 面接・研修	皇室の名宝展音声ガイドスタッフ研修	7

以上 4件（延べ日数…2.5日）

合計人数 24

新潟県立近代美術館

企画展

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
ジブリパークとジブリ展	4月17日～ 6月 9日	126,126	876	0.69%
山下清展	6月29日～ 8月18日	33,265	453	1.36%
日本が見たドニ ドニの見た日本	8月27日～10月20日	3,552	76	2.14%
皇室の名宝と新潟	2月 7日～ 3月16日	8,256	136	1.65%
合 計		171,199	1,541	0.90%

I 企画展覧会の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
ジブリパークとジブリ展	76.8%	13.5%	4.4%	1.9%	3.4%
山下清展	87.2%	10.2%	0.4%	0.7%	1.5%
日本が見たドニ ドニの見た日本	73.7%	23.7%	1.3%	0.0%	1.3%
皇室の名宝と新潟	82.4%	16.2%	0.7%	0.7%	0.0%
平 均	80.0%	15.9%	1.7%	0.8%	1.6%

II 来館のきっかけ（複数回答可）

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	インターネット	友の会だより	知 人	その他	無回答
ジブリパークとジブリ展	2.4%	43.8%	1.0%	38.6%	1.6%	15.2%	0.5%	16.3%	5.6%	5.3%
山下清展	25.4%	24.5%	2.0%	24.7%	3.3%	13.1%	1.8%	20.1%	14.3%	3.1%
日本が見たドニ ドニの見た日本	11.8%	1.3%	0.0%	32.9%	2.6%	31.6%	1.3%	14.5%	15.8%	6.6%
皇室の名宝と新潟	18.4%	7.4%	0.0%	46.3%	2.9%	36.0%	3.0%	12.5%	2.2%	0.7%
平 均	14.5%	19.3%	0.8%	35.6%	2.6%	24.0%	1.7%	15.9%	9.5%	3.9%

III 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
ジブリパークとジブリ展	57.2%	27.2%	5.5%	3.3%	6.8%
山下清展	33.3%	35.8%	16.5%	11.5%	2.9%
日本が見たドニ ドニの見た日本	32.9%	21.1%	19.7%	25.0%	1.3%
皇室の名宝と新潟	7.4%	27.2%	27.2%	37.5%	0.7%
平 均	32.7%	27.8%	17.2%	19.3%	2.9%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	新潟市	県 内	県 外	無回答
ジブリパークとジブリ展	20.6%	26.7%	34.4%	9.2%	9.1%
山下清展	26.3%	25.3%	32.2%	12.4%	3.8%
日本が見たドニ ドニの見た日本	22.4%	14.5%	28.9%	31.6%	2.6%
皇室の名宝と新潟	33.8%	25.0%	36.0%	3.0%	2.2%
平 均	25.8%	22.9%	32.9%	14.1%	4.4%

(年 代)

展覧会名	小・中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
ジブリパークとジブリ展	40.7%	5.9%	2.5%	8.5%	9.4%	7.2%	4.8%	5.3%	1.5%	14.2%
山下清展	22.7%	3.8%	2.0%	4.6%	5.1%	8.1%	13.0%	16.1%	15.5%	9.1%
日本が見たドニ ドニの見た日本	7.9%	6.6%	1.3%	2.6%	13.2%	15.8%	9.2%	23.7%	10.5%	9.2%
皇室の名宝と新潟	2.2%	1.5%	0.0%	5.9%	14.0%	15.4%	12.5%	25.7%	16.9%	5.9%
平 均	18.4%	4.5%	1.5%	5.4%	10.4%	11.6%	9.9%	17.7%	11.1%	9.6%

コレクション展

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
第1期	4月12日～ 6月23日	2,915	77	2.64%
第2期	6月28日～ 8月18日	13,322	104	0.78%
第3期	8月27日～12月15日	3,913	115	2.94%
第4期	12月24日～ 3月30日	6,482	130	2.01%
合 計		26,632	426	1.60%

I コレクション展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
第1期	67.5%	28.6%	3.9%	0.0%	0.0%
第2期	73.1%	23.1%	0.0%	0.0%	3.8%
第3期	87.0%	10.4%	0.9%	0.0%	1.7%
第4期	71.5%	23.9%	0.0%	0.0%	4.6%
平 均	74.8%	21.5%	1.2%	0.0%	2.5%

II 来館のきっかけ（複数回答可）

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑 誌	HP,インターネット	友の会だより	知 人	その他	無回答
第1期	6.5%	7.8%	0.0%	22.1%	2.6%	52.0%	1.3%	6.5%	31.2%	3.9%
第2期	26.0%	14.4%	1.0%	36.5%	2.9%	15.3%	0.0%	11.5%	13.5%	3.8%
第3期	4.3%	3.5%	0.9%	23.5%	1.7%	31.3%	4.3%	8.7%	33.0%	5.2%
第4期	16.1%	6.9%	0.8%	21.5%	3.1%	40.0%	2.3%	7.7%	18.5%	5.4%
平 均	13.2%	8.2%	0.7%	25.9%	2.6%	34.7%	2.0%	8.6%	24.1%	4.6%

III 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
第1期	35.1%	23.3%	11.7%	29.9%	0.0%
第2期	24.0%	24.0%	19.3%	27.9%	4.8%
第3期	41.7%	20.9%	13.9%	22.6%	0.9%
第4期	15.4%	21.6%	16.9%	44.6%	1.5%
平 均	29.1%	22.5%	15.5%	31.3%	1.8%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	新潟市	県 内	県 外	無回答
第1期	36.3%	24.7%	20.8%	16.9%	1.3%
第2期	20.2%	31.7%	35.6%	7.7%	4.8%
第3期	27.0%	17.4%	21.7%	29.6%	4.3%
第4期	26.9%	23.9%	36.9%	10.0%	2.3%
平 均	27.6%	24.4%	28.8%	16.1%	3.2%

(年 代)

展覧会名	小・中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
第1期	3.9%	7.8%	0.0%	19.4%	14.3%	9.1%	14.3%	13.0%	14.3%	3.9%
第2期	11.5%	1.0%	1.0%	7.7%	4.8%	8.6%	15.4%	28.8%	10.6%	10.6%
第3期	15.7%	15.7%	2.6%	8.7%	4.3%	4.3%	12.2%	21.8%	10.4%	4.3%
第4期	2.3%	5.4%	0.8%	7.7%	11.5%	10.0%	13.8%	26.2%	13.1%	9.2%
平 均	8.4%	7.5%	1.1%	10.9%	8.7%	8.0%	13.9%	22.5%	12.1%	7.0%

新潟県立万代島美術館

※複数回答が可能な項目を含め、アンケート回収数に対する比率とした。

展覧会名	会 期	入館者数	アンケート 回収数	アンケート 回収率	
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	(2月22日)4月1日～5月26日	9,396	139	1.48%	※全体会期のうち、令和6年度の数を抽出
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	6月25日～9月23日	21,771	571	2.62%	
古代エジプト美術館展	10月11日～12月15日	35,433	912	2.57%	
谷川俊太郎 絵本★百貨展	令和7年1月18日～3月31日(4月6日)	19,508	473	2.42%	※全体会期のうち、令和6年度の数を抽出
合 計		86,108	2,095	2.43%	

展覧会の感想

展 覧 会 名	良かった	まあまあ 良かった	やや不満	不満	無回答
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	91.5%	7.3%	0.0%	0.7%	0.5%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	77.2%	16.0%	1.9%	1.4%	3.5%
古代エジプト美術館展	74.2%	18.1%	3.5%	1.1%	3.1%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	83.5%	10.2%	2.1%	0.6%	3.6%
平 均	81.6%	12.9%	1.9%	1.0%	2.7%

作品や作家についての解説

展 覧 会 名	適度な 量である	量が少ない	量が多い	無回答
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	79.1%	10.1%	2.2%	8.6%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	73.4%	11.2%	8.1%	7.3%
古代エジプト美術館展	77.2%	12.1%	4.4%	6.4%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	80.8%	9.9%	1.9%	7.4%
平 均	77.6%	10.8%	4.2%	7.4%

展 覧 会 名	わかり やすい	難しい	簡単すぎる	無回答
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	78.4%	5.1%	1.4%	15.1%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	67.6%	18.1%	2.6%	11.7%
古代エジプト美術館展	62.7%	19.5%	1.4%	16.4%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	79.7%	4.7%	0.8%	14.8%
平 均	72.1%	11.9%	1.6%	14.5%

展覧会についてどのようにお知りになりましたか

展 覧 会 名	ポスター・ チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・ フリーペーパー	知人	友の会便り	web	その他	無回答
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	56.1%	9.4%	45.3%	3.6%	5.8%	12.9%	1.4%	11.5%	7.2%	1.4%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	55.7%	4.0%	19.6%	1.9%	2.5%	13.7%	1.4%	14.5%	8.8%	2.8%
古代エジプト美術館展	50.7%	8.0%	26.3%	1.9%	2.7%	13.7%	0.7%	18.8%	5.5%	2.4%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	41.0%	7.0%	30.4%	0.8%	3.4%	12.1%	1.3%	19.9%	9.9%	3.6%
平 均	50.9%	7.1%	30.4%	2.1%	3.6%	13.1%	1.2%	16.2%	7.8%	2.6%

お客様ご自身について

(1) 年代

展覧会名	中学生以下	高校生	大学生	左記以外の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	(無回答)
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	7.9%	2.2%	1.4%	0.0%	7.2%	7.9%	10.8%	25.2%	15.1%	15.1%	7.2%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	44.5%	2.1%	4.0%	1.7%	8.1%	9.8%	9.3%	4.6%	3.5%	2.4%	10.0%
古代エジプト美術館展	18.4%	3.1%	3.1%	1.0%	11.8%	10.7%	9.5%	14.4%	12.4%	5.8%	9.8%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	30.4%	1.5%	4.4%	1.3%	7.6%	6.6%	7.8%	10.1%	14.2%	8.7%	7.4%
平均	25.3%	2.2%	3.2%	1.0%	8.7%	8.8%	9.4%	13.6%	11.3%	8.0%	8.6%

(2) お住まい

展覧会名	新潟市内	新潟市以外 の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・海外	(無回答)
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	43.1%	12.2%	2.2%	16.5%	2.2%	11.6%	12.2%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	42.0%	8.4%	1.2%	13.0%	3.0%	18.4%	14.0%
古代エジプト美術館展	40.8%	11.6%	0.8%	17.5%	5.7%	10.0%	13.6%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	41.9%	10.4%	2.1%	16.2%	2.5%	14.2%	12.7%
平均	42.0%	10.7%	1.6%	15.8%	3.4%	13.6%	13.1%

(3) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか

展覧会名	自家用車	徒歩・ 自転車	バス	タクシー	電車	貸切バス	その他	(無回答)
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	61.2%	13.7%	18.0%	4.3%	12.9%	0.0%	0.7%	1.4%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	71.1%	8.8%	14.9%	2.1%	7.0%	0.0%	0.9%	3.2%
古代エジプト美術館展	70.9%	10.7%	14.0%	1.1%	8.1%	0.0%	1.5%	1.4%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	64.5%	12.3%	14.0%	1.9%	9.5%	0.6%	4.7%	2.5%
平均	66.9%	11.4%	15.2%	2.4%	9.4%	0.2%	2.0%	2.1%

(4) 万代島美術館に来たのは何回目ですか

展覧会名	初めて	2～4回目	5回以上	回答なし
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	18.0%	33.1%	46.8%	2.1%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	41.3%	35.2%	19.8%	3.7%
古代エジプト美術館展	29.8%	31.9%	35.8%	2.5%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	25.8%	34.0%	37.2%	3.0%
平均	28.7%	33.6%	34.9%	2.8%

(5) 当館に限らず年に何回展覧会に来ますか

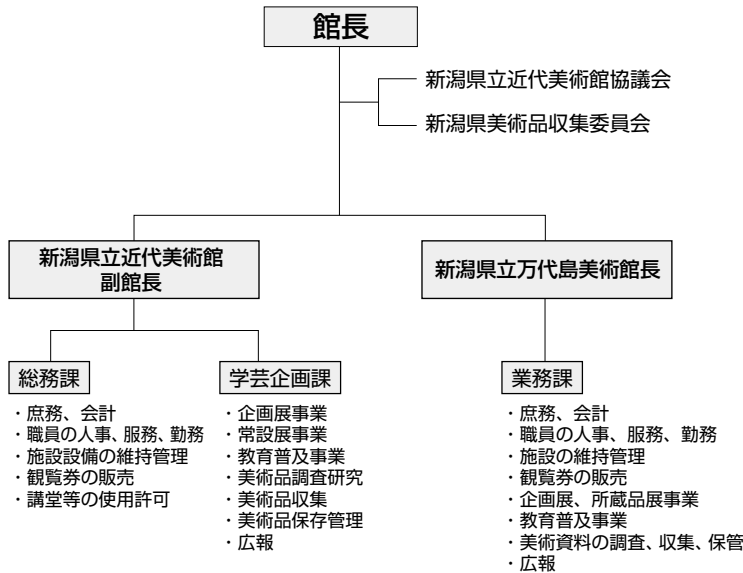
展覧会名	1回以下	2～4回目	5回以上	回答なし
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	12.9%	57.6%	27.3%	2.2%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	39.6%	47.3%	10.3%	2.8%
古代エジプト美術館展	26.7%	52.3%	18.4%	2.6%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	22.0%	55.0%	20.7%	2.3%
平均	25.3%	53.1%	19.2%	2.5%

(6) どんなジャンルの展覧会を望みますか

展覧会名	日本画	洋画	西洋洋画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代美術	県人作家	アジアの 美術	絵本	アニメーション マンガ	その他	無回答
JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点	41.0%	29.5%	41.0%	17.3%	11.5%	25.2%	14.4%	34.5%	37.4%	25.9%	4.3%	10.1%	35.3%	31.7%	4.3%	3.6%
化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～	19.4%	12.3%	21.0%	14.4%	9.5%	15.9%	6.3%	21.0%	15.8%	13.3%	3.7%	8.2%	29.2%	47.3%	17.7%	5.3%
古代エジプト美術館展	32.2%	22.7%	41.4%	25.5%	13.3%	21.8%	8.9%	17.3%	19.0%	15.7%	4.9%	15.0%	26.9%	31.8%	12.8%	4.9%
谷川俊太郎 絵本★百貨展	29.8%	24.1%	30.7%	15.9%	16.7%	22.6%	10.6%	27.1%	29.6%	22.0%	7.8%	7.4%	59.0%	40.4%	7.8%	4.0%
平均	30.6%	22.2%	33.5%	18.3%	12.8%	21.4%	10.1%	25.0%	25.5%	19.2%	5.2%	10.2%	37.6%	37.8%	10.7%	4.5%

組織及び業務

- 新潟県立近代美術館の業務（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）
- （設置）第1条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立近代美術館（以下「美術館」という。）を長岡市千秋3丁目に設置する。
- 2 前項に規定する美術館には、知事の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。
- （事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。
- （1）美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
 - （2）美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等に関すること。
 - （3）美術品等の調査及び研究に関すること。
 - （4）美術品等に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
 - （5）前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職員

新潟県立近代美術館

	館長	桐原 浩
	副館長	藤井 哲夫
●総務課	総務課長	中村 広
	主査	鳥部 麻湖
	主任	白井 祐花
	会計年度任用職員	太田 昌子
	会計年度任用職員	藤井 幸子
●学芸企画課	学芸企画課長	松矢 国憲
	専門学芸員	宮下 東子
	専門学芸員	平石 昌子
	専門学芸員	今井 有
	専門学芸員	池田 珠緒
	副参事	上 雅次
	主任学芸員	長嶋 圭哉
	主任学芸員	飯島沙耶子
	（兼務）専門学芸員	澤田 佳三
	（兼務）専門学芸員	濱田真由美
	（兼務）主任学芸員	伊澤 朋美
	（兼務）主任学芸員	松本奈穂子
	会計年度任用職員	入沢さおり
	会計年度任用職員	小黒 麻里
	会計年度任用職員	南 景子
	会計年度任用職員	磯部 玲子
	会計年度任用職員	丸山 典子
	会計年度任用職員	金内 貴子
	会計年度任用職員	千野多米子

新潟県立万代島美術館

	館長	藤田 裕彦
●業務課	業務課長	藤田 裕彦
	課長代理	福田 慶子
	専門学芸員	澤田 佳三
	専門学芸員	濱田真由美
	主査	井川由紀子
	主任学芸員	伊澤 朋美
	主任学芸員	松本奈穂子
	会計年度任用職員	國兼 隆子
	会計年度任用職員	田村真珠美
	会計年度任用職員	尾崎 幸恵
	会計年度任用職員	堀川 有子（～R6.5.26）
	会計年度任用職員	中嶋 美幸
	会計年度任用職員	古澤 碧
	会計年度任用職員	齋藤 純子
	会計年度任用職員	（R6.6.18～R6.9.30）
	会計年度任用職員	桐生 陽子（R6.10.1～）
	会計年度任用職員	藤崎 直子

新潟県立近代美術館

【施設概要】

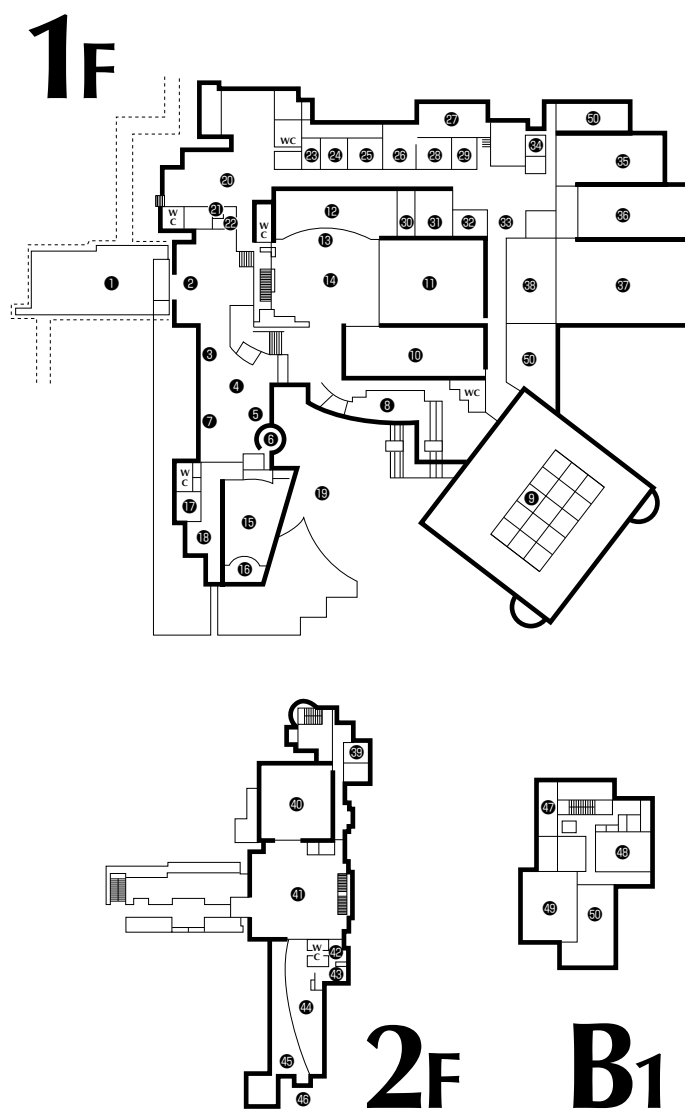
〈名 称〉	新潟県立近代美術館
〈所 在 地〉	新潟県長岡市千秋3丁目278-14
〈設 計〉	(株)日本設計
造園設計	(株)日本設計・(株)日本造園
設計期間	1990年9月～1991年2月
〈監 理〉	新潟県土木部都市整備局営繕課 (株)日本設計
〈施 工〉	大成・吉原・小杉特定共同企業体
電気工事	六興・大原・長岡特定共同企業体
空調工事	三建・日立・越後特定共同企業体
衛生工事	ナカムラ・北陸特定共同企業体
ガス工事	北陸瓦斯(株)
昇降機工事	日本オーチスエレベーター
備品工事	(株)高島屋
植栽工事	北陸緑化、ニューガーデン、 長生園、宮川苑、吉茂造園、 鈴木造園、新潟造園土木、 長岡ガーデン、川崎農園、 グリーン産業、松本造園
工事期間	1991年7月29日～1993年5月31日
〈総工事費〉	9,859,851千円
支出内訳	
建築工事費	7,442,809千円
造園工事費	1,216,187千円
電気工事費	79,654千円
展示工事費	1,121,201千円
〈改修施工〉	
建築工事	(株)大石組
電気工事	大原電業(株)
空調工事	(株)長岡総合設備
〈改修施工工事費〉	928,909千円
改修期間	2018年7月2日～2019年11月30日
〈主体構造〉	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、 プレストレストコンクリート梁
基礎・地業	PHC抗
〈規 模〉	地下1階、地上2階、塔屋1階
	軒高 13.0m
	最高高 19.250m
	主なスパン 3.9m
	階高 5.7m
〈面 積〉	敷地面積 33,800㎡
	建築面積 9,133㎡
	延床面積 10,723㎡
	地下—機械室・電気室 716㎡
	1階—展示室・収蔵庫・講堂・ 事務室・他 8,873㎡
	2階—レストラン・県民ギャラリー 1,064㎡
	屋階—ELV機械室
	地域地区 市街化調整区域
〈面積配分〉	
導入部門	1,356㎡ (エントランスホール636㎡、ロビー 576㎡、ほか)
展示部門	2,674㎡ (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、 企画展示室1,332㎡ ほか)
教育普及部門	384㎡ (講堂234㎡、講座室53㎡、ハイビジョン67㎡、ほか)
収蔵部門	1,746㎡ (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
調査研究部門	272㎡ (研究室83㎡、資料保管室61㎡、書庫128㎡)
管理事務部門	416㎡ (事務室133㎡、会議室70㎡、館長室55㎡、ほか)
設備・機械	1,017㎡ (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)
他共用部門	2,858㎡ (廊下、階段、ほか)

〈展示室の環境〉	
室の明るさ	70～150lux+局部照明 (メンテナンス時：200lux)
照明方法	全体照明(ダウンライト・間接) スポットライトによる局部照明
光源の種類	LED
温度・湿度	夏季／23℃・55% 冬季／22℃・55%
〈主な設備〉	
空調方法	個別式(単一ダクト方式・FCU方式) 熱源：ガス・電気 熱源機器／ガス冷温水発生機2台 冷房能力／237.5USRT 暖房能力／52,300kCal/h 冷却塔／2,810,000kCal/h 空調機器／全空気方式 空冷ヒート ポンプエアコンファン
給排水衛生	給 水／上水直結 給 湯／中央式(ガス)、 個別式(電気)
給排水	排 水／屋内合流、屋外下水道放流 BIF床上受水槽(FRP40㎡) 排水槽／有効0.76㎡
電 気	受 電／3相3線 50Hz 6.6kV 660kW 発電機／3φ3W 50Hz 6.6kV 375kVA 非常保安動力／300kVA 非常保安電灯(スコット)／50kVA 変圧器／1,400kVA7台
防 災	消火／屋内消火栓、屋外消火栓、 ハロゲン化物消火 排煙／自然排煙 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン 消火設備 ハロン消火器 連結散 水設備 屋外消火栓
昇降機	乗用ELV／750kg積 (30m／分) 1台 人荷用ELV／3,000kg積 (30m／分) 1台
駐車場	屋内2台、屋外165台
〈主な外部仕上〉	
屋 根	アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
外 壁	四丁掛精妬器質タイル(割肌) 二丁掛精妬器質タイル
建 具	アルミサッシュ電解二次着色 ステンレスサッシュH.L仕上
外 構	御影石ブロック+陶製ブロック舗装
〈主な内部仕上〉	
エントランスホール	天井／コンクリート打放し 壁／御影石こぶ出し仕上 床／御影石ジェットバーナー仕上
展示室	天井／P.B.E.P 壁／ガラスクロスE.P 床／タイルカーペット
収蔵庫	天井・壁／スプルス 床／ナラ縁甲板張
講 堂	天井／ 壁／四丁掛精妬器質タイル+P.B.E.P 床／カーペット
研究室・事務室	天井／岩綿吸音板 壁／ビニールクロス貼 床／タイルカーペット

【施設の配置】

- ❶ キャンピー
- ❷ エントランスホール
- ❸ ロビー
- ❹ ミュージアムショップ
- ❺ みちくさプレイス
- ❻ ハイビジョンギャラリー*
- ❼ レファレンス*
- ❽ 企画展示室ロビー
- ❾ 企画展示室
- ❿ 展示室 1
- ⓫ 展示室 2
- ⓬ 展示室 3
- ⓭ 常設展示室ロビー
- ⓮ 中庭
- ⓯ 講堂
- ⓰ ステージ
- ⓱ 講座室
- ⓲ 講堂ロビー
- ⓳ 屋外展示スペース
- ⓴ 事務室
- ⓵ 乳児室
- ⓶ ロッカー室
- ⓷ 応接室
- ⓸ 館長室
- ⓹ 会議室
- ⓺ 研究室
- ⓻ 書庫
- ⓼ 資料保管室
- ⓽ 倉庫
- ⓾ フィルム保管室
- ⓿ 撮影室
- ⓿ 作業室
- ⓿ 荷解室
- ⓿ 燻蒸室
- ⓿ 収蔵室 1
- ⓿ 収蔵室 3
- ⓿ 収蔵室 2
- ⓿ 展示備品倉庫
- ⓿ ギャラリー控室
- ⓿ ギャラリー
- ⓿ アトリウム上部
- ⓿ レストラン事務室*
- ⓿ 厨房*
- ⓿ レストラン*
- ⓿ 吹抜
- ⓿ テラス
- ⓿ ドライエリア
- ⓿ 電気室
- ⓿ 熱源機械室
- ⓿ 空調機械室

* は閉鎖中



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内 訳	用途等	面 積
展示室		美術品等の企画展示	1,433.09㎡
収蔵	収蔵庫	美術品等の保管	102.05㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫の温室度を安定させる	28.15㎡
専用エレベーター		地下1階より美術品を搬入	27.59㎡
管理	事務室	学芸員、一般事務の執務室	72.66㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	32.75㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95.56㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	107.58㎡
	休憩室	会計年度任用職員の休憩場所	10.04㎡
	応接室	来賓等の応接	13.99㎡
	トイレ	職員・来館者用	92.58㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120.15㎡
共通	ポンベ庫	ハロン消火設備用ポンベ庫(予)	28.63㎡
	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	279.63㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	321.84㎡
	乳児室	乳児のために使用	6.35㎡
B1F	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	22.62㎡
	専用エレベーター(B1F)	美術品の搬入用	26.23㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	13.42㎡
	専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	124.54㎡
合計			2,959.45㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種 別／複合ビル内包型 公立美術館
所 在 地／新潟県新潟市万代島5番1号
工事期間／平成12年10月3日～平成15年3月30日
敷地面積／103,128.93㎡ (万代島一団地認定敷地全体)
建築面積／6,017.37㎡
延床面積／52,585.54㎡ (うち、美術館2,959.45㎡)
構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造
階 高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設 計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
監 理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
施 工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東亜共同企業体

3. 仕上げ（美術館部分のみ）

屋 根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファルト防水押え、
コンクリート鋼製根太組天然スレート敷
外 壁／プレキャストコンクリート下地アルミスパンドレ
ル張り、アルミカーテンウォールふっ素樹脂焼付
塗装、プレキャストコンクリートカーテンウォー
ルふっ素樹脂乾塗装
内 装／（設備概要を参照のこと）

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz
2回線受電、地中引込
受 変 電／1階サブ変電所、キュービクル式受変電設備
非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA、
蓄電池400AH
電話設備／電話配管（機器、配線は別）
放送設備／非常放送兼用アンプ 1160W、130回線、
美術館業務用アンプ80W、5回線

5. 空調設備

熱 源／全体熱源：冷温水発生器（ガス焚）
240RT×2台
収 蔵 庫：空冷ヒートポンプ
空 調 機／コンパクトエアハン7台
単一ダクト
換 気／個別換気
給気ファン1台、排気ファン15台
制御機構／24時間中央温湿度管理システム

6. 昇降機

乗 用／ロープ式 210m／分 定員20名1,350kg
4基（うち、車椅子仕様1基）
荷 物 用／油圧式
15m／分 3,000kg 1基
テーブルリフター／
リフト 0.9m
テーブル 2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁 仕 上／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
床 仕 上／フローリング（ダグラスファー）
可 動 壁／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
L4.0m×H4.5m：30枚、L2.0m×H4.5m：26
枚、L2.4m×H4.5m：4枚
固定展示ケース／2箇所
（外側）スチール製・高透過ガラススチール製・アクリル焼
付塗装、高透過ガラス・重量キャスター・アジャス
ター付、シリンダー錠付
（内側）低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、寸法
D18.0m、W1.2m、H4.5m
照 明／全て美術館用UV／IRカットフィルター付
ベース照明：スリット天井WWラインLED照明
2700K／5000K
展示照明：LEDスポットライト 2700K／
5000K
ケース内照明：WWラインLED照明 2700K／
5000K
設定温湿度／春・夏期：23℃、60%
秋・冬期：20℃、50%
（変動率±3℃、±10%以内）

2. 収蔵庫概要

床 仕 上／フローリング

壁 仕 上／ゼオライトパネル（天井共）

内部寸法／L11.5m、W7.5m、天井H3.5m

入口寸法／H3.0m、W3.0m

収蔵庫内作品固定方法／収蔵棚

収蔵庫扉の構造及び仕様／スチール製

耐火2時間扉

照 明／高効率照明器具（32W）

美術館用UV／IRカットフィルター付

空 調／恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト（VAV）

設定温湿度／春・夏期：20℃、60%

秋・冬期：20℃、60%

（変動率±2℃、±5％以内）

3. 搬入口関連概要

専用搬入口寸法／H3.8m、W5.0m

高位置の接岸ドック／地上からの高さ0.7m

可動接岸ドック／0～0.9mレベルまで

油圧式リフト／最大重量3,000kg

クレート／最大重量3,000kg

搬入可能なクレーンの最大サイズ／

H3.0m、W3.0m、D3.0m

セキュリティ／画像センサー機械警備

荷解室への立入管理／カードリーダー方式電気錠

昇降機内部寸法／L3.0m、W3.0m、

天井H3.0m

4. 防災設備

消火設備／湿式スプリンクラー

展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫はハロン消火

感知器の種類／自動煙感知

火災警報への伝達／発信機、非常電話

補助消火栓／搬入場所1基、その他4基

連結送水管／その他2基

消 火 器／搬入場所：粉末ABC

展示室：ハロンガス

その他：粉末ABC及びハロンガス

5. 防犯設備

監視設備／ITVモニター、ITVカメラ15台

（美術館14台、EV1台）

機械警備設備／画像センサー＋スピーカ

警備会社／SECOM株式会社

使用警報機の種類／画像センサー及び

水銀スイッチ

警報入電場所／館内中央監視盤及び

美術館事務室

盗難防止ケースの種類／

ガラス・ケース及び壁面固定ケース全てにシ

リンダー錠付

【施設の配置】

①エントランスホール

②ミュージアムショップ

③情報コーナー

④乳児室

⑤展示室

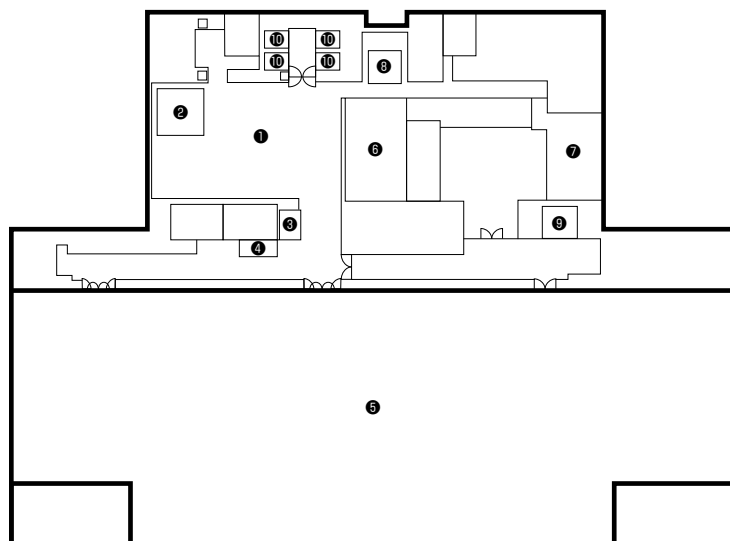
⑥収蔵庫

⑦事務室

⑧ロッカー・自販機

⑨作品専用エレベーター

⑩エレベーター



新潟県立近代美術館協議会（令和6年度）

【委員】（委嘱当時）

（令和6年8月1日から令和8年7月31日まで）

●学校教育関係者

稲生 一徳（五泉市立村松桜中学校校長／下越美術教育研究会（新潟県美術教育連盟下部組織）理事／新潟県中学校教育研究会美術部会全県部長）

五傳木浩樹（新潟市立高志中等教育学校教諭／新潟市美術協会理事／新潟県高等学校文化連盟美術・工芸専門委員長）

●社会教育関係者

小田 智美（村上市教育委員会学校教育課・教育センター嘱託指導主事／新潟県生涯学習協会会員）

●家庭教育の向上並びに学術及び文化の発展に資する活動を行う者

中村 文香（株式会社新潟博報堂マーケットデザイン局みらいの事業開発部部長）

野崎多恵子（公募）

●学識経験者

大森 慎子（北区郷土博物館主幹・学芸員）

○丹治 嘉彦（新潟大学教育学部教授）

五十嵐史帆（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）

小林 花子（長岡造形大学美術・工芸学科学教授、大学院兼担教員）

○は会長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和6年5月22日（水） 10:00～12:00

会場：新潟県立万代島美術館

内容：(1) 「令和5年度新潟県立近代美術館協議会評価」について
(2) 令和6年度事業について

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和6年11月8日（金） 14:00～16:00

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 「令和5年度新潟県立近代美術館協議会評価報告」の確認
(2) 令和6年度事業の中間報告（8/30まで）

第3回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和7年3月6日（木） 14:00～16:00

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 令和6年度事業の中間報告（12/31まで）
(2) 令和6年度の評価手順及びスケジュール
(3) 次年度評価に向けた意見交換

令和6年度

新潟県立近代美術館協議会評価報告

〈美術館活動全体の協議会評価〉

新潟県立近代美術館・万代島美術館における評価は、展覧会、教育及、調査・研究・収集・保存・発信、環境・施設、協働組織等を柱年であり、それぞれの分野で具体的な目標を設定し、分析を行い、具体的評価が実施されています。主な取組に対して前年の活動を踏襲しつつ、達成を実現化するために努力したことは大いに評価されるべきと考えます。しかしながら、自治体の予算が限られる中で、美術館に割り当てられる予算も同様に減少していること、また、今日的な社会課題（包摂性、多様性、持続可能性、コミュニティの参加等）に対する解決策を求められる中、独自の展覧会や各種イベントの実現が難しくなっていることに懸念を抱いています。もちろん、この状況において新たな美術館活動の各分野との横断的な関係が生まれ、それぞれの課題に対処する機会が提供され始めました。NIIGATAアートリンクや大学との連携講座、あるいは様々なワークショップの実践はその表れと言えるでしょう。これらは美術館独自の動きとともに他領域、そして他者との協働が実を結んだとも言え、関係者の努力の賜物であると考えます。

今後も美術館にとって厳しい状況が続くことが予想されます。新潟県立近代美術館、万代島美術館ともに社会的使命を実現するためには、美術館の関係者にとどまらず県民も巻き込んでいくことが重要です。美術館が日常生活のすぐそばにあること、そして県民それぞれにとって「自分たちの美術館」となることが、困難な状況を解決する手がかりとなることでしょう。

〈新潟県立美術館の社会的使命及び運営方針〉

【社会的使命】平成20年4月策定

広く新潟県民と新潟を訪れた人のために、固有の文化の価値を見直し、併せて未来に継承すべきコレクションの充実と研究、活用、普及を通じて、多様な美術館活動を開発、提供し、創造力溢れる人材の育成に取り組み、地域の人々と協働しながら、県民の誇りとなる新潟県の文化を発信する。

【運営方針】令和4年9月改定

- 1 県民の利用者拡充を図り、新潟県民の文化レベル向上に資する
- 2 心の憩いと学びの場を提供し、利用者に愛される美術館となる
- 3 新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となる
- 4 美術に関心ある人材の育成に寄与する
- 5 地域や各種教育機関との連携を深める

【評価の視点】令和4年9月改定

評価分野	評価の視点
展覧会	①県民の利用者拡充を図り、新潟県民の文化レベル向上に資する展覧会を開催しているか。 ②多様な展覧会の開催によって、芸術文化をベースにした心の憩いと学びの場を提供しているか。 ③多様な展覧会の開催によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。 ④郷土の作家や作品の展覧会を開催し、新潟県の芸術文化の発掘・発信の場となっているか。
教育普及等	①県民の利用者拡充を図り、教育普及活動を行っているか。 ②展覧会活動とは別に、心の憩いと学びの場を提供しているか。 ③地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。 ④美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。
調査・研究・収集・保存・発信	①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。 ②地域や各種教育機関と連携して、調査研究活動を行っているか。 ③新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となっているか。 ④学芸員の調査研究・発信によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。

施設環境	①作品の保存・展示に適した環境を、維持・整備しているかどうか。 ②利用者が快適に利用できる環境を、維持・整備しているかどうか。
協働組織	①県民の利用者拡充を図り、協働を実施しているか。 ②地域や各種教育機関など、外部との協働によって、連携を深めているか。 ③多様な組織との協働によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。

〈参考 県の上位方針〉

「新潟県文化振興条例」 * 令和6年4月1日施行

前文：「文化はいつの時代においても、人々の心に潤いや安らぎ、精神的な満足感をもたらし、心豊かに生活を送る上で重要な役割を果たしている。

第2章【文化の振興等に関する基本的施策】

（芸術の振興）第9条：文学、音楽、美術、工芸、デザイン、写真、演劇、舞踊その他の芸術の振興を図るため、これらの芸術の公演、展示等への支援、これらの芸術に関する活動への支援その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

（文化に対する関心及び理解）第13条：県民の文化に対する関心及び理解を深めるように、普及啓発その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

（県民の鑑賞等の機会の充実）第14条：広く県民が自主的に文化を鑑賞し、及び創造し、並びに文化活動に参加する機会の充実を図るため、文化の公演、展示等の実施、支援、記録の保管並びに情報の収集及び提供その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

（文化施設の機能の充実等）第15条：文化会館、博物館、美術館、図書館その他の自らが設置する文化施設を文化活動の拠点とし、文化の鑑賞、創造、学び及び交流の場としての機能の充実を図るとともに、それぞれの文化施設の特色を生かした文化に関する教育及び普及啓発その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bunka/bunkajourei2.html>

「新潟県総合計画」 * 平成31年4月策定／令和4年4月改定

第3章【新潟県のめざす姿】

《基本理念》「住んでよし、訪れてよしの新潟県」

県民の皆様が、新潟の魅力・新潟らしさ「新潟ブランド」を意識し、新潟に住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思える新潟県、そして、国内外の方々が新潟に魅力を感じ、訪ねてきていただける新潟県を目指します。

第4章

《将来像》Ⅱ 地域経済が元気で活力のある新潟

1 多様な人や文化が交わる賑わいのある新潟

1-(1) 多様な地域資源を活かした交流人口の拡大

③スポーツと文化を活かした地域づくりによる交流拡大
「県内各地の地域文化や美術館、博物館等の観光資源、優れた芸術家等との交流を積極的に活用し、交流人口の拡大や地域の活性化を目指す」

《将来像》Ⅲ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟

1-(2) 地域の産業・社会を支える人づくり

①未来の新潟に必要な人材の育成・確保

②生涯学び活躍できる環境づくり

1-(3) スポーツと文化の振興

②文化を通じた豊かな生活の実現

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seisaku/sougoukeikakukaitei.html>

「新潟県文化振興ビジョン」 期間：平成29～令和6年度
* 平成29年策定／令和5年7月改定

第1章【性格】文化芸術基本法第7条の2に規定する地方文化芸術推進基本計画

第2章【現状及び課題】

第3章【基本目標】

文化で創る、心豊かな「ひと」、魅力ある「地域」……

そして未来へ

【目指す姿】◆文化振興により、県民が地域文化を知り、地域に誇りと愛着を持つこと

◆文化活動への参画・参加及び創造により、県民が心豊かな生活を送ること

◆文化を通じた観光振興・交流拡大で、地域の内外の好循環が生まれること

⇒文化の力で新潟を活性化

【施策の5本柱】

柱(1) 大規模イベント等の機会を捉えた更なる文化振興

●イベント等を契機とした県民参加の拡大と文化の創造及び発信

●文化分野におけるボランティア活動の活発化

柱(3) 文化活動への県民参加の拡大

●優れた文化の鑑賞・参加機会の提供

●子どもの文化活動の促進

●文化に親しむ場となる環境の整備

柱(5) 文化の保存、記録、継承及び活用

* 柱(2) 地域文化の温故知新

* 柱(4) 文化を通じた交流・発信の拡大

【ビジョンの評価】

(1) 成果指標 ④ 県立文化施設〔近美・万美・歴博・自然科学館〕への来館者数

* H23 72.5万人／H27 56.8万人／目標値(R6) 増加させる

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunka/bunkavision.html>

令和6年度評価〈近代美術館〉

●重点取組1

学芸員の日ごろの調査・研究の成果を披露し、また、それに基づいた学びの機会を提供する。

評価の視点

【1】【調査研究・収集保存・発信】

①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。

③新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となっているか。

【2】【教育普及】

③地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。

【3】【協働】

②地域や各種教育機関など、外部との協働によって、連携を深めているか。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎「日本が見たドニ」ドニの見た日本」展の開催は、これまで積み上げてきた学芸員の調査研究の成果であり、図録の執筆や講演会、講座の開催においても県民に学びの場を提供できた。巡回館である久留米市美術館との協働という点でも評価に値すると考える。

◎「皇室の名宝と新潟展」では皇居三の丸尚蔵館と協力しながら出品作や作家についての研究を深め、その成果を図録や講演会、作品解説会で県民に還元することができた。

◎その他、作品・作家に関連した現地調査や所蔵品に関する研究を、1年を通じて行い、その成果を、コレクション展示や美術鑑賞講座、作品解説会、出前講座、学芸コラム（HP）など多様な方法で県民に紹介した。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎一年を通じて、作品、作家に関連した現地調査や所蔵品に関する研究を行い、その成果を展覧会、美術鑑賞講座、作品解説会、出前講座、学芸コラム等、多様な方法で県民に学びの場を提供できたことは評価できる。

◎感染症などの近年のさまざまな社会的影響がある中でも積み上げてきた学芸員の調査研究の成果で充実した展覧会を開催し、さらに他美術館との協働で図録執筆や講演会を実現し、成果を地域に還元したことは十分に評価すべきものと考えられる。また、調査研究できる環境を評価する。

◎長年の調査研究成果を、分かりやすく楽しみながら理解することができる展覧会と図録という形で紹介したこと、また、一般には馴染みの浅い分野の理解を深めるため、TVの紹介や様々な関連講座等で伝える工夫をしたことは、非常に高く評価できる。

◎企画展の観覧者数が前年度を大きく上回っていることから、多くの県民の嗜好に合致していたと言える。

- ◎近代美術館の出前講座により、教育現場に「対話型鑑賞」が着実に普及している。また、その教育的効果も認められているので、今後も継続していただきたい。
- ◎年間52週のうち出前講座や学校関係者への説明会等の開催回数49件というのは、毎週誰かがどこかに出向き、美術館やアートに関する情報を発信していることになり、素晴らしいと思う。美術に関心のある人材を育成する下地を形成し始めたと思う。
- ◎新潟県内に閉じず、他県の美術館と連携・協働した研究活動など、今後は作品を通じた交流（アートツアーの造成など）など新しい取組にも期待したい。
- ▲企画展の講演会には多くの参加があり、調査研究の成果を知り、深く学びたいという愛好家が一定数いる一方で、来館者が目標数の半数以下であった点は大きな課題である。広報やマーケティング戦略の検討に加え、目標数の検討、来館者の内訳等を踏まえた分析等が必要である。
- ▲来館者層が限定的になりやすいと予想される、認知度の低い展覧会の発信について、マンパワーにも配慮しながら、外部機関との交流態勢も含めて検討が必要ではないか。
- ▲来館者の少なかった展示については、目玉となる作品が必要ではないか。

●重点取組2

館改修工事も想定しながら、親子がふれあう美術館活動について探る。

評価の視点

【1】【教育普及】

③地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。

【2】【協働組織】

③多様な組織との協働によって、美術に関心のある人材の育成に寄与しているか。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎県の「子育て応援」を踏まえ、親子向けワークショップや「みちくさプレイス」の設置、「おしゃべりタイム」の実施など、子育て世代が美術館により親しみやすくなるような事業・環境づくりを一年を通して行うことができた。

◎学芸員が実施することが多い親子向けワークショップであるが、今年度は長岡造形大学との協働により実施し、活動の幅を広げることができた。

◎小学校からの依頼が多い出前講座は、直接的に「親子向け」事業ではないものの、子どもの頃から美術鑑賞や美術館に関心を持ってもらう取組である。また担当学芸員が児童・生徒の反応を直接に体験できる機会ともなっており、その経験値が今後の親子向け事業に活用できると期待する。

▲「親子ふれあいデー」(R5～)「みちくさプレイス」(R6～)といった新しい事業は、県の施策に沿って今後より広く周知するとともに、各種教育普及事業と関連付けて取り組むべき課題である。

▲「おしゃべりタイム」について、アンケートには歓迎の声がある一方で「静かに見たい」という声もある。美術館という施設の将来像も見え据えつつ、幅広い世代が利用しやすい環境づくりを引き続き模索する必要がある。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎県の子育て施策を踏まえ、「親子向けワークショップ」「みちくさプレイス」「おしゃべりタイム」等の新たな試みを検討・実践しており、従来の美術館像に留まらず、これからの展開を模索している点が評価できる。

◎これらの新しい取組は次世代を育て、新たなファンを獲得する事業・環境となっていること、また、多様な立場の方々への配慮ある活動となったことも評価できる。

◎親子を中心に、様々な人とのふれあいの場へと進化してゆく可能性も期待できる。

◎小学校への出前講座は幼少期から美術鑑賞や美術館に関心をもつ人材の育成への貢献度が高い。特に、上越・魚沼地域等での出前講座の増加は、教頭会等での周知や講座内容の充実(ロコミ)等、これまでの努力の成果として評価できる。

◎長岡造形大学との協働によるワークショップを実施するなど、地域でアートを楽しむ環境づくりは評価できる。外部と協働するなど柔軟な発想で取り組んだことは、今後の活動の幅の広がりや働き方改革にもつながる取組になっていると考える。

◎「おしゃべりタイム」は可能性のある取組だと思う。解説やガイド、対話によって体験や思考が深まることは、多くの人が実体験として経験がある。

▲「おしゃべりタイム」のような新しい取組を浸透させるには時間がかかるかも知れないが、目的や事業内容を分かりやすく広報する工夫が必要。ネーミングを見直すだけで、ネガティブな意見は少なくなるように思う。多様性への配慮を大事にした取組になることを期待している。

▲企画展の内容により異なるとはいえ、美術館への家族での来館が増加傾向にある実態自体をもっともっと県民に周知し、従来の美術館のイメージを変えていくことで、問題意識の共有を図ることができる。

▲美術に関心のある人材の育成に寄与しているかという点では、活動の対象が親子で鑑賞する世代、小中学生までに偏りすぎていると思う。中学生以上から子育て世代につながる世代が空白期間となって関心が薄れないような取組も必要ではないか。

▲出前講座の件数が非常に多いが、職員の負担を増やすだけでなく、美術館での展示鑑賞につながるような工夫をして、実際の来館に繋げてほしい。

▲「ワークショップ」等は、美術や美術教育の専門家だけでなく、幼児教育機関等に協力を求めているどうか。

▲学校等への招待・割引チケットの配布や近隣の県及び民間施設との割引等を検討してはどうか。

▲次の来館につながる試みがもう少しあると良いと思う。開館記念日などの特別な休みの日にきた子にはシールなど安価な記念品をあげるなど、楽しさを増やす工夫があつて良いと思う。

●通常取組

令和6年度より「美術館・博物館コレクション収集・活用事業」として県の予算がつき、作品を購入（新収蔵のうち購入2点）。美術品収集予算を前提とした作品購入は21年ぶりとなる

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎県ゆかり作家の代表作を2点購入することでコレクションの充実を図ることができた。作品購入を経験したことのない学芸員にとって、情報の収集や購入の手続きを経験する貴重な機会となった。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎21年ぶりの購入は画期的なことであり、購入のための予算を獲得し、県ゆかりの作家の作品を2点購入した点について大いに評価できる。コレクション展等で活用されることを期待する。

◎購入を計画的に進められたことは学芸員のスキルアップにもつながる機会となっていることを評価できる。

◎美術館は世の中の動向、調査研究によりコレクションを充実させ、次世代へ受継ぐ役割を担う。その意味において収集費がついたことは、健全な美術館運営が行われて喜ばしい。

◎新潟の美術の動向を作品を通して示せるコレクションを持つことが県の美術館として期待されるところだが、収集費がつくことで、本来次代に引き継ぐべき重要な作品を今後はコレクションできる可能性が高まり、このことは高く評価できる。

▲長期にわたってコレクション購入の予算がつかないことは、美術館の独自性や存続意義、県民の文化水準の低下や学習機会の減少に関わる。継続的に県ゆかりの作家の作品収蔵を実施することが今後の検討課題である。

▲作品収集の予算を拡充するための方策を工夫して欲しい。

▲購入したことやその作品について、広く広報がなされていないことは問題である。「21年ぶり」であれば県民の注目が集まり関心が高くなることで、このような危機的状況に対して、企業等から寄付の申し出等が期待できるかもしれない。

〈自由意見〉

○展示室の当日の入退場について検討してほしい。小さな子ども連れの場合は、長時間見ることが難しく、展示室の外で気分の変化が必要な場合もある。また、作品鑑賞の後に関連グッズが欲しくなりミュージアムショップ（16時50分閉店）で買い物をすることや、図録の作品を再度確認したり、鑑賞を中断して講演会（ホール）にいたり、近隣で昼食を取ったり等、各自の興味やペースに合わせて美術館を楽しむことができる。今回の大学の授業での参加の場合でも、ホールでの講義の前に展示室に入って作品鑑賞することができる。来館者が少ない平日や時間帯のみでも良いので検討してほしい。

○展覧会企画、ワークショップ、イベント、コレクション購入、出前講座等、充実した内容であった。心の憩いと学びの場の提供として、現在閉店となっているレストランの誘致、ミュージ

アムショップの企画運営の方策が検討課題である。マンパワーにも限りがあり、困難があると思われるが、美術館の空間、憩いの場の提供としては是非検討していただけたらと思う。

- 今回、コレクション展と各企画展の総観覧者数を開催期間（日数）で割り、単純に1日あたりの来館者数を出してみると、いかに企画展が充実し、県民の嗜好ニーズに応えているかが分かった。
- 映画鑑賞会「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」は、教育的な面だけでなく、アートを介した人と人を結び付ける効果やヒントがあり、今後も定期的な催しの一つとして組み込んでほしい。
- ドニ展の講演会参加者と話す機会があった。フランスの思想（メリトクラシー）とバリ五輪（←これとちょっと結び付けたPRもできたかも？）、そしてドニ展について熱く語っていた。少し強引すぎるとは思ったが、探究できる方には、価値が高く、十分満足できる展覧会（講演会）だったようだ。
- 同じ職場の方に尋ねると、県外も含めて美術館に行くことを趣味にしている方は極少ないが、「家族と一緒に美術館に行くことがある」「子どもが見に行きたい」というので、県立近代美術館または万代島美術館に行った方が5人に1人いた。自然科学館や歴史博物館より、美術館に行く方が多かったのに驚いた。職場にもポスターが掲示してあるが、それ以上に子ども（小学生）が学校で目にしたり、友だちに聞いたりして、その展覧会の存在を知ったということが興味深い。大人をターゲットにしていくより、家族みんなで楽しくワクワク鑑賞できる企画展も取り入れながら進めていくとよい。
- 充実した良い展覧会への誘客の問題は貴館に限らないものだが、手を尽くしたところで、人々の興味関心はなかなかコントロールできない。来館者にその良さを実感してもらう、また、子どもたちに良いものに触れる機会を作り、良いものへのアンテナを持った大人になってもらうために、コツコツと努力してゆくしかないと思う。
- 静かに作品を見たい人、おしゃべりしながら楽しみたい人、いずれも作品を見る時の正しい見方だと思う。連れがいれば、作品の感動や見方を互いに共有することによってさらに鑑賞は深まり、また一人静かに見たい人は、作品と自分との対話を楽しんだり、学芸員が展示により提示する情報を享受し、考えたり、納得したり、疑問に思ったりという時間を大切にしたいのだと思う。いずれも美術館でしかできない大切な楽しい体験であり、解決策は永遠に見つからないだろうが、観覧者が10の内の1の意識を、その場を共有する他の来館者にも向け、どちらも大事な鑑賞方法ということを理解して少し配慮することで、おしゃべりの二人は声のトーンを抑えたり、この話は館外へ出てからにしようと考え、おしゃべりの量も減らしながら楽しむ、あるいは一人の人は、順路を変えて少し離れて鑑賞するなど、お互いに工夫するようになるとうれしいと思う。
- ジブリパークとジブリ展ではジブリパークができる過程など、ものづくりのおもしろさと、いつもながら空間づくりの上手さを感じた。山下清展では、山下清という人物像が浮き彫りになるような構成で、楽しめた。皇室の名宝と新潟展では、展示物が少ない中でレイアウトを工夫し、ゆったりと名宝を見ることができ工夫が感じられたこと、また新潟との関係に視点を絞る、これまで不明であった作者が判明するなどの成果もあげたことなど、見たえのある常設展示も含めいずれも高く評価できる。
- 美術鑑賞講座では、描き手向けと初心者向けとある程度のカテゴリー分けがあってもいいと思う。
- 改修するにあたって、アトリエなど絵を描く場所や絵画講習なども一考して欲しい。
- 全体的に美術鑑賞の窓口を広げる努力をした方が良いと思う。アンケートの「よい」が多いのは良いことだが、満足してもらえなかったポイントを精査して欲しい。
- 10年後、20年後の美術館のあり方を新潟県の人口問題を考慮しながら、現世代、特に次世代またその次の世代と美術館活動がうまく機能し繋がっていくような方策が今後の検討課題である。
- 2024年4月新潟市芸術村・国際創造センター ゆいぽーとにおいてアーティスト・イン・レジデンス事業に招聘アーティストとして参加された、視覚に障害を持つ白鳥建二さんと話す機会がありました。白鳥さんは、美術館では鑑賞者の会話が非常に興味深く、特に作品をどんな思いで鑑賞するのかが楽しみですとおっしゃっていました。人それぞれの視点が違っているのは当然であり、見える風景や作品も全く同じではありません。そんな柔らかな舞台が、美術館で分け隔てなく存在することを願っています。

令和6年度評価〈万代島美術館〉

●重点取組1

それぞれの展覧会において当館独自の工夫を行い、芸術文化の発見・発信の場となると同時に、心の憩いと学びの場を提供していく。

評価の視点

[1]【展覧会】

②多様な展覧会の開催によって、心の憩いと学びの場を提供しているか。

[2]【教育普及】

②展覧会活動とは別に、心の憩いと学びの場を提供しているか。

[3]【調査研究・収集保存・発信】

①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

- ◎多彩なラインナップの展覧会を開催し、新たな来館者層の獲得へ繋げることができた。
- ◎関連自治体（見附市）と協力し、巡回展の新潟での開催意義を深めることができた。
- ◎巡回展に所蔵品の展示を加えることで、展覧会の構成とテーマを広げることができた。
- ◎講演会やギャラリートーク、ワークショップなど、各展覧会にあわせた多彩なイベントを実施できたことは、教育普及活動として意義深かった。
- ◎ショップやホテル、図書館など外部との協働を継続的に実施できた。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

- ◎近代美術館の企画展とのバランスに鑑みても、多彩な内容の展覧会を開催できている。幅広い層への紹介と学習の場を提供できている。
 - ◎万代島美術館の展覧会は、いずれも美術ファン以外の客層も取込み、美術館を楽しいところとして多くの人たちに認識してもらい、美術館への来客の裾野を広げた。それぞれの展示において、エンターテインメント性と学術的内容が融合した世界観を楽しめる工夫がなされていて、関連事業等の取組も含めて高く評価できる。
 - ◎万代島美術館の立地を生かした外部との連携協働等の継続、館の特徴を生かした多彩な展覧会と関連させたイベント、ミュージアムショップの継続等、県民に美術館の楽しさや憩いの場を提供し、幅広い世代に美術館を通して学ぶことの楽しさを提供していることは評価できる。今後も県立近代美術館との適切な連携とすみ分けによる、独自性の発揮を期待する。
 - ◎地域産業との連携は、来場者へのPR効果としてとても大きかった。また、巡回展の谷川俊太郎展に所蔵品の展示を加えるアイデアは、展覧会主催者との交渉や調整など大変な作業だったと思うが、新潟ならではの展覧会に仕立てたことは素晴らしい挑戦である。今後も既成の枠をはみ出した展開を期待したい。
 - ◎出前講座として新潟商業高校の高校生を305人受け入れたことは特筆すべきである。裾野が広がっていくことを予感させる。
 - ▲学校団体広報活動や美術館サービスの点から見ると、全県を対象に「芸術文化の発見・発信の場」、「心の憩いと学びの場」を提供しているとは言い難い。また、年間を通して自主企画展が一つもない等、「県立の美術館」としてその役目を十分に果たしているのか検討が必要である。
 - ▲多様性はあるものの、ファッション系、博物館、科学博物館で実施できるような展覧会など、万代島美術館として実施する展覧会としてはある意味偏りがあると思う。
- これからの美術の振興を担う若手の育成にもつながるような展覧会の計画を検討してほしい。

●重点取組2

学芸員が各々の専門性を活かした調査・研究を行い、その成果を発信する。

評価の視点

[3]【調査研究・収集保存・発信】

- ①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。
- ③新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となっているか。

- 【自己評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題
 ◎「田畑あきら子展」の開催に向けて、調査研究を順調に進められている。
 ◎収集に関連した調査の結果、3件が収集された。
 ◎展覧会業務と並行して、所蔵品や作家研究の成果を発信できた。
 ▲出前講座や美術鑑賞講座といったアウトリーチ活動を増やすことは、学芸員数の少ない当館では困難であり、実施期間や回数を絞り込む必要がある。

- 【協議会評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題
 ◎「田畑あきら子展」の開催にむけて、調査研究等を行い、展覧会業務と並行して所蔵品や作家研究の成果を発信することにより、地元新潟県の芸術文化の発掘・保存に力を注いでいる点が評価できる。
 ◎学芸員一人一人が新潟ゆかりの作家や、所蔵品の調査研究を中心に、教育普及や収集保存においても様々な調査や研究に取り組み、発信する姿勢は高く評価できる。企画展などで成果を結実させ、さらに、企画展を行うことで研究課題を発見して深め、またそれを発表するという過程は、県民の財産であるコレクションの価値を高めることにつながっている。
 ◎長く調査研究してきた「田畑あきら子展」の開催が今から楽しみである。パッケージ企画展の印象が強い万代島美術館での単独開催・自主事業が、万代島美術館の新しい魅力となると思う。
 ◎学芸員各氏の研究、調査は素晴らしく、また新たな収集は良い結果であると思う。その結果を県民に広く広めたい。
 ▲出前講座や美術鑑賞講座といったアウトリーチ活動の見直しが必要であることは否めないが、今後でもできる方法を模索していくべきだろう。学芸員の他、ボランティアの専門家やボランティア等の協働や運営企画ができるシステム構築の方策が検討課題である。
 ▲少人数による多様な取組への困難さもあると思うが、新たな両館の体制を活かし、協働やすみ分けなど、両館の良さ・資源を活かしながら、より効果的な連携ができるとよいだろう。
 ▲それぞれの学芸員の専門の知見が活かされるような調査研究、発信の機会を持てるよう、近代美術館・万代島美術館、外部機関との連携についてさらに検討を行っていく必要があると思う。
 ▲学芸員の不足はいかんともしがたいが、ビデオ講座の実施や、「出前」を「招待」にするなど方策はあると思う。田畑あきら子は知名度がないのでまずそこからの周知が必要だろう。

<自由意見>

- 現在運用しているHP以外のSNSにおける発信、ユーチューブ、Instagram、フェイスブック、X等で美術館の展覧会や企画を発信することで新たな階層、海外旅行者等、多様な人々からの来場者数増への方策検討が課題であると思われる。
- いろいろな課題があり、その中で努力していると思うが、「できない」という結論付けを極力やめて、「こうしたらどうだろう」とか使えるツールを見直してほしい。
- 万代島美術館に限ったことではないが、平日と休日では明らかに来館者数に差があることは悩ましい。小学校や中学校の新潟市巡見のコースの一つとして、万代島美術館が位置付けられるよう、旅行業者や新潟市に働きかけるとよい。新潟市美と競合するのではなく、連携できるとよい。
- 知名度も高く、ネームバリューのあるコシノジュンコ展の来館者数が伸び悩んだことを分析し、次の企画展に生かしてほしい。
- 撮影可が多く、「映え」を意識して人気のある作品の前に観覧者が密集しているので、あらかじめスペースをとる等、一考を要する。
- 調査研究の文が少し難解な表現がある。ターゲット（対象者）を広げて発表できるとさらによい。
- 学芸員の調査研究が充実していることの裏返しになるが、各展覧会の入口付近に解説を表示していることから混雑していることがある。長文は避けて短文で表示していくとよい。
- 調査研究も含めて、ホームページが充実している。

新潟県美術品収集委員会

【委員】

- ◎郷 晃（新潟大学名誉教授）
 松本 透（長野県立美術館長）
 山梨絵美子（千葉市美術館長／東京文化財研究所 客員研究員）
 古田 亮（東京藝術大学 大学美術館教授） * 欠席
 岡塚 章子（東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室長）
 ◎は委員長

【日程及び内容】

- 令和6年度「新潟県美術品収集委員会」
 日時：令和7年1月10日(金) 13:30～15:30
 内容：(1) 報告 令和5年度美術品収集について
 (2) 令和6年度美術品収集について
 ① 収集候補の全体説明
 ② 収集候補の内覧
 ③ 収集候補作品の協議
 (3) その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない二館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

広く美術を愛する人達を中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

【会費・会員の種類】

一般会員	一般	2,000円	235名
	学生他	1,000円	1,118名
ファミリー会員		4,000円	61名
特別会員	個人	30,000円	0名
	法人		22名
計			1,436名

【会員の特典】

- ・会員証による近代美術館コレクション展無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展を観覧できるモニター券の配布（モニター券1枚で一回観覧可）
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展の優待観覧（団体料金）
- ・万代島ビル内の飲食店の割引
- ・友の会だより、美術館パンフレット等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展内覧会への参加

【役員体制】

会 長	上松 和義	
副 会 長	山本 正明	立川 厚生
	宮澤奈緒子	藪内 公美
理 事	小林 啓之	
代 議 員	阿部美恵子	大平 剛
	恩田 里士	高橋 信雄
	佐藤 浩一	羽賀 享
	原 和彦	樋口 栄治
	保坂 太	大原 興人
	舩岡 武雄	久島 芳尚
	中川 アイ	
顧 問	平山 征夫	
相 談 役	徳永 健一	
事 務 局	直江 修子	末廣 美紀

【事業内容】

- 友の会独自事業および美術館との共催事業
- ◇ 4月27日 万美直行バス（友の会独自事業）
 - ◇ 6月17日 代議員会
 - ◇ 8月31日 講演会
「憧憬から現実へー日本人とモーリス・ドニ」（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 9月22日 映画鑑賞会「カラミティ」
（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 10月11日～12月25日
ワークショップ「クイズ&スタンプラリー」
（万代島美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 10月12日 ワークショップ「あなただけのアミュレット（お守り）を作ろう！」
（万代島美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 10月13日 BKTバスツアー「BKT大地の芸術祭2024」
（友の会独自事業）
 - ◇ 10月16日～20日
第27回友の会作品展 作品数：53点
（友の会独自事業）
 - ◇ 11月16日 第15回アートカフェ
「県内のテキスタイル一桁尾絁を中心にー」
（友の会独自事業）
 - ◇ 11月24日 映画鑑賞会
「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」
（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 11月30日 第16回アートカフェ
「あるく みる とかしてながす」
（友の会独自事業）
 - ◇ 2月 8日 講演会
「皇居三の丸尚蔵館収蔵作品にみる皇室と新潟とのゆかり」
（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 2月24日 作品解説会「皇室の名宝と新潟」
（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 2月 2日 ギャラリートーク
「谷川俊太郎 絵本★百貨展」
（万代島美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 2月10日 第17回アートカフェin造形大
「県立美術館よもやま話ー学芸員と美術館の舞台裏ー」（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇ 2月16日 おとなのためのワークショップ「ミニ屏風を作ろう」（近代美術館・友の会共催事業）
 - ◇「友の会だよりアートシーン」 5月発行
 - ◇友の会だより（速報版）7回発行
 - ◇webでの情報発信（メルマガ等）23回

沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上

昭和63年12月

「新潟県美術品収集基金条例」公布

平成元年10月

新潟県美術館建設基本構想を策定

平成2年3月

新潟県美術館建設基本計画を策定

平成2年3月

建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定

平成2年3月

指名設計競技の参加設計事務所5社を決定

平成2年7月

建設指名設計競技審査会開催

(株)日本設計の作品が入選

平成2年8月

設計業務の委託を(株)日本設計と契約

平成3年2月

建設の実施設計策定

平成3年5月

建設工事入札

大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札

平成3年7月

県議会で建設工事の契約承認

平成3年7月

建設着工

平成4年12月

建設本体工事完了・引き渡し

平成5年3月

「新潟県立近代美術館条例」公布

平成5年4月

発足

平成5年7月

開館

平成30年2月

改修工事設計業務の委託を(株)日本設計と契約

平成30年6月

改修工事の実施設計策定

平成30年9月

改修工事入札

株式会社大石組・大原電業株式会社・株式会社長岡総合設備

(株式会社長岡総合設備のみ11月契約)

平成30年9月

改修工事着工

令和元年9月

改修工事一部終了・再開館

令和元年11月

改修工事完了・引き渡し

令和2年3月

「新潟県美術品収集基金条例」廃止

令和6年4月

学芸企画課組織改正及び、万代島美術館学芸員兼務発令

《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月

新潟県新美術館基本構想を発表

平成13年2月

新潟県新美術館基本計画を策定

平成14年4月

新潟県新美術館開設準備室発足

平成14年8月

新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定

平成15年3月

朱鷺メッセ万代島ビル竣工

平成15年4月

発足

平成15年7月

開館

令和5年12月

展示室・ロビー等照明改修工事着工

令和6年2月

展示室・ロビー等照明改修工事完了・引き渡し

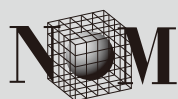
令和6年4月

組織改正、学芸員、近代美術館と兼務発令

令和6年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

製作 株式会社中央印刷
発行 令和7年12月22日



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum